

仙台市役所経営プラン
(仙台市行財政改革推進プラン2016改定)

令和 3 年度実績報告・進捗管理シート

令和 4 年 8 月

仙 台 市

目次及び目標達成状況一覧表

No.	枝番	実施項目（大項目）及び主な取組み（小項目）一覧	目標達成状況	掲載ページ
実施方針1 「ポスト復興ステージ」を支える行財政運営				
(1) 持続可能な都市経営のための行財政運営の効率化				
① 財政健全化				
1		財政健全化	△	1
1	1)	収支均衡した予算編成	△	1
1	2)	基底的財政収支の均衡・黒字の確保	○	2
1	3)	市債の適切な管理	○	3
② 中長期的視点を重視した取組み				
2		公共施設マネジメントの推進	△	△
2	1)	現有施設活用の徹底	○	4
2	2)	施設の質・量の適正化	○	5
2	3)	民間活力活用の推進	○	6
3	-	本庁舎建替えに向けた取組み	○	7
4	-	市有建築物の長寿命化等の取組みの推進	○	8
5	-	インフラ系施設の長寿命化等の取組みの推進	△	△
5	1)	農業用施設のストックマネジメントの推進	○	9
5	2)	道路施設の長寿命化の推進	○	10
5	3)	公園施設の効率的かつ効果的な維持・更新	○	11
5	4)	アセットマネジメントに基づく下水道施設の長寿命化及び更新	○	12
5	5)	河川管理施設等の長寿命化と河川流域の安全性確保の推進	○	13
6	-	下水道アセットマネジメントシステムの継続的改善 【R2完了】	△	14
7	-	市有施設の購入電力量削減の取組みの推進	△	15
③ 財源創出に向けた取組み				
8		財源創出に向けた取組みの推進	△	△
8	1)	広告収入の拡充	○	16
8	2)	市有地等市有財産の処分と有効活用の推進	○	17
8	3)	ふるさと納税制度の活用	○	18
8	4)	再生可能エネルギーを活用した農業用施設の維持管理費低減 【R3完了】	○	19
9	-	経済成長戦略の推進による地域経済活性化	○	20
10	-	市有債権の適正管理	○	21

目次及び目標達成状況一覧表

No.	枝番	実施項目（大項目）及び主な取組み（小項目）一覧	目標達成状況	掲載ページ
11	-	施設使用料等の見直し	○	22
12	-	市税の収入確保	◎	23
13	-	国民健康保険料の収入確保	◎	24
14	-	介護保険料の収入確保	◎	25
15	-	保育料の収入確保	◎	26
16	-	市営住宅使用料の収入確保	◎	27
④効率的な組織・人員体制の構築				
17	-	定員管理計画に基づく定員の適正管理	△	28
18		技能職員が担う業務の運営体制の見直し	/	/
18	1)	公用車運転業務の整理	○	29
18	2)	保育所における調理・清掃等業務の見直し	○	30
18	3)	清掃工場における搬入受付の見直し【R2完了】	/	31
18	4)	下水道管路の維持管理業務の見直し	○	32
18	5)	区道路課・公園課のパトロール等業務の見直し	○	33
18	6)	学校給食センター調理業務の委託【R2完了】	/	34
18	7)	給食施設の効率的な運用	○	35
18	8)	学校用務業務の見直し	○	36
19		外郭団体の効果的な事業運営	/	/
19	1)	経営健全性の確保	○	37
19	2)	外郭団体の自主的な運営体制の強化	○	38
⑤民間活力の導入				
20	-	保育所の民営化	○	39
21	-	収納率向上に向けたBPOの活用による業務体制の効率化	◎	40
22	-	石積埋立管理事務所の運営管理業務体制の見直し	○	41
23	-	区役所駐車場のあり方の検討【R3完了】	○	42
24	-	保育施設等の給付・入所認定等に係る事務の外部資源活用【R3完了】	○	43
24-2	-	高額療養費支給業務・第三者行為求償事務の民間委託による業務体制の効率化	○	44
25		指定管理者制度の活用	/	/
25	1)	指定管理者制度の導入（図書館）	○	45
25	2)	指定管理者制度の導入（科学館）	○	46

目次及び目標達成状況一覧表

No.	枝番	実施項目（大項目）及び主な取組み（小項目）一覧	目標達成状況	掲載ページ
25	3)	指定管理者の公募の推進（児童館）	○	47
⑥効率的な事業手法の推進				
26	-	公共事業の厳選・重点化	○	48
27	-	補助・助成制度の見直し	○	49
28	-	ごみ処理施設のあり方の検討	○	50
29	-	資源化施設のあり方の検討	△	51
30	-	定型的内部事務の効率化	○	52
30-2	-	業務改革（BPR）の推進	○	53
31		国勢調査業務の効率化		
31	1)	調査員確保に向けた新たな取組みの推進【R2完了】		54
31	2)	職員の負担軽減のための事務効率化に向けた取組みの推進【R2完了】		55
32	-	統計データの利活用推進	○	56
33	-	マイナンバー制度の活用	○	57
33-2	-	福祉債権等徴収業務の集約化	○	58
33-3	-	保険料等収納におけるキャッシュレス化の推進	○	59
⑦公営企業の経営改革				
34	-	水道施設アセットマネジメントの推進	○	60
35	-	水道施設の将来構想の推進【R2完了】		61
35-2	-	国見浄水場・中原浄水場の統合推進	○	62
36	-	市バス・地下鉄のお客様増加に向けた取組み	○	63
37	-	時代に即した様々な仕組みで全ての世代に届く市バス・地下鉄情報の提供	○	64
38	-	市バス・地下鉄施設等の総合マネジメントの推進	○	65
39		お客様サービス向上に向けた取組み		
39	1)	利用状況に応じた適正なサービス供給の検討	○	66
39-2	-	地下鉄駅業務委託拡大の検討	○	67
40	-	ガス事業の民営化	△	68
41	-	マッピングシステムの機能向上による業務効率化の推進【R3完了】	○	69
42		ガス事業の経営基盤の強化に向けた取組み		
42	1)	効率的・安定的な組織運営体制の構築【R3完了】	○	70
42	2)	各種業務委託内容等の見直し【R3完了】	○	71

目次及び目標達成状況一覧表

No.	枝番	実施項目（大項目）及び主な取組み（小項目）一覧	目標達成状況	掲載ページ
43	-	ガス局保有の未利用地等の有効活用【R3完了】	○	72
44	-	患者サービス向上に向けた接遇改善【R3完了】	○	73
45	-	診療報酬請求の精度向上による医業収益の拡大	○	74
46	-	医業収益拡大による病院経営基盤の強化	△	75
47	-	医療機器の効率的・効果的な活用に向けたマネジメントの推進	○	76
(2)ICTの積極的な利活用による行政運営				
48	-	A I 等の利活用の推進	○	77
49	-	R P A の導入及び利活用の推進	○	78
50	-	収納率向上に向けた I C T 技術の積極的導入	○	79
51	-	データの利活用推進	○	80
52	-	情報システムにおけるクラウドの利活用の推進	○	81
53	/	行政手続きにおける利便性の向上	/	/
53	1)	電子申請システム等を活用したオンライン手続きの拡充	○	82
53	2)	契約手続きのデジタル化	○	83
53-2	/	市役所のデジタル化	/	/
53-2	1)	S a a S の利活用推進	○	84
53-2	2)	公立保育所における I C T 利活用	○	85
53-2	3)	児童クラブ保護者負担金徴収システム刷新	○	86
53-2	4)	校務支援システムの機能拡充【R3完了】	○	87
53-2	5)	校務支援システム（高校版）の改修【R3完了】	○	88
53-2	6)	企業誘致業務効率化	○	89
53-2	7)	タブレット端末等の配備体制の充実化	○	90
53-2	8)	工事情報共有システムの導入	○	91
53-2	9)	発注工事でのデジタル技術の全面的な活用	○	92
54	-	情報システム最適化の推進	◎	93
55	/	データ活用環境の整備	/	/
55	1)	D X 推進に資する人材の育成	○	94
55	2)	技術職員が担当する業務に係る技術習得等の促進	○	95

目次及び目標達成状況一覧表

No.	枝番	実施項目（大項目）及び主な取組み（小項目）一覧	目標達成状況	掲載ページ
実施方針2 地域課題解決のための現場主義に立脚した市民協働の推進				
(1) 市民とのつながりを強固にする仕組みづくり				
① 多様な主体による活動への支援・コーディネート				
56	-	町内会等住民自治組織育成事業の実施	○	96
57	-	地域活動団体交流会の開催 【R3完了】	△	97
58	-	市民センターにおける地域を担う人づくり支援推進事業の実施	○	98
59	-	市民活動サポートセンターにおける市民活動の場・情報の提供、多様な主体間の連携・交流の促進	○	99
60	-	市民センターによる学びを通じた人づくり	○	100
61	-	若者の社会参加の促進	○	101
62	-	地元企業の地域貢献や社会的課題解決等に資する取組みの促進	○	102
63	-	コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの促進	○	103
64	-	地域における多様な主体の協働推進	○	104
65	-	まちづくり活動事例集の作成 【R2完了】	/	105
② 多様な主体の参画による公共的課題解決のための取組みの推進				
66	-	政策形成過程への市民参加	○	106
67	-	定禅寺通活性化検討会を通じた公民連携による都心部の賑わい・回遊性づくり	○	107
68	-	公共空間利活用等を通じたまちづくり活動の促進	○	108
69	-	連携窓口による公民連携の推進	○	109
70	-	市民協働事業提案制度の充実	○	110
71	-	都市公園のPPP推進	△	111
72	-	市民との対話の機会や場の確保	○	112
(2) 市民協働推進のための市役所の機能強化				
① ともにまちづくりを進める職員の育成				
73	-	窓口での接遇・対応力の向上	○	113
74	-	市民協働に関する職員研修の実施	○	114
75	-	協働推進人材育成事業の実施	△	115
76	-	地域づくり職員研修の実施	○	116
② 市民の視点に立った体制づくり				
77	-	区役所組織の再編	○	117
78	-	総合コールセンター等の運用	○	118

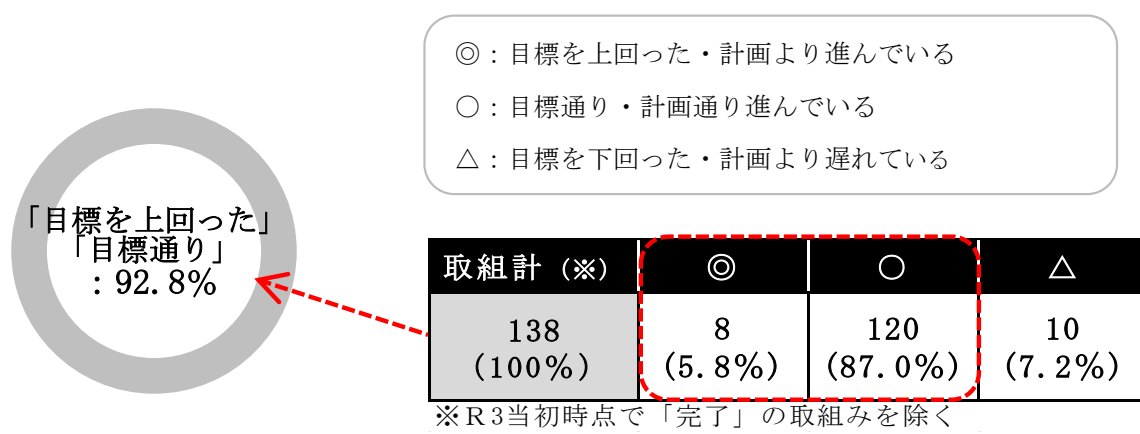
目次及び目標達成状況一覧表

No.	枝番	実施項目（大項目）及び主な取組み（小項目）一覧	目標達成状況	掲載ページ
79		窓口サービス向上に向けた取組み	/	/
79	1)	戸籍住民事務の一部集約化【R3完了】	○	119
79	2)	繁忙期の区役所窓口体制のあり方の検討	○	120
79	3)	窓口サービスの利便性向上	○	121
79	4)	区役所窓口における保険料収納・相談窓口の一元化	○	122
79	5)	手続ワンストップサービスの検討	○	123
80	-	外国人住民への窓口サービスの向上	○	124
実施方針3 人材の力をフルに活用し挑戦する組織への変革				
(1) 職員の意識・組織風土の改革				
① 適切かつ着実に業務を進める体制づくり				
81		職員の意識改革・組織風土の見直しに向けた取組み	/	/
81	1)	職員一人ひとりへのコンプライアンス意識の浸透を図る取組み	○	125
81	2)	風通しのよい組織風土醸成の取組み	○	126
81	3)	職員表彰制度の積極活用	○	127
82	-	内部統制制度への対応	○	128
② 前例にとられない新たな発想を育む仕組みづくり				
83	-	カイゼンアイデア育成制度の活用による組織活性化	○	129
84	-	特区制度の積極的活用	◎	130
85	-	組織横断型プロジェクト・チームによる政策立案・実行	○	131
(2) 働き方改革の推進				
① 職員が働きやすい職場環境づくり				
86	-	多様な働き方を支援する勤務時間・休暇制度の運用	○	132
87	-	超過勤務縮減の取組みの徹底	△	133
88	-	子育て支援の取組み促進	○	134
89	-	女性職員の活躍推進	○	135

目次及び目標達成状況一覧表

No.	枝番	実施項目（大項目）及び主な取組み（小項目）一覧	目標達成状況	掲載ページ
②効率的・効果的に業務を進めるための執務環境整備				
90	-	新たなワークプレイスの試行	○	136
91		多様な働き方を支援する執務環境の整備	/	/
91	1)	Web会議システムの運用	○	137
91	2)	サテライトオフィスの運用	○	138
(3)職員の力を伸ばす人材育成				
92	-	将来のまちづくりに資する人材育成	○	139
93	-	危機管理・防災に関する知識・技能の向上	○	140
94	-	リーダーシップや部下指導力の向上	○	141
95	-	昇任管理のあり方見直し	○	142
96	-	有為な人材の確保	○	143
97	-	人事評価制度の活用	○	144
98	-	組織活性化につながる人員配置	○	145

【参考】令和3年度取組実績（全体）



項目番号	1(1)	No.	1	枝番	1	所管局	財政局	担当課	財政課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	財政健全化							取組み名	収支均衡した予算編成				
取組内容	特例的な収支差対策に依存せず、財政調整的基金の活用可能額の範囲内で収支均衡した予算編成を目指します。												
目標	毎年度の予算編成を通じて、収支均衡した予算編成を実現します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成29年度～令和2年度当初予算編成においては、プラン目標に掲げる特例的な収支差対策ゼロを達成しましたが、令和3年度～令和4年度当初予算編成においては、想定外の新型コロナウイルス感染症への対応等により、特例的な収支差対策を講じざるを得ませんでした。											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	平成29年度当初予算編成において、震災からの復旧・復興事業については国の復興交付金や震災復興特別交付税による財源を見込むとともに、所要額及び財源の精査や基金等の活用による歳入の確保のほか、事業工程の精査による年次調整といった歳出の調整等により収支不足216億円を解消し、プランで掲げる特例的な収支差対策ゼロを達成しました。										
		H29	平成30年度当初予算編成において、震災からの復旧・復興事業については国の復興交付金や震災復興特別交付税による財源を見込むとともに、所要額及び財源の精査や基金等の活用による歳入の確保のほか、事業工程の精査による年次調整といった歳出の調整等により収支不足195億円を解消し、プランで掲げる特例的な収支差対策ゼロを達成しました。										
		H30	令和元年度当初予算編成において、震災からの復旧・復興事業については国の復興交付金や震災復興特別交付税による財源を見込むとともに、所要額及び財源の精査や基金等の活用による歳入の確保のほか、事業工程の精査による年次調整といった歳出の調整等により、収支不足額を財政調整的基金の活用可能額の範囲内である208億円まで精査し、プランで掲げる特例的な収支差対策ゼロを達成しました。										
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	令和2年度当初予算編成において、震災からの復旧・復興事業については国の復興交付金や震災復興特別交付税による財源を見込むとともに、所要額及び財源の精査や基金等の活用による歳入の確保のほか、事業工程の精査による年次調整といった歳出の調整等により、収支不足額を財政調整的基金の活用可能額の範囲内である236億円まで精査し、プランで掲げる特例的な収支差対策ゼロを達成しました。										
		R2	令和3年度当初予算編成においては、新型コロナウイルス感染症の影響等により、大幅な市税収入の減少や感染症対策費の増加により収支差が拡大したことから、義務的経費を含めた所要額の精査を行うとともに、普通交付税や臨時財政対策債等の地方財政措置を最大限見込んだものの、収支不足額が財政調整的基金の活用可能範囲を上回る291億円まで拡大したことから、保有株式の売却益や市債管理基金からの借入金等を計上するなど、特例的な収支差対策を講じざるを得ませんでした。										
		R3	令和4年度当初予算編成においては、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市税収入が一定程度回復するとともに、感染症拡大防止等の財政需要に対する地方創生臨時交付金の追加など、国からも一定の財政措置がなされたところではありますが、社会保障関係費などの義務的経費や感染症対策費の増加等により、収支不足額が財政調整的基金の活用可能範囲を上回る316億円まで拡大したことから、保有株式の売却益や市債管理基金からの借入金等を計上するなど、特例的な収支差対策を講じざるを得ませんでした。なお、令和3年度当初予算編成と比較すると、活用した特例的な収支差対策額は縮減しています。										
目標達成 状況	△		目標達成状況 の説明 (根拠等)	平成29年度～令和2年度当初予算編成においては、プラン目標に掲げる特例的な収支差対策ゼロを達成しましたが、令和3年度当初予算編成及び令和4年度予算編成においては、新型コロナウイルス感染症の影響等により特例的な収支差対策を講じざるを得ませんでした。									
今後の進め方 (課題への対応)	市税の収納率向上や国等の財政支援の最大限の活用、事務事業見直しの強化や更なる予算の厳選重点化など、歳入歳出両面にわたり様々な方策を講じることで、毎年度の予算編成において、特例的な収支差対策に依存しない予算編成に努めます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	1	枝番	2	所管局	財政局	担当課	財政課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	財政健全化							取組み名	基礎的財政収支の均衡・黒字の確保				
取組内容	将来世代への負担を抑制するため、毎年度の決算において、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の均衡又は黒字を確保します。												
目標	毎年度の決算において、基礎的財政収支の均衡・黒字化の確保の実現が図られるようにします。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度決算	181億円の黒字										
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	平成28年度決算	181億円の黒字									
		H29	平成29年度決算	81億円の黒字									
		H30	平成30年度決算	108億円の黒字									
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	令和元年度決算	126億円の黒字									
		R2	令和2年度決算	72億円の黒字									
		R3	令和3年度決算	141億円の黒字									
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	平成28年度～令和3年度決算において、黒字を確保しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き、毎年度の決算において、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の均衡又は黒字を確保するよう努めます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	1	枝番	3	所管局	財政局	担当課	財政課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	財政健全化							取組み名	市債の適切な管理				
取組内容	<p>過去に整備したインフラを含む公共施設の多くが更新時期を迎えることが見込まれる中、必要な公共投資を行いつつも、予算編成過程における厳選・重点化などの取組みを通じて、市債（通常債）の適切な管理に努め、将来に過大な負担を残さないよう財政規律を堅持していきます。</p> <p>※通常債…市債のうち、臨時財政対策債（本来、国が交付すべき地方交付税の不足分を補うために発行する市債であり、後年度に返済のための財源が国から手当てされます）など特別な市債を除いたもの。</p>												
目標	公共投資の厳選・重点化などの取組みを通じて、市債（通常債）の適切な管理に努め、将来に過大な負担を残さないよう財政規律を堅持していきます。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成27年度末残高	5,315億円										
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28	平成28年度末残高	5,196億円（対平成27年度末比△119億円）									
		H29	平成29年度末残高	5,067億円（対平成27年度末比△248億円）									
		H30	平成30年度末残高	4,934億円（対平成27年度末比△381億円）									
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	令和元年度末残高	4,857億円（対平成27年度末比△458億円）									
		R2	令和2年度末残高	4,809億円（対平成27年度末比△506億円）									
		R3	令和3年度末残高	4,765億円（対平成27年度末比△550億円）									
	目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	必要な公共投資のための市債を発行しつつ、厳選・重点化を行うことにより、通常債残高の縮減を実現できました。								
今後の進め方 (課題への対応)	過去に整備したインフラを含む公共施設の多くが更新時期を迎えることが見込まれる中、必要な公共投資を行いつつも、予算編成過程における厳選・重点化などの取組みを通じて、市債（通常債）の適切な管理に努め、将来に過大な負担を残さないよう財政規律を堅持していきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	2	枝番	1	所管局	財政局	担当課	財政企画課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	公共施設マネジメントの推進							取組み名	現有施設活用の徹底				
取組内容	施設データの一元的整備・把握を行い、公共施設マネジメントの基礎データとして活用し、新規整備や更新の厳選・重点化及び改修・更新などの費用の縮減・平準化を図ります。												
目標	施設の老朽度、利用状況、コスト状況等のデータを整理集約し、ホームページで公表（「公共施設の『見える化』」）するとともに、保有資産のうち、売却・貸付等が可能な資産を把握するため、定期的に調査を実施し、未利用資産収益化の徹底を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 施設データの一元的整備・把握 「公共施設の『見える化』」の活用継続 未利用資産収益化の徹底											
	実績・見込	平成28年度	地域施設（市民センター、コミュニティ・センター、老人憩の家）について施設データ公表										
		平成29年度	地域施設について経年変化の把握のためデータを更新、市民利用施設（文化センター、社会教育施設、スポーツ施設など）の追加による公表内容の拡充										
		平成30年度	地域施設、市民利用施設について経年変化の把握のためデータを更新、対象施設に児童館・児童センター、社会福祉センター、老人福祉センターなどを追加し、公表内容を拡充										
		令和元年度	取り組みの継続										
		令和2年度	取り組みの継続										
		令和3年度	取り組みの継続、未利用資産収益化の徹底を図るため、全庁に未利用資産の照会、及びR4売払予定財産を通知。										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政財政改革推進プラン2016	H28	公共施設の現状の「見える化」の取り組みの初年度として、全市的に配置された地域施設である市民センター、コミュニティ・センター、老人憩の家について施設データを公表しました（本市HPに掲載したほか、公表対象施設に印刷物を配布）。										
		H29	平成28年度に公表した地域施設のデータを更新するとともに、施設データの公表範囲を拡充し、地域施設よりも広い単位で配置され、多様な利用者層を持つ市民利用施設（文化センター、社会教育施設、スポーツ施設など）を追加しました（本市HPに掲載したほか、公表対象施設に印刷物を配布）。										
		H30	平成29年度に公表した施設データを更新するとともに、データの公表範囲を拡充し、市民が利用する施設の中でも、利用者が特定の層に限られる施設（児童館・児童センター、社会福祉センター、老人福祉センターなど）を追加しました（本市HPに掲載したほか、市政情報センターへ配架。令和元年度に公表対象施設に印刷物を配布・掲示）。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	施設の稼働状況などの情報を集約・整理し公表する「公共施設の『見える化』」について、老朽化施設のあり方検討などの基礎資料として活用しました。										
		R2	施設の稼働状況などの情報を集約・整理し公表する「公共施設の『見える化』」について、老朽化施設のあり方検討などの基礎資料として活用しました。										
		R3	施設の稼働状況などの情報を集約・整理し公表する「公共施設の『見える化』」について、老朽化施設のあり方検討などの基礎資料として活用しました。 各局区が保有する未利用資産について、全庁照会を行い、その把握をするとともに、売払可能性が高いものについて、R4売払予定財産として全庁に通知しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	公共施設総合マネジメントプランに則り、施設の稼働状況などの情報の集約・整理を進め、公共施設の「見える化」の活用を継続しました。 また、未利用資産の収益化徹底のため、全庁照会により、その把握を徹底し、売払予定財産を全庁に通知しました。									
今後の進め方（課題への対応）	これまでに「見える化」を行った以外の施設について、更なる活用等の検討が促進されるよう公表対象とする施設を検討しながら、「見える化」の取り組みを継続します。 また、各局区が保有する未利用資産について、引き続き調査をするとともに、未利用資産の収益化の徹底を図ります。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	2	枝番	2	所管局	財政局	担当課	財政企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続	
実施項目	公共施設マネジメントの推進							取組み名	施設の質・量の適正化					
取組内容	各施設の利用状況やコスト状況等を踏まえながら、施設の老朽化による更新等の機会に合わせて、施設の機能や面積の最適化を検討します。													
目標	利用者のニーズの変化や地域の実情に合わせて、施設の機能の統合や転用・廃止、未利用地・低利用地の有効活用等の方策を検討し、施設の質・量の適正化を図ります。													
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。												
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	仙台市公共施設総合マネジメント推進本部の立ち上げ 複合化のモデル地区として将監地区（市民センター、老人憩の家、児童センター）を設定											
		平成29年度	将監モデル地区における市民センター等複合施設の施設整備基本計画策定 施設更新時における中長期的な視点に立った敷地利用・規模・仕様等の最適化に係る調査実施											
		平成30年度	他の証明発行センターに比べ利用件数が極端に少なく、また建物（プレハブ）の老朽化が著しい大倉証明発行センターについて、平成30年度末で廃止する方針を決定 将監モデル地区における市民センター等複合施設の基本設計 生出地区において、複合化（市民センター、保健センター、老人憩の家等）事業の検討を開始 地域住民参加のワークショップを通じて施設整備の計画要件とりまとめ											
		令和元年度	他の証明発行センターに比べ利用件数が少ない大倉、大沢の2館を平成30年度末で廃止 将監モデル地区における市民センター等複合施設の詳細設計											
		令和2年度	生出地区における市民センター等複合施設整備に向けた検討 将監モデル地区における市民センター等複合施設の詳細設計、着工											
		令和3年度	生出地区における市民センター等複合施設整備に向けた検討 将監モデル地区における市民センター等複合施設建設工事											
		令和4年度	生出地区における市民センター等複合施設整備に向けた検討											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	平成29年2月に仙台市公共施設総合マネジメント推進本部を立ち上げ、施設の将来のあり方等について関係する部局を含め検討する体制を整備しました。また、複合化に先行して取組むモデル地区として、将監地区（市民センター、老人憩の家、児童センター）を選定するための関係課・地元との調整を行いました。											
		H29	将監モデル地区において地域住民や施設利用者等を対象としたワークショップを計4回開催し、複合施設に求める機能や配置等について検討し、複合施設の整備基本計画をとりまとめました。 また、施設更新時における中長期的な視点に立った敷地利用・規模・仕様等の最適化に係る調査として、建替え手法や近隣公共施設との複合化、転用などの可能性に関する試算、事例収集といった基礎的調査を行いました。											
		H30	将監モデル地区において市民センター等複合施設の基本設計を行ったほか、生出地区で公共施設（市民センター、保健センター、老人憩の家等）複合化事業の検討を開始し、地域住民や施設利用者等を対象としたワークショップを計3回開催しました。ワークショップでは、複合施設に求める機能等について検討し、施設整備の計画要件（基本計画策定時に留意すべき事項）をとりまとめました。 また、他の証明発行センターに比べ利用件数が少ない大倉、大沢の2館を平成30年度末で廃止しました。											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	将監モデル地区において市民センター等複合施設の実施設設計を行ったほか、地域住民や施設利用者で構成される勉強会を計7回開催し、建替後の施設の使い方等について検討しました。また、生出地区においては、老朽化した公共施設（市民センター、保健センター、老人憩の家等）の取り扱いについて、地域の皆様と計2回打合せを行い、公共施設の複合化について、建て替えた場合の建物配置等の検討を行いました。											
		R2	将監モデル地区において、市民センター等複合施設の実施設設計策定、建築工事着工となったほか、地域住民の方で構成される準備委員会を計2回開催しました。 また、生出地区においては、老朽化した公共施設（市民センター、保健センター、老人憩の家等）の取り扱いについて、地域の皆様と計3回打合せを行い、公共施設の複合化について、建替地等の検討を行いました。											
		R3	将監モデル地区において、市民センター等複合施設が完成しました（供用開始はR4年度）。また、施設内に設けた市民交流スペースの適切かつ効果的な運用に向けて、地域住民の方で構成される分科会を10回以上開催しました。 生出地区においては、老朽化した公共施設（市民センター、保健センター、老人憩の家等）の取り扱いについて、地域の皆様との打合せを行い、整備の方向性等について検討を行いました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	施設の将来のあり方について、平成28年度に整備した庁内検討体制（仙台市公共施設総合マネジメント推進本部）により検討を行うとともに、市民協働で施設の複合化に関する具体的な取り組みを推進することができました。										
今後の進め方 (課題への対応)	複合施設の整備に向けた取り組みを進めていくとともに、老朽化した施設のあり方等についても、庁内検討体制を活用しながら引き続き検討を行っていきます。													
備考														

項目番号	1(1)	No.	2	枝番	3	所管局	財政局	担当課	財政企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	公共施設マネジメントの推進							取組み名	民間活力活用の推進				
取組内容	民間事業者のノウハウをはじめとする民間活力の更なる活用や施設運営の安定した財源確保などの取り組みを行います。												
目標	PFI手法やネーミングライツ等の導入を推進します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	「仙台市PFI活用指針」を改訂、平成29年4月1日より第4版として運用										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	「仙台市PFI活用指針」について、関係法令・他都市導入事例等の情報をまとめた「資料編」の作成などの改訂を行いました。										
		H29	「仙台市PFI活用指針（第4版）」に基づき、既存PFI事業の運用、新規案件の庁内検討等を行いました。										
		H30	「仙台市PFI活用指針（第4版）」に基づき、既存PFI事業の運用、新規案件の庁内検討等を行いました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	「仙台市PFI活用指針（第4版）」に基づき、既存PFI事業の運用、新規案件の庁内検討等を行いました。										
		R2	「仙台市PFI活用指針（第4版）」に基づき、既存PFI事業の運用、新規案件の庁内検討等を行いました。民間活力導入により建て替える泉区役所について、学識経験者による事業者選定委員会等を設置し、庁舎整備の考え方、主要な要件や仕様等、事業者公募に必要な事項について検討しました。										
		R3	「仙台市PFI活用指針（第4版）」に基づき、既存PFI事業の運用、新規案件の庁内検討等を行いました。民間活力導入により建て替える泉区役所について、学識経験者による事業者選定委員会等を引き続き開催し、事業者公募を実施のうえ、事業予定者を決定しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	民間活力の更なる活用について庁内検討を継続し、民間活力導入により建て替える泉区役所において、公募により事業予定者を決定しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	民間活力の更なる活用や施設運営の安定した財源確保などの取り組みを進めます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	3	枝番	-	所管局	財政局	担当課	本庁舎整備室	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	本庁舎建替えに向けた取組み							取組み名	—				
取組内容	市役所本庁舎の建替えにあたっては、市民の生活や活動を支える市民中心の市役所の機能を強化し、また、市民協働の力や杜の都の魅力といった”仙台らしさ”を市民が感じることができる環境を整備するとともに、過去の伝統、経験を現在から未来へとつなぐ役割を担わせるため、「まちづくり（賑わい・協働）」、「災害対応・危機管理」、「利便性・環境配慮」、「持続可能性（経済性・生産性・柔軟性）」の4つの観点を基に検討を行います。												
目標	最適なライフサイクルコストの下、業務の質や効率性の向上に寄与するような職員の働きやすい環境を創出するとともに、様々な変化にも柔軟に対応し、長く有効に使い続けられる庁舎を目指し、検討を進めます。												
進捗状況	スケジュール	<p>～令和元年度 基本計画の検討（基本構想の内容を踏まえ、設計等の整理）</p> <p>令和2年度～令和4年度 設計</p> <p>令和5年度～令和8年度 施工</p> <p>令和8年度 完成、移転</p> <p>令和9年度～令和10年度 外構・解体工事</p> <p>※上記のスケジュールは想定される最短の整備スケジュールであり、整備パターン等の検討内容によって変更となる場合があります。</p>											
	実績・見込 (括弧は見込)	<p>～令和2年7月 基本計画の検討・策定（基本構想の内容を踏まえ、設計条件等の整理）</p> <p>令和2年度（～令和5年度）設計</p> <p>（令和6年度～令和9年度 施工）</p> <p>（令和10年度 完成、移転）</p> <p>（令和10年度～令和12年度 外構・解体工事）</p>											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	基本計画の検討（基本構想の内容を踏まえ、設計条件等の整理）										
		R2	<p>令和2年7月 基本計画策定</p> <p>令和2年8月 基本設計公募型プロポーザル開始</p> <p>令和3年3月 基本設計契約締結・業務開始</p>										
		R3	<p>令和4年3月 仙台市役所建替基本設計書の作成</p> <p>令和4年3月 基本設計業務完了</p>										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	基本計画の策定期間については、当初想定より遅れが見られましたが、以降の工程については予定通り進捗しています。									
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き、本庁舎建替基本計画に掲げる基本整備方針や議会での検討内容等を踏まえて実施設計を進め、令和5年度までに設計を完了させます。併せて、新本庁舎低層部については、社会実験等を実施しながら、民間活力導入のための事業スキーム等を引き続き精査するとともに、事業者募集に向けて公募要領等の作成等を行います。また、設計段階において施設機能や規模、事業手法等の精査を進め、可能な限り整備費用の縮減を図るとともに、国庫補助の活用等、財源確保に向けた取り組みを進めます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	4	枝番	-	所管局	都市整備局	担当課	公共施設マネジメント推進課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	市有建築物の長寿命化等の取組みの推進								取組み名	-			
取組内容	<p>学校や市民活動の拠点となる施設については、改修の優先順位を定めた上で、順次改修を進めます。</p> <p>大規模かつ特殊性を有する施設については、それぞれ財政負担水準を把握し、年次調整の上で、改修を進めます。</p>												
目 標	<p>学校や市民センター等の市民に身近な施設の改修を計画的に進めるとともに、博物館等の大規模施設については、施設ごとに基本計画を策定し、年次調整を図りながら改修を進めます。</p>												
進捗状況	スケジュール	<p>学校等については、順次、設計・工事を進めていきます。</p> <p>大規模施設については、基本計画策定ののち、設計・工事を行っていきます。</p>											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	学校や市民センター等の改修設計を実施、大規模施設の基本計画を策定										
		平成29年度	学校や市民センター等の工事・改修設計を実施、大規模施設の基本計画を策定										
		平成30年度	学校や市民センター等の工事・改修設計を実施、大規模施設の基本計画策定・改修設計を実施										
		令和元年度	学校や市民センター等の工事・改修設計を実施、大規模施設の改修設計を実施										
		令和2年度	学校や市民センター等の工事・改修設計を実施、大規模施設の工事・改修設計を実施										
		令和3年度	学校や市民センター等の工事・改修設計を実施、大規模施設の工事・改修設計を実施										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政財政改革推進プラン2016	H28	学校や市民センター等17施設について改修設計を実施しました。大規模施設14施設について基本計画を策定しました。										
		H29	学校や市民センター等34施設について工事・改修設計を実施しました。大規模施設9施設について基本計画を策定しました。										
		H30	学校や市民センター等33施設について工事・改修設計を実施しました。大規模施設3施設について基本計画を策定するとともに、1施設について改修設計を実施しました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	学校や市民センター等36施設について工事・改修設計を実施しました。大規模施設1施設について改修設計を実施しました。										
		R2	学校や市民センター等39施設について工事・改修設計を実施しました。大規模施設4施設について工事・改修設計を実施しました。										
		R3	学校や市民センター等39施設について工事・改修設計を実施しました。大規模施設5施設について工事・改修設計を実施しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	施設を使いながらの改修となるため、制約条件の整理や工事の工程計画の検討等に時間を要しましたが、関係者との調整を重ね、予定通り業務を実施しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き関係者との調整を行いながら、円滑に取り組みを進めていきます。												
備 考													

項目番号	1(1)	No.	5	枝番	1	所管局	経済局	担当課	農林土木課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	インフラ系施設の長寿命化等の取組みの推進							取組み名	農業用施設のストックマネジメントの推進				
取組内容	既設の農業用施設について、劣化状況等の現状把握を行った上で、長寿命化整備計画を作成し、維持管理費用の低減と効率的な保全管理を推進します。												
目標	平成28年度から保全計画の策定に着手し、計画に基づき、長寿命化対策を実施します。												
進捗状況	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 農業用排水路 <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度 農業用排水路の機能診断 平成29年度 農業用排水路の保全計画（平成29年度～令和8年度）策定 平成30年度 農業用排水路の対策工事開始 ため池等 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度 ため池の機能診断 平成30年度 ため池等の保全計画（平成30年度～令和9年度）策定 令和2年度 ため池等の対策工事開始 揚・排水機場等 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度 揚・排水機場等の機能診断 令和元年度 揚・排水機場等の保全計画（令和元年度～令和10年度）策定 農道橋 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 農道橋の保全計画（令和3年度～令和12年度）策定 令和4年度 農道橋の対策工事開始 											
	（括弧は見込） 実績・見込	<p>平成28年度 農業用排水路の機能診断 中長期整備計画（案）を策定</p> <p>平成29年度 農業用取水堰・農業用ため池の機能診断・整備計画策定 農業用排水路の対策工事開始</p> <p>平成30年度 揚排水機場・ゲート類の機能診断・整備計画策定 農業用排水路以外の施設の対策工事開始</p> <p>令和元年度 揚・排水機場等の保全計画を策定 農業用排水路の対策工事を実施</p> <p>令和2年度 ため池対策工事の詳細設計 農業用排水路の対策工事を実施</p> <p>令和3年度 ため池等の対策工事を開始 （令和4年度 農道橋の保全計画（令和5年度～令和14年度）を策定）</p>											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	農業用排水路について、施設重要度・健全度を整理して今後50年間の機能保全コストを算定しました。										
		H29	農業用取水堰・農業用ため池について、機能診断を行い、機能保全コストを算定しました。農業用排水路の対策工事を開始しました。										
		H30	農業用排水路の対策工事を実施しました。										
		H31 (R1)	揚・排水機場等の保全計画を策定しました。 農業用排水路の対策工事を実施しました。										
		R2	ため池の対策工事に向けた詳細設計を実施しました。 農業用排水路の対策工事を実施しました。										
		R3	ため池の対策工事を開始しました。 農業用排水路の対策工事を実施しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	ため池の対策工事を開始し、水路の対策工事を実施するなど、概ね予定通り進捗しました。									
今後の進め方 （課題への対応）	令和4年度に農道橋の保全計画を策定していきます（新型コロナウイルス感染症の影響による令和3年度から令和4年度への予算付け替えのため未完了）。保全計画に基づき、令和6年度から予算を確保し工事を開始していく予定です。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	5	枝番	2	所管局		建設局		担当課	道路保全課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	インフラ系施設の長寿命化等の取組みの推進							取組み名	道路施設の長寿命化の推進						
取組内容	道路施設全般において、長寿命化修繕計画に基づき予防保全的な対策を推進します。														
目 標	各計画に基づく予防保全対策の実施により、維持管理コストの縮減・平準化を図ります。														
進捗状況	スケジュール	計画に基づく対策の実施 ※5年毎の法定点検による計画の見直しを行う													
	実績・見込 (括弧は見込)	【施設毎の長寿命化修繕計画策定】 平成28年度 トンネル、シェッド・シェルター、舗装 平成29年度 ボックスカルバート、道路標識・情報板 平成30年度 ペDESTリアンデッキ、道路照明灯 令和2年度 横断歩道橋、共同溝 (令和4年度 地下駐輪場、地下通路) 【予防保全対策】 平成28年度～ 計画に基づく対策の実施													
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	トンネル、シェッド・シェルター、舗装の長寿命化修繕計画を策定しました。長寿命化修繕計画を策定した道路施設について、計画に基づく対策工事を実施しました。												
		H29	ボックスカルバート、道路標識・情報板の長寿命化修繕計画を策定しました。長寿命化修繕計画を策定した道路施設について、計画に基づく対策工事を実施しました。												
		H30	ペDESTリアンデッキ、道路照明灯の長寿命化修繕計画を策定しました。長寿命化修繕計画を策定した道路施設について、計画に基づく対策工事を実施しました。												
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	長寿命化修繕計画を策定した道路施設について、計画に基づく対策工事を実施しました。												
		R2	横断歩道橋、共同溝の長寿命化修繕計画を策定しました。長寿命化修繕計画を策定した道路施設について、計画に基づく対策工事を実施しました。												
		R3	長寿命化修繕計画を策定した道路施設について、計画に基づく対策工事を実施しました。												
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	概ね予定通り、対策工事を実施しました。											
今後の進め方 (課題への対応)	令和4年度に地下駐輪場と地下通路を合わせた長寿命化修繕計画を取りまとめる予定です。引き続き、計画に基づいた予防保全対策を実施していきます。														
備 考															

項目番号	1(1)	No.	5	枝番	3	所管局	建設局	担当課	公園管理課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	インフラ系施設の長寿命化等の取組みの推進							取組み名	公園施設の効率的かつ効果的な維持・更新				
取組内容	長寿命化の視点、管理・整備・運営手法の工夫を取り入れ、公園全体の持続可能な運営を目指す公園施設総合改修計画を作成し、効率的かつ効果的な公園施設の維持管理・改修を推進します。												
目標	公園施設総合改修計画を作成し、施設の長寿命化、維持管理コストの縮減・平準化を図ります。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	【施設毎の改修計画作成】 平成28年度 有料運動公園施設 平成29年度 建築物 平成30年度～令和元年度 大規模公園（20公園）、遊戯施設 令和元年度～令和2年度 照明灯、土木構造物、小規模建築物 令和3年度（～令和4年度） 公園施設総合改修計画作成											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	有料運動公園施設について施設カルテと改修計画を作成しました。 有料運動公園施設改修計画に基づき、庭球場の改修工事を実施しました。										
		H29	体育館やクラブハウス等の公園施設（建築物）50棟について改修計画を作成しました。 有料運動公園施設改修計画に基づき、庭球場・野球場の改修工事を実施しました。										
		H30	大規模公園（20公園）及び公園施設（遊戯施設）について、改修計画の作成に着手しました。 有料運動公園施設改修計画に基づき、庭球場・野球場の改修工事を実施しました。										
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	大規模公園（20公園）及び公園施設（遊戯施設）について、改修計画を作成しました。 照明灯、土木構造物（橋梁類）、小規模建築物（トイレ）について、改修計画の作成に着手しました。										
		R2	照明灯、土木構造物（橋梁類）、小規模建築物（トイレ）について、改修計画を作成しました。										
		R3	公園施設総合改修計画の作成に着手しました。										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	公園施設改修計画の作成に着手し、各区と調整を行っており、概ね予定通りに進捗しています。									
今後の進め方 (課題への対応)	既設施設の長寿命化を図りながら、より効果的、効率的に公園ストック等の改修等に取り組む公園施設総合改修計画へ移行していきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	5	枝番	4	所管局		建設局		担当課	経営企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況		継続	
実施項目	インフラ施設の長寿命化等の取組みの推進							取組み名	アセットマネジメントに基づく 下水道施設の長寿命化及び更新								
取組内容	<p>「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる快適な暮らしを支え続け、生活環境維持を目指すため、これまでに構築した下水道アセットマネジメントシステムを用いて、経年使用等により構造面・機能面で高いリスクを持つ下水道施設を優先的に改築更新することにより、下水道の機能維持や向上を図ります。</p> <p>※下水道アセットマネジメントシステム…下水道事業の状況と将来のリスク、必要な費用のバランスを取りながら事業を運営する経営手法</p>																
目標	下水道施設の点検やカメラ調査等により状態を確認し、老朽化に伴うリスクを評価することによって、高いリスクを持つ下水道施設の長寿命化及び更新を実施します。																
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。															
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	管路施設の調査、老朽管の修繕、浄化センター設備の改修、ポンプ場設備の改修														
		平成29年度	同上														
		平成30年度	同上														
		令和元年度	同上														
		令和2年度	同上														
		令和3年度	同上														
単年度ごとの 主な実績	仙台市行財政改革推進プラン 2016	H28	管路施設の調査：21.0km、老朽管の改築：0.1km、浄化センター設備の改築：南蒲生浄化センター脱水機速度制御装置改築工事・定義浄化センター電気設備改築工事ほか、ポンプ場設備の改築：郡山ポンプ場No.4汚水ポンプ及び液体抵抗器改築工事・みやぎ中山ポンプ場電気設備更新工事ほか														
		H29	管路施設の調査：25.3km実施、老朽管の改築：4.6km着手、浄化センター設備の改築：広瀬川浄化センターNo.1脱水機整備工事ほか、ポンプ場設備の改築：郡山ポンプ場外1箇所汚水ポンプ設備改築工事、三居沢ポンプ場破砕機更新工事ほか														
		H30	管路施設の調査：33.7km実施、老朽管の改築：3.5km着手、浄化センター設備の改築：広瀬川浄化センター汚泥棟電気設備更新工事ほか、ポンプ場設備の改築：六丁目ポンプ場沈砂池機械設備更新工事、無串ポンプ場設備改築工事ほか														
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	管路施設の調査：28.4km実施、老朽管の改築：中山吉成地区、石名坂地区など8地区7.6km着手、浄化センター・ポンプ場の改築：広瀬川浄化センター、上谷川浄化センター、鶴巻ポンプ場など8施設														
		R2	管路施設の調査：24.0km実施、老朽管の改築：元茶畑地区、河原町一丁目地区など5地区3.7km着手、浄化センター・ポンプ場の改築：広瀬川浄化センター、上谷川浄化センター、落合雨水ポンプ場、愛宕橋ポンプ場の4施設														
		R3	管路施設の調査：16.7km実施、老朽管の改築：角五郎地区、二日町地区など5地区2.6km着手、浄化センター・ポンプ場の改築：南蒲生浄化センター、広瀬川浄化センター、鶴巻ポンプ場、六丁目ポンプ場など計20施設														
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	仙台市下水道事業中期経営計画に基づき、概ね予定通り下水道施設の長寿命化及び更新を実施しました。													
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き、「仙台市下水道マスタープラン」及び「仙台市下水道事業中期経営計画」に基づき効率的な事業推進を図ります。																
備考																	

項目番号	1(1)	No.	5	枝番	5	所管局	建設局	担当課	河川課	プラン掲載年度	H31(R1)	進行状況	継続	
実施項目	インフラ系施設の長寿命化等の取組の促進								取組み名	河川管理施設等の長寿命化と河川流域の安全性確保の推進				
取組内容	河道及び河川管理施設の長寿命化・保全計画を策定し、適切な維持管理、計画的な修繕・更新を実施することで、コストの縮減及び平準化を図りつつ河川流域の安全確保を推進します。													
目標	令和元年度から、河川管理施設等長寿命化・保全計画を策定し、この計画に基づき、長寿命化等の対策を実施します。													
進捗状況	スケジュール	令和元年度 河川管理施設等長寿命化・保全基本計画策定 令和2年度～ 河川管理施設等長寿命化・保全個別計画策定 河川管理施設等長寿命化・保全対策工事												
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度	河川管理施設等長寿命化・保全基本計画策定											
		令和2年度	河川管理施設等長寿命化・保全個別計画策定(2河川)											
		令和3年度	河川管理施設等長寿命化・保全対策工事の実施(1河川)											
			河川管理施設等長寿命化・保全個別計画策定(7河川)											
			河川管理施設等長寿命化・保全対策工事の実施(4河川)											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28												
		H29												
		H30												
仙台市役所経営プラン	H31(R1)	河川管理施設等長寿命化・保全基本計画を策定しました。												
	R2	赤坂川外8河川について、河川管理施設等長寿命化・保全個別計画を策定しました。梅田川下流域において、長寿命化・保全対策工事を実施しました。												
	R3	八沢川外6河川について、河川管理施設等長寿命化・保全個別計画を策定しました。梅田川中流域、綱木川流域、井土浦川下流域及び後田川下流域において、長寿命化・保全対策工事を実施しました。												
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	河川毎に定めた個別計画に基づき、梅田川中流域、綱木川流域、井土浦川下流域及び後田川下流域において長寿命化対策工事と堆積土砂撤去を実施しました。										
今後の進め方 (課題への対応)	今後、河川管理施設等長寿命化・保全個別計画の策定が必要な8河川について、河川毎の現状把握、点検による評価を行い、望ましい管理水準、維持管理・更新計画等を定めた計画を令和5年度までに策定します。また、計画に基づいた対策工事を集中的に実施します。													
備考														

項目番号	1(1)	No.	6	枝番	-	所管局	建設局	担当課	経営企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	完了
実施項目	下水道アセットマネジメントシステムの継続的改善							取組み名	-				
取組内容	令和2年度までに、仕組みと運用の改善を通じ、下水道アセットマネジメントシステムの成熟度の向上を図るとともに、改善されたシステムを活用して中期経営計画を策定します。												
目 標	令和2年度までに、下水道アセットマネジメントシステムの成熟度の向上と、改善されたシステムを活用して中期経営計画を策定します。												
進捗状況	スケジュール	平成28年度 課題抽出と改善方針の策定 平成29年度 保全計画策定方針や各種基準の見直し検討 平成30年度 各種基準や組織体制の見直し実施 令和元年度 見直された基準に基づく中期経営計画（後期）の検討 令和2年度 中期経営計画（後期）の策定											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 課題抽出と改善方針の策定 平成29年度 保全計画策定方針や各種基準の見直し検討 平成30年度 各種基準や組織体制の見直し実施 令和元年度 見直された基準に基づく中期経営計画（後期）の検討 令和2年度 中期経営計画（後期）の策定											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	現状のアセットマネジメントシステムに関する課題の抽出を行うとともに、抽出した課題に対する改善方針となる「アセットマネジメントシステム改善戦略」を策定しました。										
		H29	「アセットマネジメントシステム改善戦略」に基づき、個別戦略に対する分科会及び作業部会を立ち上げ、保全計画策定方針や各種基準の見直しについて検討しました。										
		H30	「アセットマネジメントシステム改善戦略」に基づき、リスク評価基準や投資判断基準等の見直しについて検討しました。また、事務処理の効率化や令和元年度以降の次期中期経営計画策定に向けて、組織体制の見直しを検討しました。										
	仙台市 役所経営 プラン	H31 (R1)	「アセットマネジメントシステム改善戦略」に基づき、新たなリスク評価基準や下水道施設保全方針の取りまとめを実施するとともに、次期中期経営計画（令和3～7年度）期間中に実施予定の事業案件を取りまとめるなど、計画策定に向けた検討を進めました。										
		R2	「アセットマネジメントシステム改善戦略」に基づき、とりまとめた新たなリスク評価基準や下水道施設保全方針を踏まえ、後期中期経営計画（令和3～7年度）を策定しました。										
		R3											
目標達成 状況			目標達成状況 の説明 (根拠等)										
今後の進め方 (課題への対応)													
備 考	令和2年度完了												

項目番号	1(1)	No.	7	枝番	-	所管局	環境局	担当課	環境企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続	
実施項目	市有施設の購入電力量削減の取組みの推進								取組み名	-				
取組内容	省エネ・高効率機器等の計画的な導入など市有施設の購入電力量削減の取組みを推進します。													
目標	市有施設へのLED照明の導入などにより、令和2年度の購入電力量を、平成29年度比で3.6%以上削減します。（※地下鉄東西線の動力に係る購入電力量は除く）													
進捗状況	スケジュール	令和元年度 中小企業活性化センターへのLED照明導入など 令和2年度 市有施設への省エネ・高効率機器の導入												
	実績・見込	平成28年度 市有施設へのBEMS、LED照明、高効率機器の導入 平成29年度 市有施設へのLED照明導入 平成30年度 市有施設へのLED照明導入 令和元年度 市有施設へのLED照明導入 令和2年度 市有施設へのLED照明導入 令和3年度 市有施設へのLED照明導入												
数値目標	説明								H28	H29	H30	R1	R2	R3
	見込	購入電力量基準年度比 (総量ベース)											3.6%以上減	
	実績	購入電力量基準年度比 (総量ベース)										0.0%減	1.2%減	0.5%減
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	BEMSを3施設（根白石温水プール、太白学校給食センター、富沢遺跡保存館）に導入したほか、2施設（太白区役所、宮城広瀬体育館）において照明をLED化しました。また、その他高効率機器を1施設で導入（松森工場の高温水循環ポンプの交換）しました。											
		H29	2施設（シェルコムせんだい、泉海洋センター）において、照明をLED化しました。											
		H30	2施設（仙台市中小企業活性化センター、仙台高等学校体育館）において、照明をLED化しました。											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	1施設（仙台市中小企業活性化センター）において、照明をLED化しました。											
		R2	2施設（仙台市立燕沢小学校屋内運動場、仙台市立南小泉中学校屋内運動場）において、照明をLED化しました。											
		R3	11施設（仙台市長命ヶ丘児童センター他10館）において、照明をLED化しました。											
目標達成状況	△		目標達成状況の説明 (根拠等)	新型コロナウイルス感染症の影響により施設の臨時休館期間や事業の休止等が生じた令和2年度に比べ、令和3年度は施設の利用状況等が回復したことから、購入電力量は前年度比で増加し、基準年度比では0.5%の減に留まりました。										
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き省エネ・高効率機器等の導入やエネルギーの効率的な使用に努めるとともに、市有施設の脱炭素化に向けた検討など、購入電力量の削減に向けた取組みを進めていきます。													
備考														

項目番号	1(1)	No.	8	枝番	1	所管局	財政局	担当課	財政企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	財源創出に向けた取組みの推進							取組み名	広告収入の拡充				
取組内容	本市が所有する様々な資産について、広告媒体として活用を図るとともに、市有施設へのネーミングライツの導入を推進します。												
目標	様々な市有施設を広告媒体として活用し、広告収入の拡充を図ります。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込	【広告募集】 平成28年度～令和3年度 定例的な案件のほか、新たな広告収入の拡充 【ネーミングライツ】 平成28年度 市民利用施設5施設において新規導入 令和元年度 市民利用施設6施設において新規導入(R2年度より運用開始)											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	【広告募集】 ・納税通知書送付用封筒等の定例的な広告募集を実施しました。 ・「家庭用ごみ・プラスチック製容器包装指定袋」に広告を導入しました。 ・青葉、宮城野、若林、太白の各区役所に広告付き情報案内端末（タッチパネル式デジタルサイネージ）を設置しました。 【ネーミングライツ】 ・仙台市体育館、八木山動物公園、泉文化創造センター（イズミティ21）、仙台市陸上競技場、仙台市民会館の5施設に導入しました。										
		H29	【広告募集】 ・富沢駅歩行者用立体横断施設の壁面にストリートパネル広告を導入しました。 【ネーミングライツ】 ・仙台スタジアム、宮城広瀬総合運動場、青年文化センター、泉岳自然ふれあい館のネーミングライツ契約を更新しました。										
		H30	【広告募集】 ・新規導入に向けた検討を行いました。 【ネーミングライツ】 ・新規導入に向けた検討を行いました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	【広告募集】 ・新規導入に向けた検討を行いました。 【ネーミングライツ】 ・鶴ヶ谷温水プール、葛岡温水プール、水の森温水プール、青葉体育館、仙台市武道館、八木山動物園の施設に導入しました。										
		R2	【広告募集】 ・新規導入に向けた検討を行いました。 ・青葉区役所のエレベーター扉に広告を設置しました。 【ネーミングライツ】 ・新規導入に向けた検討を行いました。										
		R3	【広告募集】 ・新規導入に向けた検討を行いました。 ・広告付き母子健康手帳用ビニールカバーの寄贈を受けました。 【ネーミングライツ】 ・新規導入に向けた検討を行いました。										
単年度ごとの効果試算(百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3
	効果試算額							35	1	0	0	10	0
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	新たな媒体への広告掲載（広告付き母子健康手帳用ビニールカバー）を行ったほか、ネーミングライツの新規導入に向けた検討を行ったことで、財源確保の取組みを着実に実施しました。また、現在も新規媒体への広告掲載に向けた検討を進めており、取組み全体としては概ね順調に推移しています。									
今後の進め方(課題への対応)	既存媒体での継続的な収入確保を図るとともに、随時新規案件の検討を行い、広告収入の拡充に努めます。												
備考	※効果試算額は歳入増減額を記載。なお、新型コロナウイルス感染症の影響による休館等に伴うネーミングライツ料の減免・返還額は計算に含まない。												

項目番号	1(1)	No.	8	枝番	2	所管局	財政局	担当課	財政企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続	
実施項目	財源創出に向けた取組みの推進							取組み名	市有地等市有財産の処分と有効活用の推進					
取組内容	公共施設の用途廃止や都市計画道路等の見直しにより公共用途での利用見込みがなくなった土地について、土地開発公社の保有地も含め売却や貸付による収入の確保に努めます。													
目標	令和4年度当初までに、累計24億円の歳入を確保します。													
進捗状況	スケジュール	令和元年度～令和3年度 各年度5千万円の歳入を確保												
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度	売却66件 売却57件 売却42件 売却35件 売却36件 売却44件	※他に土地開発公社所有地1件										
数値目標			説明				H28	H29	H30	R1	R2	R3		
	見込	歳入(単年度)								50百万円	50百万円	308百万円		
	実績	歳入(単年度)					582百万円	1,618百万円	269百万円	111百万円	209百万円	511百万円		
	歳入(累計)					582百万円	2,201百万円	2,470百万円	2,581百万円	2,790百万円	3,301百万円			
単年度ごとの主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	合計66件を売却し、合計582百万円の歳入を確保しました。											
		H29	合計57件を売却し、合計1,618百万円の歳入を確保しました。											
		H30	合計42件を売却し、合計269百万円の歳入を確保しました。											
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	合計35件を売却し、合計111百万円の歳入を確保しました。											
		R2	合計36件を売却し、合計209百万円の歳入を確保しました。											
		R3	合計44件を売却し、合計511百万円の歳入を確保しました。											
単年度ごとの 効果試算 (百万円)						H28	H29	H30	R1	R2	R3			
	効果試算額					582	1,618	269	111	209	511			
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	市有地の売却により、目標を上回る収入を確保しました。										
今後の進め方 (課題への対応)	用途廃止により利用見込みがなくなった土地や、道路残地等について売却等により収入の確保に努めます。													
備考														

項目番号	1(1)	No.	8	枝番	3	所管局	財政局	担当課	財政企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	財源創出に向けた取組みの推進							取組み名	ふるさと納税制度の活用				
取組内容	寄附者に選んでいただける寄附メニュー、魅力ある返礼の充実に加え、寄附者の利便性向上を図ることにより、ふるさと納税制度を活用した歳入アップにつなげます。												
目標	寄附メニューや返礼などを定期的に見直すことにより歳入アップにつなげます。												
進捗状況	スケジュール	歳入アップを図るため、定期的な寄附メニューや返礼の見直しを実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 『仙台ふるさと応援寄附』として寄附募集を開始 平成29年度 寄附メニュー、返礼品の見直し検討 平成30年度 寄附メニュー、返礼品の見直し 令和元年度 寄附メニュー、返礼品の見直し 令和2年度 寄附メニュー、返礼品の見直し 令和3年度 寄附メニュー、返礼品の見直し											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政 改革推進 プラン 2016	H28	平成28年度 『仙台ふるさと応援寄附』として寄附募集を開始し、インターネットからの寄附申込、クレジット決済の導入、返礼品の再開を行いました。										
		H29	より多くの寄附をしてもらえるよう寄附メニュー、返礼品の見直しを行いました。										
		H30	より魅力的な返礼とするため、新たな商品を採用しました。また、更なる寄附獲得のため、寄附メニューを整理し、寄附者に選定されやすいメニューを採用しました。										
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	より魅力的な返礼とするため、新たな商品を採用しました。また、更なる寄附獲得のため、寄附メニューを整理し、寄附者に選定されやすいメニューを採用しました。										
		R2	より魅力的な返礼とするため、新たな商品を採用しました。また、更なる寄附獲得のため、寄附メニューを整理し、寄附者に選定されやすいメニューを採用しました。										
		R3	より魅力的な返礼とするため、新たな商品を採用しました。また、更なる寄附獲得のため、寄附メニューを整理し、寄附者に選定されやすいメニューを採用しました。										
単年度ごとの 効果試算 (百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3
								111	131	62	36	96	230
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	寄附メニューや返礼品について、継続的に見直しを続けることで、令和3年度は大幅な歳入増につなげることができました。									
今後の進め方 (課題への対応)	返礼品協力事業者の募集により魅力ある返礼品の充実を図るとともに寄附メニューの見直しを行い、歳入アップに向けた取り組みに努めます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	8	枝番	4	所管局	経済局	担当課	農林土木課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	完了
実施項目	財源創出に向けた取組みの推進							取組み名	再生可能エネルギーを活用した農業用施設の維持管理費低減				
取組内容	農業用施設等において、引き続き太陽光発電事業等による再生可能エネルギーを活用し、売電収入を農業用施設の維持管理費に充当し、経費削減を図ります。												
目標	平成29年度から順次、再生可能エネルギーの活用事業を3か所進めます。												
進捗状況	スケジュール	平成28年度～施設設置工事(名取地区太陽光) 平成29年度～施設運用開始(名取地区太陽光) 施設設置工事開始(朴沢地区小水力) 平成30年度～施設運用開始(朴沢地区小水力) 施設設置工事開始(仙台東地区太陽光) 令和2年度～施設試験運用開始(仙台東地区太陽光) 令和3年度～施設本運用開始(仙台東地区太陽光)											
	実績・見込 (括弧は見込)	【太陽光発電事業(県営事業)】 平成28年度 用地造成工事、発電設備工事 平成29年度 施設運用開始 【太陽光発電事業(仙台東地区)】 平成30年度 実施設計、用地造成及び発電設備工事 令和元年度 太陽光発電施設の概成 令和2年度 太陽光発電施設の完成 令和3年度 太陽光発電施設の運用開始 【小水力発電事業(朴沢地区)】 平成28年度 現地測量業務、関係機関との協議、事業採択申請、新規地区の可能性検討調査 平成29年度 小水力発電施設設置工事、新規地区の可能性検討調査 平成30年度 小水力発電施設運用開始											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	【太陽光発電事業(県営事業)】 用地造成工事終了後に発電設備工事を進め工事が完了しました。 【小水力発電事業(朴沢地区)】 現地測量業務、関係機関との協議、事業採択申請、新規地区の可能性検討調査を実施しました。										
		H29	【太陽光発電事業(県営事業)】 太陽光発電施設の運用を開始しました。 【小水力発電事業(朴沢地区)】 施設設置工事を実施しましたが、年度内に完了しなかったためH30年度に繰り越し、また、新規地区の可能性検討調査を実施しました。										
		H30	【太陽光発電事業(仙台東地区)】 実施設計を行い、用地造成及び発電設備工事に着手しました。 【小水力発電事業(朴沢地区)】 小水力発電施設の運転を開始しました。また、新規地区の可能性検討調査を実施した結果、効果を見込める場所はありませんでした。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	【太陽光発電事業(仙台東地区)】 太陽光発電施設が概成しました。										
		R2	【太陽光発電事業(仙台東地区)】 太陽光発電施設が完成し、試験運用を開始しました。										
		R3	【太陽光発電事業(仙台東地区)】 太陽光発電施設の運用を開始しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	上記のスケジュール通りに進捗し、完了しました。									
今後の進め方 (課題への対応)													
備考	令和3年度完了												

項目番号	1(1)	No.	9	枝番	-	所管局	経済局 文化観光局	担当課	経済企画課・ 観光課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	経済成長戦略の推進による地域経済活性化							取組み名	—				
取組内容	人口減少社会の到来や経済のグローバル化の進展、インバウンドの増加など本市経済を取り巻く環境の変化に的確に対応し、地域経済を活性化させることで、本市歳入の基幹となる税収の拡大につながるよう、「仙台市経済成長戦略2023」及び「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略」に記載された各般の事業を着実に実施します。												
目標	仙台市経済成長戦略2023に掲げる7つの重点プロジェクト及び仙台市交流人口ビジネス活性化戦略に掲げる6つの重点プロジェクトを実施することで、更なる地域経済活性化を図ります。												
進捗状況	スケジュール	仙台市中小企業活性化会議における議論なども踏まえながら、毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。また、新型コロナウイルス感染症による影響を見極めながら、関係団体等との意見交換も行き、「新しい生活様式」等を踏まえた戦略の見直しについて検討していきます。											
	(括弧は見込)	<p>「仙台市経済成長戦略2023」に基づき、令和2年度より、事業の進捗管理をしています。また、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、令和3年3月に戦略の改訂を行いました。(新たに2つの感染症対策プロジェクトを掲載) 数値目標及び重点プロジェクトの各KPIの進捗状況は以下の通りです。</p> <p>市内黒字企業割合 R1 47.3% 目標値50%超(2023年度まで)</p> <p>感染症対策プロジェクト1 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み: 市内法人企業数 目標値35,000社</p> <p>感染症対策プロジェクト2 経済環境の変化を踏まえた変革の促進: 前向き投資に関する助成金等活用件数 R3 1,326件 目標値 1,500件</p> <p>プロジェクト1 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進: 集中支援対象企業数 R1 19社 R2 6社 R3 9社 目標値50社(2023年度までの累計値)</p> <p>プロジェクト2 ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進: 本市事業により生まれた域内の企業間取引件数 R1 84件 R2 126件 R3 120件 目標値400件 (2023年度までの累計値)</p> <p>プロジェクト3 Society5.0を実現する「X-TECH(クロステック)イノベーション都市・仙台」: プロジェクトを通じた新たな製品・サービスの開発件数 R1 36件 R2 40件 R3 49件 目標値100件 (2023年度までの累計値)</p> <p>プロジェクト4 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」: 開業3年後の事業継続率 R1 87.6% R2 84.5% 目標値70%(2023年度末時点)</p> <p>プロジェクト5 次世代放射光施設立地を最大限に生かす「光イノベーション都市・仙台」: 次世代放射光施設有力分野における先行取組事例創出数 R1 6件 R2 6件 R3 10件 目標値50件 (2023年度までの累計値)</p> <p>プロジェクト6 ダイバーシティ経営による人材確保: 女性の有業率 目標値55%(次回の2022年就業構造基本調査時点)</p> <p>プロジェクト7 仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり: 本市誘致による進出企業数 R1 27件 R2 24件 R3 18件 目標値150件(2023年度までの累計値)</p> <p>「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略」に基づき、「日本一の体験プログラム創出」や「ターゲット重視型マーケティング」など6つの重点プロジェクトを掲げ、事業を推進しています。また、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、令和3年3月に戦略の改訂、令和4年3月に新たな戦略の策定を行いました。</p> <p>令和元年 市内宿泊者数 624万人泊 令和2年 市内宿泊者数 357万人泊 令和3年 市内宿泊者数 363万人泊</p>											
単年度ごとの主な実績	H28												
	H29												
	H30												
	H31(R1)	平成31年3月に策定した「仙台市経済成長戦略2023」に基づき、事業の進捗管理を開始しました。											
仙台市役所経営プラン	R2	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、令和3年3月に「仙台市経済成長戦略2023」及び「仙台市交流人口拡大ビジネス活性化戦略」の改訂を行いました。											
	R3	引き続き、「仙台市経済成長戦略2023」に基づき、事業の進捗管理を行いました。これまでの取り組みや交流人口ビジネスに関する方々との意見交換を踏まえ、令和4年3月に「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」を策定しました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	仙台市経済成長戦略2023及び仙台市交流人口ビジネス活性化戦略において定めた、各般の具体的取り組みについては順調に進捗しています。									
今後の進め方(課題への対応)	人口減少社会の到来や経済のグローバル化の進展等の経済環境の変化及び新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化に的確に対応し、地域経済を持続的に発展させていくために、令和3年3月に改訂した仙台市経済成長戦略2023において定めた、各般の具体的取り組みを着実に実施します。なお、戦略に定めた具体的取り組みについては、仙台市中小企業活性化会議等において、点検・評価等を適宜行います。また、「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」については、3年間の戦略期間を「域内回復⇒国内回復⇒インバウンド回復⇒インバウンド拡大」分類し、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえながら、それぞれのフェーズに向けた効果的な取り組みを行います。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	10	枝番	-	所管局	財政局	担当課	収納管理課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	市有債権の適正管理							取組み名	-				
取組内容	「仙台市債権管理基本方針」及び「仙台市債権管理条例」に基づき、債権管理推進会議等を活用して収入未済額のある債権の進捗管理を行うとともに、各債権所管部署への弁護士対応も含めた相談対応やヒアリングを通じた助言、困難事案の弁護士への徴収委任、各種研修会、条例に基づく債権放棄の精査等を実施します。												
目標	取組内容に記載した事項を着実に実施することにより、各部署が所管する債権の適正管理を図ります。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容に記載した事項について着実に実施していきます。											
	(括弧は実績・見込)	平成28年度	債権管理に係る統一した手続き・基準及び支援体制の整備										
		平成29年度	債権管理に係る支援、研修会等及び各債権の進捗管理の実施										
		平成30年度	債権管理に係る支援、研修会等及び各債権の進捗管理の実施										
		令和元年度	債権管理に係る支援、研修会等及び各債権の進捗管理の実施										
		令和2年度	債権管理に係る支援、研修会等及び各債権の進捗管理の実施										
		令和3年度	債権管理に係る支援、研修会等及び各債権の進捗管理の実施										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	債権管理条例や当該条例施行規則等を制定したほか、各債権所管課の相談・支援を担当する債権管理係を設置しました。また、高度に専門的な知識が必要とされる内容について弁護士へ相談できる体制や各債権の進捗管理を行う枠組みを整備するとともに、債権管理基礎研修等の研修会を開催しました。										
		H29	債権管理基本方針や債権管理条例等に基づき、収入未済額のある債権の進捗管理を行うとともに、各債権所管課への相談対応やヒアリング、困難事案の弁護士への徴収委任等の支援を行いました。また、債権管理に関する各種研修会を開催しました。										
		H30	債権管理基本方針や債権管理条例等に基づき、収入未済額のある債権の進捗管理を行うとともに、各債権所管課への相談対応やヒアリング、困難事案の弁護士への徴収委任等の支援を行いました。また、債権管理に関する各種研修会を開催しました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	債権管理基本方針や債権管理条例等に基づき、収入未済額のある債権の進捗管理を行うとともに、各債権所管課への相談対応やヒアリング、困難事案の弁護士への徴収委任等の支援を行いました。また、債権管理に関する各種研修会を開催しました。										
		R2	債権管理推進会議において収入未済額のある債権の進捗管理を行いました。 【相談等対応件数】相談対応件数：268件 弁護士への相談件数：13件 ヒアリング件数：27件 弁護士への徴収委任件数：1件(3世帯分) 研修：7回開催(うち1回は集合研修を中止し庁内LANに資料掲載)										
	R3	債権管理推進会議において収入未済額のある債権の進捗管理を行いました。 【相談等対応件数】相談対応件数：366件 弁護士への相談件数：12件 ヒアリング件数：10件 弁護士への徴収委任件数：1件 研修：6回開催(事例検討会(2回)を除き、庁内LANに資料掲載)											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	概ねスケジュール通り各種取組を実施することができました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会の一部を除きeラーニング形式での開催としました。									
今後の進め方(課題への対応)	引き続き収入未済額のある債権の進捗管理を行うとともに、債権所管課への相談・支援の取組みを着実に実施します。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインによる研修等を継続し、適切な債権管理のための知識・技術の周知を図ります。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	11	枝番	-	所管局	財政局	担当課	財政課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	施設使用料等の見直し							取組み名	-				
取組内容	各種市民利用施設の使用料等について、物価変動等の状況を勘案しつつ、受益と負担の適正化を図る観点から見直しを行います。												
目標	平成28年10月に、見直しを実施するとともに、その後も受益者負担の把握及び検証を毎年度実施し、概ね4年ごとに見直しの検討を行います。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、物価変動や受益者負担の状況の把握・検証を行います。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度	平成28年10月より、改定後の使用料等を適用 使用料改定後の増収額、利用実績の把握 消費税増税を使用料等に反映するための改定作業を実施 令和元年10月より、改定後の使用料等を適用 使用料改定後の増収額、利用実績の把握 使用料改定後の増収額、利用実績の把握										
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	平成28年10月より、改定後の使用料等を適用しました。引き続き、次回改定に向けた諸課題の整理を行います。										
		H29	使用料改定後の増収額や利用実績の把握を行いました。引き続き、次回改定に向けた諸課題の整理を行います。										
		H30	令和元年10月に消費税率が引き上げられることを踏まえ、同月より増税を反映した新たな使用料等を適用するため、スケジュールを1年前倒しのうえ、使用料の改定に向けた検討を行いました。										
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	令和元年10月より、改定後の使用料等を適用しました。引き続き、次回改定に向けた諸課題の整理を行います。										
		R2	使用料改定後の増収額や利用実績の把握を行いました。引き続き、次回改定に向けた諸課題の整理を行います。										
		R3	使用料改定後の増収額や利用実績の把握を行いました。引き続き、次回改定に向けた諸課題の整理を行います。										
単年度ごとの 効果試算 (百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3
	効果試算額							97	176	156	-	-	-
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	概ね4年ごととしていた見直しの検討を1年前倒して実施し、令和元年10月より増税を反映した新たな使用料等を適用していますが、使用料改定後の増収額や利用実績の把握を行いました。									
今後の進め方 (課題への対応)	次回改定に向けて、施設種類等に応じた使用料設定のあり方等の各般の課題について検討を進めます。												
備考	令和元年度から令和3年度までの実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により効果額の算出不能												

項目番号	1(1)	No.	12	枝番	-	所管局	財政局	担当課	徴収対策課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続		
実施項目	市税の収入確保							取組み名	-						
取組内容	<p>口座振替の加入を促進するなど納税者の利便性向上を図りつつ、将来にわたる安定的な市税収入の確保に努めます。</p> <p>市税全体の収入率向上に大きく貢献する現年度分の徴収対策を重点的に推進し、年度内の完結を図ることによって収入未済額の縮減を図るなど、総括収入率の向上に取り組みます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響による徴収猶予の特例制度の対象者については、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、確実な収入の確保に努めます。</p>														
目標	令和3年度決算における現年度収入率を99.1%以上（平成26年度決算99.0%）、総括収入率（現年度＋滞納繰越分）を98.0%以上（平成26年度決算97.0%）とします。														
進捗状況	スケジュール	令和元年度	現年度99.4%	総括98.5%											
	実績・見込	令和2年度	現年度98.0%	総括97.2%	(徴収猶予の影響を除いた収入率：現年度99.0% 総括98.2%)										
数値目標	見込	平成28年度	現年度99.2%	総括97.9%											
		平成29年度	現年度99.3%	総括98.2%											
	実績	平成30年度	現年度99.3%	総括98.5%											
		令和元年度	現年度99.3%	総括98.5%											
単年度ごとの主な実績	仙台市役所経営プラン	H28	<ul style="list-style-type: none"> ・現年度徴収推進打合会を毎月開催し、税目ごとに現年度収入状況を分析・確認の上、必要な対策を講じました。また、現年度早期対策期間（7～10月）、現年度対策重点期間（3～5月）を設け、集中的な取り組みを行いました。 												
		H29	<ul style="list-style-type: none"> ・税目ごとの現年度収入状況の分析・確認、現年度対策重点期間等における集中的な取り組みを行いました。 ・高額・困難案件を中心とした搜索を実施強化しました。 ・事案検討会や管理監督者による定期的なヒアリングを実施し、進捗管理を行いました。 												
		H30	<ul style="list-style-type: none"> ・税目ごとの現年度収入状況の分析・確認、現年度対策重点期間等における集中的な取り組みを行いました。 ・高額・困難案件を中心とした搜索（市外含む）を実施強化しました。 ・事案検討会や管理監督者による定期的なヒアリングを実施し、進捗管理を行いました。 												
		H31(R1)	<ul style="list-style-type: none"> ・税目ごとの現年度収入状況の分析・確認、現年度対策重点期間等における集中的な取り組みを行いました。 ・高額・困難案件を中心とした搜索を実施強化しました。 ・事案検討会や管理監督者による定期的なヒアリングを実施し、進捗管理を行いました。 												
		R2	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で納付困難となった納税者に対して積極的に徴収猶予の特例を適用する等、感染症の影響を見極めながら確実な収入に努めました。 ・税目ごとの現年度収入状況の分析・確認、現年度対策重点期間等における集中的な取り組みを行いました。 ・事案検討会や管理監督者による定期的なヒアリングを実施し、進捗管理を行いました。 												
		R3	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で適用した徴収猶予の特例の対象者に対して、猶予期間終了を案内し、年度内収納となるように努めました。 ・税目ごとの現年度収入状況の分析・確認、現年度対策重点期間等における集中的な取り組み、事案の早期着手を実施しました。 ・事案検討会や管理監督者による定期的なヒアリングを実施し、進捗管理を行いました。 ・効率的な財産調査のため、預貯金の電子照会システムを導入しました。 												
		単年度ごとの効果試算(百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3
		目標達成状況	◎		目標達成状況の説明(根拠等)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により猶予を適用した納税者全員に対して期間満了前に納付勧奨を実施し、納税又は相談となるよう取り組みました。7月には滞納繰越分、1月には現年度分も併せて事案検討会を実施し、進捗管理を図りました。催告の一部見直しを行い、早期の現年度対策に着手しました。</p>									
		今後の進め方(課題への対応)	<p>令和3年度取組みの結果、新型コロナウイルス感染症により徴収猶予を適用した納税義務者の未納額は大幅に減少しました。引き続き感染症の影響を受けた方に適切に対処しながら、現年度分の収入確保のため、対策期間の集中的な取組みや早期着手に努めます。</p> <p>事案検討会、ヒアリング及び搜索の実施を通して事案の進捗管理を徹底し、高額・困難案件の収入未済額の圧縮を進めます。</p>												
		備考	※効果試算額は平成26年度からの収納率の増減を基に試算した歳入増減額を記載												

項目番号	1(1)	No.	13	枝番	-	所管局	健康福祉局	担当課	収納対策室	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続																	
実施項目	国民健康保険料の収入確保							取組み名	-																					
取組内容	組織横断的な取組みにより滞納整理に関するノウハウの共有を図るなど、より効果的・効率的な徴収対策に努め、収納率の向上に取り組めます。																													
目標	令和3年度決算における現年分収入率を94.4%以上（平成26年度決算89.8%）、総括収入率（現年分+滞納繰越分）を89.8%以上（平成26年度決算77.6%）とします。																													
進捗状況	スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>現年度94.1%</td> <td>総括89.0%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>現年度94.3%</td> <td>総括89.5%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>現年度94.4%</td> <td>総括89.8%</td> </tr> </table>												令和元年度	現年度94.1%	総括89.0%	令和2年度	現年度94.3%	総括89.5%	令和3年度	現年度94.4%	総括89.8%								
	令和元年度	現年度94.1%	総括89.0%																											
令和2年度	現年度94.3%	総括89.5%																												
令和3年度	現年度94.4%	総括89.8%																												
実績・見込	<table border="1"> <tr> <td>平成28年度</td> <td>現年度91.9%</td> <td>総括81.9%</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>現年度93.2%</td> <td>総括84.6%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>現年度94.2%</td> <td>総括87.8%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>現年度94.4%</td> <td>総括89.4%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>現年度96.0%</td> <td>総括91.8%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>現年度96.3%</td> <td>総括93.0%</td> </tr> </table>												平成28年度	現年度91.9%	総括81.9%	平成29年度	現年度93.2%	総括84.6%	平成30年度	現年度94.2%	総括87.8%	令和元年度	現年度94.4%	総括89.4%	令和2年度	現年度96.0%	総括91.8%	令和3年度	現年度96.3%	総括93.0%
平成28年度	現年度91.9%	総括81.9%																												
平成29年度	現年度93.2%	総括84.6%																												
平成30年度	現年度94.2%	総括87.8%																												
令和元年度	現年度94.4%	総括89.4%																												
令和2年度	現年度96.0%	総括91.8%																												
令和3年度	現年度96.3%	総括93.0%																												
数値目標	説明								H28	H29	H30	R1	R2	R3																
	見込	現年度収入率							90.9%	91.1%	91.3%	94.1%	94.3%	94.4%																
		総括収入率							80.7%	80.9%	81.1%	89.0%	89.5%	89.8%																
	実績	現年度収入率							91.9%	93.2%	94.2%	94.4%	96.0%	96.3%																
総括収入率							81.9%	84.6%	87.8%	89.4%	91.8%	93.0%																		
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	組織横断的な取り組みにより滞納整理に関するノウハウの共有を図り、ペイジー口座振替受付サービスの勧奨による滞納の未然防止、初期滞納世帯対策、コンビニ収納を活用した適正な分納管理、滞納処分の強化等により積極的に収納率向上に取り組めました。																											
		H29	28年度に引き続き、ペイジー口座振替受付サービスの勧奨による滞納の未然防止、初期滞納世帯対策、コンビニ収納を活用した適正な分納管理、滞納処分の強化等により積極的に収納率向上に取り組めました。																											
		H30	ペイジー口座振替サービスによる口座振替の勧奨を徹底し、滞納の未然防止と納期内納付の推進、コンビニ収納を活用した分納管理、ICTを活用した財産調査による速やかな滞納処分の執行等、新たな仕組みを導入するなど収納率向上に取り組めました。																											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	ペイジー口座振替受付サービスによる口座振替の勧奨を徹底し、滞納の未然防止と納期内納付の推進、コンビニ収納を活用した適正な分割納付、SMSを活用した口座振替不能者や分納不履行者に対する早期催告の実施、65歳以上の滞納者を対象とした訪問催告業務の民間委託等により積極的に収納率向上に取り組めました。																											
		R2	来庁時等の機会を捉えて、徹底した口座振替勧奨を行った結果、普通徴収における口座振替率が前年度比2ポイント上げることができました。また、45歳以下の滞納者に対しては、分割納付約束の際に積極的にコンビニ納付書の活用を推進しました。																											
		R3	口座振替加入率向上による滞納の未然防止と納期内納付を推進したほか、滞納額が10万円以上の滞納者に対して地区毎に担当者を配置し、滞納整理の進捗管理を徹底しました。																											
		単年度ごとの効果試算(百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3															
目標達成状況	◎		目標達成状況の説明(根拠等)	令和3年度は現年度96.3%、総括収入率93.0%と目標値を大幅に上回る収入率を達成することができました。																										
今後の進め方(課題への対応)	更なる収納率向上のため、徴収の専門的知識を持った人材の育成を行うとともに、ICT技術を積極的に導入し、より一層の効率的な徴収体制を構築します。																													
備考	※効果試算額は平成26年度からの収納率の増減を基に試算した歳入増減額を記載																													

項目番号	1(1)	No.	14	枝番	-	所管局	健康福祉局	担当課	収納対策室	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続																
実施項目	介護保険料の収入確保							取組み名	-																				
取組内容	組織横断的な取組みにより滞納整理に関するノウハウの共有を図るなど、収納率の向上に取り組めます。 また、徴収体制の強化に向け、債権回収の集約化などについて検討します。																												
目標	令和3年度決算における現年度分収納率を99.3%以上（平成26年度決算98.5%）、総括収納率（現年分+繰越滞納分）を98.4%以上（平成26年度決算96.4%）とします。																												
進捗状況	スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>現年度99.2%</td> <td>総括98.2%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>現年度99.3%</td> <td>総括98.3%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>現年度99.3%</td> <td>総括98.4%</td> </tr> </table>											令和元年度	現年度99.2%	総括98.2%	令和2年度	現年度99.3%	総括98.3%	令和3年度	現年度99.3%	総括98.4%								
	令和元年度	現年度99.2%	総括98.2%																										
令和2年度	現年度99.3%	総括98.3%																											
令和3年度	現年度99.3%	総括98.4%																											
実績・見込	<table border="1"> <tr> <td>平成28年度</td> <td>現年度98.9%</td> <td>総括97.2%</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>現年度99.1%</td> <td>総括97.6%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>現年度99.3%</td> <td>総括98.2%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>現年度99.3%</td> <td>総括98.5%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>現年度99.5%</td> <td>総括98.9%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>現年度99.6%</td> <td>総括99.1%</td> </tr> </table>											平成28年度	現年度98.9%	総括97.2%	平成29年度	現年度99.1%	総括97.6%	平成30年度	現年度99.3%	総括98.2%	令和元年度	現年度99.3%	総括98.5%	令和2年度	現年度99.5%	総括98.9%	令和3年度	現年度99.6%	総括99.1%
平成28年度	現年度98.9%	総括97.2%																											
平成29年度	現年度99.1%	総括97.6%																											
平成30年度	現年度99.3%	総括98.2%																											
令和元年度	現年度99.3%	総括98.5%																											
令和2年度	現年度99.5%	総括98.9%																											
令和3年度	現年度99.6%	総括99.1%																											
数値目標	説明								H28	H29	H30	R1	R2	R3															
	見込	現年度収入率						98.7%	98.8%	98.8%	99.2%	99.3%	99.3%																
		総括収入率						96.7%	96.8%	96.8%	98.2%	98.3%	98.4%																
	実績	現年度収入率						98.9%	99.1%	99.3%	99.3%	99.5%	99.6%																
総括収入率						97.2%	97.6%	98.2%	98.5%	98.9%	99.1%																		
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	従前の取組みに加えて、徴収に困難を伴う案件の本庁集約化や、催告センターを活用した電話催告の実施などの新たな取組みを行いました。																										
		H29	徴収に困難を伴う案件及び介護保険料所得段階第7段階以上かつ滞納期別数3期以上の滞納者の本庁集約化や預貯金の差押えを38件行ったほか、引き続き、催告センターを活用した文書及び電話催告などに取組みました。																										
		H30	平成29年度に引き続き、催告センターを活用した文書及び電話催告の実施や預貯金の差押えを118件行ったほか、新たな取り組みとして介護保険料徴収嘱託徴収員の1名増員や、コンビニ収納の導入を行いました。																										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	昨年度に引き続き催告センターを活用した文書及び電話催告の実施や、預貯金の差押を164件行ったほか、新たな取り組みとして令和元年7月から訪問催告業務の民間委託を行いました。																										
		R2	催告センターを活用し、滞納者の約6割に訪問催告を実施したほか、電話催告により滞納者と折衝の機会を増やした結果、滞納者数を前年の22.6%縮減することができました。																										
		R3	口座振替加入率向上による滞納の未然防止と納期内納付を推進したほか、滞納額が10万円以上の滞納者に対して地区毎に担当者を配置し、滞納整理の進捗管理を徹底しました。																										
単年度ごとの効果試算(百万円)	効果試算額								H28	H29	H30	R1	R2	R3															
								126	194	320	370	435	484																
目標達成状況	◎		目標達成状況の説明(根拠等)	令和3年度は現年度99.6%、総括収入率99.1%と目標を達成することができました。																									
今後の進め方(課題への対応)	国民健康保険料、後期高齢者医療保険料との重複事案に重点を置いて、訪問催告を継続的に実施し、納付相談だけではなく制度の周知に努めることで、滞納者の納付意欲を高めます。																												
備考	※効果試算額は平成26年度からの収納率の増減を基に試算した歳入増減額を記載																												

項目番号	1(1)	No.	15	枝番	-	所管局	子供未来局	担当課	認定給付課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続																	
実施項目	保育料の収入確保							取組み名	-																					
取組内容	<p>現年度分について、口座振替の加入促進及び各種文書催告・電話催告等の実施のほか、効果的な徴収方法の検討により収納対策の強化を図ります。</p> <p>あわせて、過年度分の未完結事案の早期完結に向け、財産調査や差押処分、執行停止等の滞納処分を積極的に実施するなど、総括収納率の向上に取り組めます。</p>																													
目標	<p>令和3年度決算における現年度分収納率を99.2%以上（平成26年度決算99.0%）、総括収納率（現年分+滞納繰越分）を96.4%以上（平成26年度決算94.8%）とします。</p>																													
進捗状況	スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>現年度99.1%</td> <td>総括95.9%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>現年度99.2%</td> <td>総括95.9%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>現年度99.2%</td> <td>総括96.4%</td> </tr> </table>												令和元年度	現年度99.1%	総括95.9%	令和2年度	現年度99.2%	総括95.9%	令和3年度	現年度99.2%	総括96.4%								
	令和元年度	現年度99.1%	総括95.9%																											
令和2年度	現年度99.2%	総括95.9%																												
令和3年度	現年度99.2%	総括96.4%																												
実績・見込	<table border="1"> <tr> <td>平成28年度</td> <td>現年度99.1%</td> <td>総括95.7%</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>現年度98.9%</td> <td>総括96.0%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>現年度99.0%</td> <td>総括96.3%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>現年度99.1%</td> <td>総括95.5%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>現年度99.6%</td> <td>総括94.9%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>現年度99.6%</td> <td>総括96.4%</td> </tr> </table>												平成28年度	現年度99.1%	総括95.7%	平成29年度	現年度98.9%	総括96.0%	平成30年度	現年度99.0%	総括96.3%	令和元年度	現年度99.1%	総括95.5%	令和2年度	現年度99.6%	総括94.9%	令和3年度	現年度99.6%	総括96.4%
平成28年度	現年度99.1%	総括95.7%																												
平成29年度	現年度98.9%	総括96.0%																												
平成30年度	現年度99.0%	総括96.3%																												
令和元年度	現年度99.1%	総括95.5%																												
令和2年度	現年度99.6%	総括94.9%																												
令和3年度	現年度99.6%	総括96.4%																												
数値目標	説明		H28	H29	H30	R1	R2	R3																						
	見込	現年度収納率	99.0%	99.0%	99.0%	99.1%	99.2%	99.2%																						
		総括収納率	95.5%	95.7%	95.8%	95.9%	95.9%	96.4%																						
	実績	現年度収納率	99.1%	98.9%	99.0%	99.1%	99.6%	99.6%																						
総括収納率		95.7%	96.0%	96.3%	95.5%	94.9%	96.4%																							
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	<p>現年度分について、区役所における期別催告や口座振替の加入推奨、保育所長による催告等を実施しました。</p> <p>また、保険年金課徴収対策室が運用しているコールセンターを利用した電話催告について、28年度より回数を年2回に増やして催告を実施しました。</p>																											
		H29	<p>現年度分について、区役所における期別催告や口座振替の加入推奨、保育所長による催告等を実施しました。</p> <p>また、保険年金課徴収対策室が運用している催告センターを利用した電話催告を年2回実施し、過年度分の滞納者への催告を拡充して行いました。</p>																											
		H30	<p>現年度分について、区役所における期別催告や保育所長による催告を継続して実施したほか、口座振替加入案内のチラシの配布回数を増やす等、口座振替の加入促進を実施しました。</p> <p>また、保険年金課徴収対策室が運用している催告センターを利用した電話催告をこれまで同様年2回実施し、現年度・過年度分の滞納者への催告を行いました。</p>																											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	<p>現年度分について、区役所における期別催告や保育所長による催告、口座振替の加入促進を継続して実施しました。</p> <p>また、保険年金課徴収対策室が運用している催告センターを利用した電話催告をこれまで同様実施しつつ、現年度分の早期滞納処分に向けて財産調査及び催告を強化して実施しました。</p>																											
		R2	<p>現年度分について、区役所における期別催告や保育所長による催告、口座振替の加入促進を継続して実施するとともに、区役所と本庁が緊密に連携し、現年度分の早期滞納処分に向けて財産調査及び催告を強化して実施しました。</p> <p>また、保険年金課徴収対策室が運用している催告センターを利用した電話催告をこれまで同様実施しつつ、現年度分の早期滞納処分に向けて財産調査及び催告を強化して実施しました。</p>																											
		R3	<p>現年度分について、区役所における口座振替の加入促進を継続して実施するとともに、認定給付課における期別催告や健康福祉局収納対策室が運用している催告センターを利用した電話催告等を実施しました。</p> <p>区役所と認定給付課、認定給付課と収納対策室（認定給付課兼務発令）が連携し、財産調査及び催告を強化して実施し、現年度分の早期滞納処分並びに滞納繰越分の徴収・処分を実施しました。</p> <p>併せてR3.10月より電子決済・コンビニ納付が可能な納付書を発行し、滞納分の納付方法の選択肢を増やしました。</p>																											
単年度ごとの効果試算（百万円）	効果試算額		H28	H29	H30	R1	R2	R3																						
			36	51	73	24	2	36																						
目標達成状況	◎		目標達成状況の説明（根拠等）	<p>幼児教育・保育の無償化の影響や保育所から認定こども園への移行増加等、目標設定時には想定し得ない要因により、総括収納率は目標達成に至らなかったものの、現年度収納率については、収納対策の強化により目標を達成することができました。</p>																										
今後の進め方（課題への対応）	<p>保育料の徴収業務について、現年度分は各区・宮城総合支所から認定給付課に、滞納繰越分は認定給付課から健康福祉局収納対策室へ集約。収納対策室（認定給付課兼務発令）と連携し適切な対応を進め、収納率向上に繋げていきます。また、WEB上で口座振替申込が可能となるサービスを新たに導入することにより、口座振替加入促進を継続して行っていきます。</p>																													
備考	※効果試算額は平成26年度からの収納率（還付未済額未反映）の増減を基に試算した歳入増減額を記載																													

項目番号	1(1)	No.	16	枝番	-	所管局	都市整備局	担当課	市営住宅管理課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続																	
実施項目	市営住宅使用料の収入確保							取組み名	-																					
取組内容	<p>初期滞納者に対する分納等の収納指導や長期滞納者に対する法的措置など、収納率の向上に取り組みます。</p> <p>外部委託等効率的な方策を検討した上で、収納率の低い退去滞納者を中心に対策の強化を図ります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響に対応するため、「家賃減免」や「収入再認定」制度の運用及び住居確保給付金の申請勧奨を行いながら収入確保に努めます。</p>																													
目標	令和3年度決算における現年分収入率を98.2%以上（平成26年度決算98.5%）、総括収入率（現年度分＋滞納繰越分）を91.0%以上（平成26年度決算89.9%）とします。																													
進捗状況	スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>現年度99.0%</td> <td>総括90.3%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>現年度98.2%</td> <td>総括90.7%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>現年度98.2%</td> <td>総括91.0%</td> </tr> </table>												令和元年度	現年度99.0%	総括90.3%	令和2年度	現年度98.2%	総括90.7%	令和3年度	現年度98.2%	総括91.0%								
	令和元年度	現年度99.0%	総括90.3%																											
令和2年度	現年度98.2%	総括90.7%																												
令和3年度	現年度98.2%	総括91.0%																												
実績・見込	<table border="1"> <tr> <td>平成28年度</td> <td>現年度98.0%</td> <td>総括91.2%</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>現年度98.2%</td> <td>総括90.7%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>現年度98.2%</td> <td>総括91.2%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>現年度98.2%</td> <td>総括90.7%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>現年度98.6%</td> <td>総括91.1%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>現年度98.4%</td> <td>総括91.5%</td> </tr> </table>												平成28年度	現年度98.0%	総括91.2%	平成29年度	現年度98.2%	総括90.7%	平成30年度	現年度98.2%	総括91.2%	令和元年度	現年度98.2%	総括90.7%	令和2年度	現年度98.6%	総括91.1%	令和3年度	現年度98.4%	総括91.5%
平成28年度	現年度98.0%	総括91.2%																												
平成29年度	現年度98.2%	総括90.7%																												
平成30年度	現年度98.2%	総括91.2%																												
令和元年度	現年度98.2%	総括90.7%																												
令和2年度	現年度98.6%	総括91.1%																												
令和3年度	現年度98.4%	総括91.5%																												
数値目標	説明																													
	見込	現年度収入率		H28	H29	H30	R1	R2	R3																					
		総括収入率		98.7%	98.8%	98.9%	99.0%	98.2%	98.2%	98.2%																				
	実績	現年度収入率		90.0%	90.0%	90.1%	90.3%	91.0%	91.0%																					
総括収入率		98.0%	98.2%	98.2%	98.2%	98.6%	98.4%																							
単年度ごとの主な実績	仙台市役所経営プラン	H28	収納率向上に向け、明渡訴訟提起を9件、強制執行申立を4件実施しました。																											
		H29	収納率向上に向け、明渡訴訟提起を16件、強制執行申立を4件実施しました。また、退去滞納者への収納委託を弁護士に13件委託し、300千円の収納がありました。																											
		H30	収納率向上に向け、明渡訴訟提起を24件、明渡強制執行申立を12件、債権差押執行申立を2件実施しました。また、退去滞納者への収納委託を弁護士に156件委託し、約7,000千円の収納がありました。																											
		H31(R1)	収納率向上に向け、明渡訴訟提起を35件、明渡強制執行申立を10件実施しました。また、退去滞納者への収納委託を弁護士に131件委託し、約8,000千円の収納がありました。																											
		R2	収納率向上に向け、明渡訴訟提起を12件、即決和解申立1件、明渡強制執行申立を12件実施しました。また、退去滞納者への収納委託を弁護士に180件委託し、約5,056千円の収納がありました。																											
		R3	収納率向上に向け、明渡訴訟提起を12件、即決和解申立4件、明渡強制執行申立を8件（うち明渡6件、差押2件）実施しました。また、退去滞納者への収納委託を弁護士に143件委託し、約5,080千円の収納がありました。																											
単年度ごとの効果試算（百万円）	効果試算額			H28	H29	H30	R1	R2	R3																					
	効果試算額			40	22	36	6	37	48																					
目標達成状況	◎	目標達成状況の説明（根拠等）	<ul style="list-style-type: none"> 家賃の納入困難な入居者については、世帯の経済状況に応じて減免や収入再認定などの手続きを案内し、確実な使用料収入の確保に努めました。 滞納者に対しては指定管理者による早期の訪問・連帯保証人への連絡により収納を促しました。 居所不明等の理由で回収見込みのない滞納者に関しては債権放棄を行いました。 長期、高額滞納者に対して、新たに給与差押の強制執行を実施しました。 																											
今後の進め方（課題への対応）	<p>翌年度への滞納繰越を増やさぬよう、現年度滞納者への納入を強く促します。特に、入居2年以内の滞納者に対しては指定管理者による早期の訪問・保証人への連絡等を行い、現年度滞納分が累積している者に対しては早期の特別催告・明渡請求を実施し、滞納繰越分を増やさぬよう取り組みます。また、滞納者の資力や状況に応じた適切な法的措置（即決和解・明渡訴訟・明渡強制執行・給与差押等）を実施します。</p> <p>また、納入手段の拡充を図るため、令和5年度からコンビニ収納の実施を目指します。</p> <p>さらに、令和3年10月に指定管理者より策定した「市営住宅等収納率向上のための基本方針」により、収納率向上を図ります。</p>																													
備考	※効果試算額は平成26年度からの収納率の増減を基に試算した歳入増減額を記載																													

項目番号	1(1)	No.	17	枝番	-	所管局	総務局	担当課	人事課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続	
実施項目	定員管理計画に基づく定員の適正管理							取組み名	-					
取組内容	将来にわたって行政サービスを確実に提供し、新たな行政需要に対しても的確に対応していくため、定員管理計画に基づき、業務量に応じた必要な人員を確保するとともに、業務効率化や既存体制の見直し等により定員の抑制を図ります。													
目標	令和4年度当初における職員数を、平成31年度当初の職員数と同水準とします。（ただし、人員配置に対する財源措置がある場合等、人件費負担を伴わない増員数を除く。）													
進捗状況	スケジュール	令和元年度（当初 職員数 14,465人） 令和2年度（当初 前年比 9人増） 令和3年度（当初 " 27人減） 令和4年度（当初 " 18人増（職員数 14,465人））												
	実績・見込 （括弧は見込）	令和元年度（令和2年4月1日時点） 前年比13人減（新型コロナ対応に係る増員+2人） 令和2年度（令和3年4月1日時点） 前年比36人増（新型コロナ対応に係る増員+88人） 令和3年度（令和4年4月1日時点） 前年比60人増（新型コロナ対応に係る増員+37人） （職員数14,548人） （職員数14,421人 ※新型コロナ対応にかかるに係る増員+127人を除く場合）												
単年度ごとの 主な実績	仙台市役所 経営プラン 2016	H28												
		H29												
		H30												
	H31 (R1)	令和2年度当初は、子育て支援強化や児童相談所の体制強化、生活保護世帯数増への対応等により、必要な増員を行う一方、保育所の民営化や給食調理業務の委託化等による減員を着実にを行うことで、定員の抑制を図りました。												
R2	令和3年度当初は、保育所の民営化等による減員を着実にを行う一方で、計画時点では見込んでいなかった新型コロナウイルス感染症対策及びワクチン接種等にかかる必要な増員（+88人）を行うことにより、計画目標を下回る実績となりました。													
R3	令和4年度当初は、新型コロナウイルス感染症への対応による増員（+37人）を行いながら、全国都市緑化仙台フェアに向けた対応や児童相談所の体制強化等のため、必要な増員を行いました。組織統廃合や業務の見直しによる減員を着実に実施したものの、計画目標を下回る実績となりました。													
単年度ごとの 効果試算 (百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3	
										74	△ 211	△ 329		
目標達成 状況	△		目標達成状況 の説明 (根拠等)		目標を下回る結果となりましたが、業務量に応じた必要な人員を確保するとともに、業務効率化や既存体制の見直し等により定員の抑制を図ることで、計画策定時に見込んでいなかった新型コロナウイルス感染症対策及びワクチン接種等に係る必要な増員（期間内の合計+127人）を除けば、計画目標を上回る結果（令和4年度当初14,421人）となっています。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和4年3月に定員管理計画を改定し、計画期間及び目標値を見直しました。新型コロナウイルスへの対応など、想定外の行政需要への適正な人員体制の確保に努める一方で、業務執行体制の効率化・スリム化を行い、令和5年度から予定されている定年延長制度も踏まえながら、引き続き適正な定員管理に努めます。													
備考														

項目番号	1(1)	No.	18	枝番	1	所管局	総務局 議会事務局	担当課	秘書課 庶務課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	技能職員が担う業務の運営体制の見直し							取組み名	公用車運転業務の整理				
取組内容	特別職等の移動用公用車両に係る運転業務について、嘱託化等の検討を進めます。												
目 標	計画期間中により効率的な運営体制及び将来のあり方を検討します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 会計年度任用職員化等にかかる課題抽出を行いました。 令和2年度 会計年度任用職員化等にかかる課題解決に向けた情報収集を行いました。 令和3年度 会計年度任用職員化等に向けた検討等を進めました。											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	会計年度任用職員化等にかかる課題抽出を行いました。										
		R2	会計年度任用職員化等にかかる課題解決に向けた情報収集を行いました。										
		R3	会計年度任用職員化等に向けた検討等を進めました。										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	職員配置等の状況を踏まえ、適切な時期に対応を実施できるよう必要な情報収集及び共有等、会計年度任用職員化等に向けた検討を進めました。									
今後の進め方 (課題への対応)	職員配置等の状況を踏まえ、二役公用車等の運転業務の会計年度任用職員化等を含めた運営体制について適切な時期に対応を実施できるよう検討を進めていきます。												
備 考													

項目番号	1(1)	No.	18	枝番	2	所管局	子供未来局	担当課	運営支援課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続	
実施項目	技能職員が担う業務の運営体制の見直し							取組み名	保育所における調理・清掃等業務の見直し					
取組内容	保育所における調理・清掃業務等について、委託化・会計年度任用職員化を含めた運営体制のあり方の検討を進めます。													
目 標	計画期間中により効率的な運営体制及び将来のあり方を検討します。													
進捗状況	スケジュール	令和3年度 清掃業務の外部委託試行・精査 調理業務の委託可能性の精査 会計年度任用職員の勤務条件等調査・検討												
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 平成29・30年度 令和元年度	関係部署等との協議を行い、課題等について検討 引き続き関係部署等との協議を行い、課題等について検討 公立保育所主幹所長会内にワーキンググループを立ち上げ、課題等について検討											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	他都市における保育所調理体制の調査を実施しました。 また、関係部署等との協議を行い、課題等について検討しました。											
		H29	引き続き関係部署等との協議を行いました。											
		H30	引き続き関係部署等との協議を行い、令和2年度からの会計年度任用職員制度の開始も踏まえ、課題等について検討しました。											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	引き続き関係部署等との協議を行うとともに、公立保育所の主幹所長会においてワーキンググループを立ち上げ、調理・清掃業務の委託を実施している民間園の視察や、課題等の整理を行いました。											
		R2	引き続き関係部署等との協議を行うとともに、下半期は公立保育所2か所において清掃業務委託の試行を行い、その効果や課題について主幹所長会ワーキンググループにて検証しました。											
		R3	公立保育所5か所に清掃業務委託の試行を拡大するとともに、調理業務に係る今後の方向性について主幹所長会ワーキンググループにて検討を行いました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	公立保育所5か所への清掃業務委託の試行拡大、委託条件の精査等を行いながら、調理業務について委託化・会計年度任用職員化の課題整理を進め、今後の対応の方向性について検討を行いました。										
今後の進め方 (課題への対応)	当初目標の達成に向け、令和4年度は清掃業務の委託試行拡大を進めていくとともに、調理業務を含めた今後の対応の方向性を決定します。													
備 考														

項目番号	1(1)	No.	18	枝番	3	所管局	環境局	担当課	施設課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	完了
実施項目	技能職員が担う業務の運営体制の見直し							取組み名	清掃工場における搬入受付の見直し				
取組内容	清掃工場における搬入受付の業務について、委託化等の検討を進めます。												
目 標	計画期間中により効率的な運営体制及び将来のあり方を検討します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 処理手数料徴収等業務の委託化を決定 令和2年度 処理手数料徴収等業務の委託を開始											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	今泉工場、葛岡工場、松森工場について、令和2年度から処理手数料徴収等業務を委託することに決定しました。										
		R2	今泉工場、葛岡工場、松森工場について、令和2年4月から二度計量方式による搬入受付の開始に併せて処理手数料徴収等業務の委託を開始しました。										
R3													
単年度ごとの効果試算 (百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3
												22	22
目標達成状況			目標達成状況の説明 (根拠等)										
今後の進め方 (課題への対応)													
備 考	令和2年度完了												

項目番号	1(1)	No.	18	枝番	4	所管局	建設局	担当課	経営企画課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	技能職員が担う業務の運営体制の見直し							取組み名	下水道管路の維持管理業務の見直し				
取組内容	下水道管理センターの維持修繕や苦情要望対応等の業務について、委託化等の検討を進めます。												
目標	計画期間中により効率的な運営体制及び将来のあり方を検討します。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 包括的業務委託の導入（若林区）											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度	委託対象業務、委託方法等の検討										
		令和2年度	具体的な委託範囲、委託時期、委託内容の検討										
		令和3年度	包括的業務委託の導入（若林区）										
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	委託対象業務、委託方法等について検討を行いました。										
		R2	これまで技能職員が担っていた下水道管路施設の維持管理体制を継続するため、具体的な委託範囲、時期及び内容等について検討を行い、令和3年10月より若林区において、技能職員が対応してきた維持修繕や苦情要望対応等の業務を包括的に委託することとしました。										
		R3	令和3年10月より若林区において、維持修繕や苦情要望対応等の包括的業務委託を開始しました。										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	検討を経て、令和3年10月から若林区において、包括的業務委託を開始しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	包括的業務委託を導入した若林区の効果等を踏まえ、他区への導入に向けた検討を進めてまいります。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	18	枝番	5	所管局	建設局	担当課	総務課・ 道路保全課 ・公園管理課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	技能職員が担う業務の運営体制の見直し							取組み名	区道路課・公園課のパトロール等業務の見直し				
取組内容	区道路課・公園課のパトロール、苦情要望対応、維持修繕等の業務について、委託化等の検討を進めます。												
目標	計画期間中により効率的な運営体制及び将来のあり方を検討します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度	委託対象業務、委託方法等の検討										
		令和2年度	委託の範囲及び運営体制等の検討										
		令和3年度	委託の範囲及び運営体制等の検討										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	委託対象業務、委託方法等について庁内検討を行いました。										
		R2	技能職員が担っている業務内容等を整理し、委託対象範囲や運営体制等について、引き続き検討を行いました。										
		R3	技能職員が担っている業務内容等を整理し、委託対象範囲や運営体制等について、引き続き検討を行いました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	委託の範囲及び運営体制等について、引き続き検討を行いました。									
今後の進め方 (課題への対応)	減少が見込まれている技能職員が担う業務について、サービス水準の維持・向上を図るための効率的な運営体制のあり方の検討を進めます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	18	枝番	6	所管局	教育局	担当課	健康教育課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	完了	
実施項目	技能職員が担う業務の運営体制の見直し							取組み名	学校給食センター調理業務の委託					
取組内容	荒巻学校給食センターについて、民間委託の検討を進めます。													
目 標	令和2年度から調理業務を委託します。													
進捗状況	スケジュール	令和元年度 委託事業者の選定 令和2年度 調理業務委託開始												
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 調理業務委託等の確認・検証作業の実施 平成29年度 調理業務委託化に関する労働組合との協議に着手 平成30年度 調理業務委託化に関して労働組合と合意 令和元年度 公募型プロポーザル方式により事業者を選定し契約を締結 令和2年度 調理業務委託を開始												
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	先行する太白学校給食センターの調理業務委託のほか、PFI手法による運営を実施している3つの給食センターについてのサービス水準の検証・確認作業を行いました。											
		H29	委託化した場合、安全・安心な給食提供を確保するために必要な事項等について、改めて検証しました。											
		H30	令和2年度からの委託に向け、委託した場合の費用の積算を行いました。											
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	公募型プロポーザル方式により事業者を選定し、令和2年度から5年間の業務委託契約を締結しました。											
		R2	調理業務委託を開始しました。											
R3														
単年度ごとの 効果試算 (百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3	
										21	21	21		
目標達成 状況			目標達成状況 の説明 (根拠等)											
今後の進め方 (課題への対応)														
備 考	令和2年度完了													

項目番号	1(1)	No.	18	枝番	7	所管局	教育局	担当課	健康教育課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続	
実施項目	技能職員が担う業務の運営体制の見直し							取組み名	給食施設の効率的な運用					
取組内容	給食施設の全体的なあり方を整理し、単独調理校の効率的な運営等について検討します。													
目 標	計画期間中に給食施設全体における効率的な運営体制及び将来のあり方を検討します。													
進 捗 状 況	スケジュール	令和3年度 給食施設の方向性を検討												
	(括弧は見込 実績・見込)	平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度	民間委託の導入可能性の検証 民間委託の導入可能性の検証 民間委託の導入可能性の検証 民間委託の導入可能性の検証 民間委託の導入可能性の検証 給食施設の方向性を検討											
単 年 度 ご と の 主 な 実 績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28	先行都市への視察又は照会等による調査を行い、労働法制上の課題や委託内容等の検証作業を行いました。											
		H29	前年度に引き続き、他都市での委託状況の調査を行い、具体的な業務指示の内容や履行確認体制、効果額等の検証作業を行いました。											
		H30	他都市における委託状況の調査を行ったほか、民間事業者数社に対し受託可能性等をヒアリングするなど、民間委託に向けた必要な情報を収集しました。											
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	他都市における民間委託の状況について、事業者との契約方法や委託する学校の選定基準等、委託化の検討を進めるにあたり必要な情報を収集しました。											
		R2	他都市における民間委託の状況を把握するとともに、単独調理校の調理体制のあり方等に関する検討を行いました。											
		R3	給食施設全体のあり方について、課題や進め方等に関する検討を行いました。											
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	給食施設全体のあり方について、課題や進め方等を概ね整理することができました。										
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き課題を整理しながら給食施設全体における効率的な運営体制及び将来のあり方の検討を進めていきます。													
備 考														

項目番号	1(1)	No.	18	枝番	8	所管局	教育局	担当課	人事課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	技能職員が担う業務の運営体制の見直し							取組み名	学校用務業務の見直し				
取組内容	学校用務業務について、技能職の採用停止に伴うこれまでの嘱託化の取り組みを踏まえつつ、効率的な運営体制の構築を図ります。												
目標	計画期間中に、これまでの取り組みや学校の実情に合わせ、配置のあり方を検討します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 再任用職員や会計年度任用職員を活用した職員配置について検討 令和2年度 再任用職員や会計年度任用職員を活用した職員配置について検討 令和3年度 再任用職員や会計年度任用職員を活用した職員配置について検討											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	令和2年度当初において、再任用職員61名、会計年度任用職員242名を配置しました。										
		R2	令和3年度当初において、再任用職員60名、会計年度任用職員265名を配置しました。										
		R3	令和4年度当初において、再任用職員52名、会計年度任用職員295名を配置しました。										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	再任用職員や会計年度任用職員を活用した職員配置を行いました。									
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き、これまでの取り組みや学校の実情に合わせ、配置のあり方を検討します。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	19	枝番	1	所管局	総務局	担当課	行政経営課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	外郭団体の効果的な事業運営							取組み名	経営健全性の確保				
取組内容	<p>外部の専門家により、外郭団体の事業及び決算等の経営評価を実施し、必要に応じて経営改善等を助言します。</p> <p>また、外郭団体の事業計画やその実施状況等について、ホームページなどでわかりやすい情報提供に努め、財務状況について決算資料を公開します。</p>												
目 標	外郭団体が健全な経営状態を維持できるよう助言指導します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度～令和3年度 外部の専門家による経営評価を行うとともに、事業計画、財務状況等についてホームページなどで情報提供を実施											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政財政改革推進プラン2016	H28	外部の専門家による「外郭団体経営検討委員会」での評価の結果、1団体について、現金残高が少ない状況でしたが、一時的であったため、経営状況が悪化している状況ではないと評価しました。										
		H29	外部の専門家による「外郭団体経営検討委員会」での評価の結果、1団体について、現金残高が少ない状況でしたが、所管する施設の大規模修繕が原因のため、経営状況が悪化しているとまではいえないものの、推移に注意が必要と判断しました。										
		H30	外部の専門家による「外郭団体経営検討委員会」での評価の結果、1団体について、現金残高が少ない状況でしたが、一時的であったため、経営状況が悪化している状況ではないと評価しました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	外部の専門家による「外郭団体経営検討委員会」での評価の結果、4団体について、現金残高が少ない状況でしたが、一時的である等の理由により、経営状況が悪化している状況ではないと評価しました。										
		R2	外部の専門家による「外郭団体経営検討委員会」における評価対象となる新たな団体はありませんでしたが、前年度評価対象団体について、経営改善状況の報告を求めるとともに、さらなる経営改善に向け、助言等を行いました。										
		R3	外部の専門家による「外郭団体経営検討委員会」で3団体を評価した結果、2団体について、新型コロナウイルス感染症等の影響により収入が大きく減少しており、著しく経営状況が悪化しているとまではいえないが経営状況の推移に注意が必要な団体、1団体について、著しく経営状況が悪化しているとはいえない団体と評価しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	委員会での評価の際に、健全な経営状態維持のための指導を行いました。									
今後の進め方 (課題への対応)	今後も、経営評価の実施や、財務状況等の情報公開を行い、外郭団体の経営健全性の確保に努めます。												
備 考													

項目番号	1(1)	No.	19	枝番	2	所管局	総務局	担当課	人事課・職員 研修所	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	外郭団体の効果的な事業運営							取組み名	外郭団体の自主的な運営体制の強化				
取組内容	外郭団体職員と市職員の一体的な研修の実施、人事評価をはじめとする市の人事制度に関する情報提供、外郭団体の人員体制に係る協議などを通して、外郭団体の運営体制の強化を図ります。												
目 標	外郭団体の自主的な運営体制を推進する取り組みを進めます。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成29年度当初	外郭団体への派遣職員数は減少	平成30年度当初	外郭団体への派遣職員数は同数	令和元年度当初	外郭団体への派遣職員数は同数	令和2年度当初	目標に基づく取り組みを進めた	令和3年度当初	目標に基づく取り組みを進めた	令和4年度当初	目標に基づく取り組みを進めた
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28	平成28年度当初8名であった派遣職員について、平成29年度当初は4名に縮減しました。										
		H29	平成29年度当初4名であった派遣職員について、平成30年度当初は4名で同数となりました。										
		H30	平成30年度当初4名であった派遣職員について、令和元年度当初は4名で同数となりました。										
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	研修の実施に当たっては外郭団体へも周知して職員の参画を図るとともに、人事制度等に係る情報提供を行いました。また、主に次年度の実施想定事業等に要する外郭団体の人員体制について、適宜協議を行いました。										
		R2	昨年度に引き続き、研修の実施に当たっては外郭団体へも周知して職員の参画を図るとともに、人事制度等に係る情報提供を行いました。また、主に次年度の実施想定事業等に要する外郭団体の人員体制について、適宜協議を行いました。										
		R3	引き続き、研修の実施に当たっては外郭団体へも周知して職員の参画を図るとともに、人事制度等に係る情報提供を行いました。また、主に次年度の実施想定事業等に要する外郭団体の人員体制について、適宜協議を行いました。										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	目標に資する取組内容は概ね実施しています。									
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き、市職員の研修への受入れや市の人事制度の情報提供、人員体制に係る協議等を通して、運営体制の強化を図っていきます。												
備 考													

項目番号	1(1)	No.	20	枝番	-	所管局	子供未来局	担当課	幼保企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	保育所の民営化							取組み名	-				
取組内容	老朽化した市立の木造保育所等の建替えにあたっては、効率的な運営と柔軟性、機動性をより発揮できるように民間の力を活用し保育所を新設する「民設民営方式」を基本とし、計画的に推進します。												
目標	毎年概ね2か所の保育所の民営化を実施します。												
進捗状況	スケジュール	平成29年度 岩切・若林保育所の民営化 平成30年度 八乙女・将監西保育所の民営化 令和2年度～ 2保育所の民営化を基本として実施します											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 岩切・若林保育所の民営化に向けた保護者説明会等を実施 平成29年度 八乙女・将監西保育所の民営化に向けた保護者説明会等を実施 平成30年度 向陽台保育所の民営化に向けた保護者説明会等の実施や仮設園舎の設置 根岸保育所長町分園の民営化に向けた保護者説明会等の実施や事業者の公募 吉成・鶴ヶ谷保育所の民営化に向けた保護者説明会等の実施 令和元年度 向陽台保育所・根岸保育所長町分園の民営化に向けた保護者説明会等の実施 令和2年度 向陽台保育所・根岸保育所長町分園の民営化 吉成・鶴ヶ谷保育所の民営化に向けた保護者説明、事業者公募等の実施 令和3年度 中田保育所の民営化に向けた保護者説明会等の実施 吉成・鶴ヶ谷保育所の民営化 中田保育所の民営化に向けた保護者説明、事業者公募の実施											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28	岩切・若林保育所の民営化に向けた保護者説明会等を実施しました。 八乙女・将監西保育所の民営化に向け、事業者を公募し、保護者説明会を実施しました。 向陽台保育所の民営化（平成31年4月予定）を公表し、保護者説明会及び地区町内会との意見交換を実施しました。										
		H29	八乙女・将監西保育所の民営化に向け、保護者説明会等を実施しました。 向陽台保育所の民営化について、移転建替えから現地建替えに変更の上、民営化の時期を1年延長し、保護者や地区町内会への説明会を実施しました。また、事業者の公募を行いました。 根岸保育所長町分園の民営化（令和2年4月予定）を公表し、保護者説明会を実施しました。										
		H30	向陽台・根岸保育所長町分園の民営化に向け、保護者説明会等を実施しました。また、向陽台保育所については、現地建替えに向けて仮設園舎を設置しました。 吉成・鶴ヶ谷保育所の民営化（令和3年4月予定）を公表し、保護者説明会を実施しました。										
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	向陽台・根岸保育所長町分園の民営化に向け、保護者説明会等を実施しました。 吉成・鶴ヶ谷保育所の民営化に向け、事業者を公募し、保護者説明会を実施しました。										
R2		吉成・鶴ヶ谷保育所の民営化に向け、保護者説明会等を実施しました。 中田保育所の民営化（令和5年4月予定）を公表し、保護者説明会等を実施しました。											
R3		中田保育所の民営化に向け、事業者を公募し、保護者説明会を実施しました。											
単年度ごとの 効果試算 (百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3
	効果試算額							165	174	0	117	227	0
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	令和2年度に民営化を公表した中田保育所について、予定通り進捗しています。									
今後の進め方 (課題への対応)	民営化を公表した保育所について、引き続き、保護者等の理解を得ながら、民営化に向けた取り組みを進めていきます。 また、将来的な保育需要の減少等を踏まえ、今後の公立保育所のあり方を検討し、地域拠点保育所以外の公立保育所について将来的な方向性を示します。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	21	枝番	-	所管局	健康福祉局	担当課	収納対策室	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	収納率向上に向けたBPOの活用による業務体制の効率化							取組み名	-				
取組内容	<p>区保険年金課で行っている給付業務（不正・不当事業及び第三者行為に係る業務）について、本庁に集約し、事務の効率化を図ります。また、集約した給付業務、還付業務のほか、現在保険料納付アドバイザー2名と介護嘱託職員6名の計8名で行っている65歳以上の高齢者を対象とした外勤による納付勧奨業務についてBPOを活用した民間委託を行い、人件費の抑制と業務の効率化を図ります。</p> <p>※BPO…ビジネス・プロセス・アウトソーシング。組織運営上の業務やビジネスプロセスを専門企業に外部委託すること。</p>												
目標	<p>給付業務については、平成31年4月より新体制により業務を開始し、将来的にはすでに本庁集約している還付業務と併せて民間委託等の可能性も含めて検討していきます。</p> <p>外勤嘱託職員の民間委託については、令和元年度より委託を行います。</p>												
進捗状況	スケジュール	<p>【給付業務の集約化】 平成31年4月 新体制による業務開始 令和元年10月～ 還付業務と併せてBPO型の民間委託に向けた検証、調査 令和2年度～ 委託契約締結</p> <p>【外勤嘱託職員の民間委託】 平成31年4月～令和元年6月 委託準備 令和元年7月 委託契約締結 令和元年9月 次年度以降の事業のあり方検討</p>											
	実績・見込 (括弧は見込)	<p>【給付業務の集約化】 令和2年4月 還付業務と併せて委託契約締結</p> <p>【外勤嘱託職員の民間委託】 令和元年7月 委託契約締結</p> <p>【口座振替登録業務の集約化】 令和2年4月 各区役所・保険年金課で行っている業務を本庁集約 令和3年4月～ 業務委託</p>											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	給付業務、還付業務及び65歳以上を対象とした訪問催告業務について、民間委託を行い人件費の抑制と業務の効率化に取り組みました。										
	R2	給付業務と還付業務について、令和2年4月から民間委託しました。また、各区・総合支所で行っていた口座振替登録業務を本庁に集約し、令和3年度からの民間委託に向けて準備をしました。											
	R3	各区・総合支所から本庁に業務を集約した口座振替登録業務について、令和3年4月から催告業務、給付業務、還付業務と併せて民間委託を行ったことにより、業務の効率化に取り組みました。											
単年度ごとの効果試算(百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3
											5	36	18
目標達成状況	◎		目標達成状況の説明(根拠等)		スケジュールに基づき、給付業務及び65歳以上を対象とした訪問催告業務を民間委託したほか、令和3年度からは口座振替登録業務も委託することができました。								
今後の進め方(課題への対応)	他部署と連携しながら、委託範囲の拡大や他業務への展開について、検討します。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	22	枝番	-	所管局	環境局	担当課		施設課		プラン 掲載年度	H28	進行状況		継続	
実施項目	石積埋立管理事務所の 運営管理業務体制の見直し							取組み名	-								
取組内容	石積埋立処分場における運営管理業務体制について、より効率的な体制のあり方を検討します。																
目 標	処分場の運営管理業務の更なる効率化について検討を行います。																
進捗状況	スケジュール	平成28年度 関係部署協議 平成29年度 委託先選定、契約 平成30年度 第二期本格稼働、運営管理業務（水処理運転）の委託 令和元年度～ 更なる効率化について引き続き検討															
	実績・見込 （括弧は見込）	平成28年度 関係部署・労使協議 平成29年度 排水処理業務委託契約締結 平成30年度 運営管理業務の一部（排水処理業務）委託開始 令和元年度 運営管理業務の一部（排水処理業務）委託継続 令和2年度 運営管理業務の一部（排水処理業務）委託継続 令和3年度 運営管理業務の一部（排水処理業務）委託継続、埋立業務について関係部署・労使協議															
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政 改革推進 プラン 2016	H28	他都市調査を行い、業務委託範囲の特定・概算費用の精査を行いました。また、関係課と連携し、労使協議を行い、排水処理業務について平成30年度からの委託実施で合意しました。委託費については、平成30年度からの予算（債務負担行為）を計上しました。														
		H29	排水処理業務の委託契約を締結（締結日平成30年1月4日、履行期間令和4年度末まで）し、平成30年2月に引継の研修を行いました。														
		H30	平成30年4月より排水処理業務委託を実施しています。														
	仙台市役所 経営 プラン	H31 (R1)	排水処理業務委託（履行期間令和4年度末まで）の実施を継続しています。														
		R2	排水処理業務委託（履行期間令和4年度末まで）の実施を継続しています。また、更なる効率化案として業務委託範囲の拡大を検討しています。														
		R3	排水処理業務委託（履行期間令和4年度末まで）の実施を継続しています。また、更なる業務の効率化について労使協議を行い、令和5年度から埋立業務を委託化することについて合意しました。委託費については、令和5年度からの予算（債務負担行為）を計上しました。														
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	排水処理業務を平成30年度より委託化しており、また更なる効率化として、令和5年度より埋立業務についても委託化することを労使協議で合意し、委託実現のための予算を確保しました。													
今後の進め方 (課題への対応)	埋立業務の委託化について、令和4年度に委託仕様について検討のうえ、委託先選定・契約を行い、安定的に処理する体制を継続していきます。																
備 考																	

項目番号	1(1)	No.	23	枝番	-	所管局	市民局	担当課	区政課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	完了
実施項目	区役所駐車場のあり方の検討							取組み名	-				
取組内容	来庁者の駐車場利用に配慮しつつ、市民の利便性向上や有効活用に向けた検討を行います。												
目 標	各区の状況や課題等に応じた対応策について検討を行った上で、実施可能な見直しを行います。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度～ 見直しに向けた検討、実施											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 見直しに向けた検討 平成29年度 宮城野区において、民間事業者による時間貸し駐車場の運営開始 平成30年度 未実施の区の状況や実施時期等を関係区役所と協議 令和元年度 若林区における具体の検討に着手 令和2年度 若林区の事業者選定条件の検討及び選定委員会開催に向けた調整 令和3年度 若林区において、民間事業者による時間貸し駐車場の運営開始											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	各区総合支所及び関係部署との協議・検討を進め、「駐車場等実態調査業務」を委託し、事業採算性の分析を行いました。 また、宮城野区において有効活用（民間事業者による時間貸し駐車場の運用）の決定及び事業者選定を行いました。										
		H29	平成29年4月28日に民間事業者と3か年（期間：平成29年6月1日～令和2年5月31日）の貸付契約を締結しました。その結果、10か月間の平日夜間早朝（18時～翌日8時）及び土日祝日等の稼働率は概算で平均17.92%となり、2,365,934円（基本貸付料2,160,000円、従量貸付料205,934円）の収入がありました。										
		H30	民間事業者に運営を委託している宮城野区役所駐車場は、3,005,067円（基本貸付料2,592,000円、従量貸付料413,067円）の収入がありました。 事業採算性はあるが他の工事の影響で直ちに運営を委託することが難しい若林区、泉区については、駐車場の現状確認や実施時期等について協議を行いました。										
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	民間事業者に運営を委託している宮城野区役所駐車場は、2,741,133円（基本貸付料2,464,524円、従量貸付料276,609円）の収入がありました。 若林区役所駐車場については、具体の検討に着手するため、改めて若林区周辺における「駐車場等実態調査業務」を委託し、事業採算性の分析を行いました。										
		R2	宮城野区役所駐車場は、令和2年6月1日に当初貸付契約の更新を行い、引き続き3か年（期間：令和2年6月1日～令和5年5月31日）の貸付契約を締結し、12か月間で2,749,318円（基本貸付料2,640,000円、従量貸付料109,318円）の収入がありました。 若林区役所駐車場については、令和3年度の運用開始に向け事業者選定条件の検討や選定委員会開催に向けた各種調整を行いました。										
		R3	民間事業者に運営を委託している宮城野区役所駐車場は、2,819,564円（基本貸付料2,640,000円、従量貸付料179,564円）の収入がありました。 若林区役所駐車場について、3回の選定委員会を経て、令和4年2月1日に民間事業者と3か年（期間：令和4年2月1日～令和7年1月31日）の貸付契約を締結し、2か月間で42,000円（基本貸付料42,000円、従量貸付料0円）の収入がありました。										
目標達成状況	○	目標達成状況の説明 (根拠等)	宮城野区においては、民間事業者による時間貸し駐車場の運営を継続しています。 若林区においては、令和3年度に供用を開始しています。										
今後の進め方 (課題への対応)													
備 考	令和3年度完了												

項目番号	1 (1)	No.	24	枝番	-	所管局	子供未来局	担当課	認定給付課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	完了
実施項目	保育施設等の給付・入所認定等に係る事務の外部資源活用							取組み名	-				
取組内容	現在認定給付課及び区家庭健康課・宮城総合支所保健福祉課で実施している保育施設等への給付事務や支給認定事務等について、事務の効率化及び職員の超勤縮減を目的として、業務委託による外部資源活用を検討します。												
目 標	令和3年度の実施に向けて、令和2年度中に検討を行います。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 幼児教育の無償化に伴い増加する業務の外部委託 令和2年度 現在直営で行っている既存業務について、委託導入の可能性を検討 令和3年度 幼児教育の無償化に伴う業務委託の契約更新時期に合わせ、既存業務の一部について委託導入											
	(括弧は実績・見込)	令和元年度 幼児教育の無償化の実施に伴い増加する業務について、外部委託を実施 令和2年度 令和3年度からの次期契約に向け、令和3年度予算確保及び令和4～8年度債務負担行為設定 令和3年度 委託契約更新(契約期間：令和3年9月1日～令和8年9月30日)。従前の無償化関係事務に加え、既存業務の一部を新たに委託化した											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	令和元年10月に開始された幼児教育の無償化に伴い新たに実施することとなった、無償化の対象となるための認定業務や給付費の支払業務等について、外部への業務委託を実施しました。										
		R2	令和3年度からの次期契約に向け、次期契約で委託する業務を精査し、現在委託している業務に加え、既存業務の一部を追加した内容で複数事業者より徴収した参考見積に基づき、令和3年度予算確保及び令和4～8年度の債務負担行為設定を行いました。										
		R3	無償化関係事務に加え、補助金交付関係事務等の既存業務の一部を委託業務に追加した上で公募型プロポーザル方式により受託者を選定し、令和3年9月1日から令和8年9月30日までの業務委託契約を締結しました。										
単年度ごとの効果試算(百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3
										1	1	6	
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	目標どおり、令和3年度の契約更新に合わせて、無償化関係業務に加え、一部の既存業務についても委託導入を実施した。									
今後の進め方(課題への対応)													
備 考	令和3年度完了												

項目番号	1 (1)	No.	24-2	枝番	-	所管局	健康福祉局	担当課	保険年金課	プラン 掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	高額療養費支給業務・第三者行為求償事務の民間委託による業務体制の効率化								取組み名	-			
取組内容	国民健康保険、後期高齢者医療の高額療養費支給業務・第三者行為求償について令和4年度から民間委託を実施することにより、人件費の削減と業務効率化を図ります。												
目標	令和4年度からの民間委託に向けた準備を進めます。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 庁内業務量等調査 委託業務及び範囲検討 委託業者選定及び契約 制度改正対応											
	(括弧は実績・見込)	令和4年度からの民間委託に向けた準備（業務量調査、委託業務及び範囲検討、委託業者選定及び契約準備、制度改正対応等）を滞りなく実施できた。											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2											
		R3	令和4年度からの民間委託に向けた準備（業務量調査、委託業務及び範囲検討、委託業者選定及び契約準備、制度改正対応等）を実施。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	予定していたとおり、令和4年度からの民間委託に向けた準備を実施することができた。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和4年度から予定通り民間委託を実施する。 実施後においては、民間委託による人件費の削減と業務効率化の効果を検証しながら、安定的に業務が継続できるよう管理する。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	25	枝番	1	所管局	教育局	担当課	市民図書館	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	指定管理者制度の活用							取組み名	指定管理者制度の導入（図書館）				
取組内容	事業の質を確保しながら、効率的・効果的な施設の管理運営を実施するため、指定管理者制度の導入を検討します。												
目 標	他の直営の図書館への指定管理者制度の導入の可能性を検討します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込	平成28年度	7館中、3館に指定管理者制度を導入										
		平成29年度	指定管理館の運営状況の検証及び今後の指定管理者制度導入の可能性の検討										
		平成30年度	指定管理館の運営状況の検証及び今後の指定管理者制度導入の可能性の検討										
		令和元年度	今後の指定管理者制度導入のあり方について検討										
		令和2年度	今後の指定管理者制度導入のあり方について検討										
		令和3年度	今後の指定管理者制度導入のあり方について検討										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	広瀬図書館（平成20年度～）、榴岡図書館（平成24年度～）、若林図書館（平成27年度～）に指定管理者制度を導入しています。										
		H29	指定管理者制度を導入している3館の運営状況を踏まえ、今後の指定管理者制度導入の可能性について、検討を行いました。										
		H30	指定管理者制度を導入している3館の運営状況を検証しつつ、今後の指定管理者制度導入の可能性について、引き続き検討を行いました。										
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	指定管理者制度を導入している3館の運営状況の検証と並行して他都市の導入状況等を調査し、図書館協議会で報告を行うなど、指定管理者制度の導入のあり方について検討を行いました。										
		R2	指定管理者制度を導入している3館の運営状況の検証とその評価について、図書館協議会で報告を行い、公共図書館としての指定管理者制度の導入のあり方について検討を行いました。										
		R3	指定管理者制度を導入している3館の運営状況の検証とその評価について、図書館協議会で報告を行うとともに、新たな指定管理者制度の導入に向けた課題を検証し、今後の方向性について検討を行いました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	指定管理者への日常的な指導と情報共有により、図書館サービス全体の運営状況の安定化を図りながら、今後の指定管理者制度導入についての課題を把握するなど、あり方について検討を行いました。									
今後の進め方 (課題への対応)	指定管理者制度の活用による効果を検証し、新たな導入について引き続き検討を進めるとともに、制度を適切に運用するため、市民図書館の中央館としてのあり方を検討します。												
備 考													

項目番号	1(1)	No.	25	枝番	2	所管局	教育局	担当課	科学館	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	指定管理者制度の活用							取組み名	指定管理者制度の導入（科学館）				
取組内容	事業の質を確保しながら、効率的・効果的な施設の管理運営を行うため、指定管理者制度導入を検討します。												
目標	展示リニューアルオープン時に、指定管理者制度を導入することを検討します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	指定管理者制度導入の可能性について関係部署と協議										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	関係部署と協議を行い、指定管理者制度の導入については、施設の大規模改修工事、展示リニューアル工事の実施時期とともに検討する必要があることを確認しました。										
		H29	関係部署と協議を行い、指定管理者制度については、展示リニューアル及び施設改修を実施した後に導入するべきであることを確認しました。										
		H30	関係部署と協議を行い、展示リニューアルオープン時の指定管理者制度導入について検討することとしました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	展示リニューアルの基本設計や他都市における事例調査と並行し、指定管理者制度の導入について検討しました。										
		R2	展示リニューアルの実施設計にポストコロナを見据えた対応を加味することとし、指定管理者制度の導入について検討しました。										
		R3	展示リニューアルの実施設計を進めるとともに、これまで見えてきた課題の更なる検討を進めました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	展示リニューアルの実施設計を進めるとともに、これまで見えてきた課題の更なる検討を進めました。									
今後の進め方 (課題への対応)	指定管理者と行政教員による館運営などの実現性を的確に検証し、導入について検討していきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	25	枝番	3	所管局	子供未来局	担当課	児童クラブ 事業推進課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	指定管理者制度の活用							取組み名	指定管理者の公募の推進（児童館）				
取組内容	児童館の指定管理者選定に際し、事業者の状況等を勘案しながら、公募を推進します。												
目標	担い手となる事業者の状況等を勘案しながら、児童館の新築時に合わせ、指定管理者の公募を行うとともに、非公募により指定管理者を選定している児童館の改築時に合わせ、公募により選定した指定管理者による運営を行います。												
進捗状況	スケジュール	公募により選定した指定管理者による運営開始時期 平成28年度～ 将監児童館 平成29年度～ 栗生児童館、南小泉児童館 平成30年度～ 西多賀児童館 令和2年度～ （仮称）七郷第二児童館 令和4年度～ 将監児童センター											
	実績・見込 （括弧は見込）	平成28年度～ 将監児童館 平成29年度～ 栗生児童館（落合児童館から名称変更）、南小泉児童館（若林区中央児童館から名称変更） 平成30年度～ 西多賀児童館 令和2年度～ 荒井児童館 （令和4年度～ 将監児童センター）											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	将監児童館については公募により選定した指定管理者による運営を開始し、落合児童館及び若林区中央児童館は指定管理者を公募により選定しました。										
		H29	栗生児童館及び南小泉児童館については公募により選定した指定管理者による運営を開始し、西多賀児童館は指定管理者を公募により選定しました。										
		H30	西多賀児童館については公募により選定した指定管理者による運営を開始しました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	荒井児童館（（仮称）七郷第二児童館）について指定管理者を公募により選定しました。										
		R2	荒井児童館については公募により選定した指定管理者による運営を開始しました。										
		R3	将監児童センターについて指定管理者を公募により選定しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	当初の目標としていた、平成28年度から令和3年度までの指定管理者による運営開始について目標通り進めることができました。									
今後の進め方 (課題への対応)	将監児童センターについては、令和4年度から公募により選定した指定管理者による運営を開始します。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	26	枝番	-	所管局	財政局	担当課	財政課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	公共事業の厳選・重点化							取組み名	-				
取組内容	地域経済への波及効果の観点から一定量を確保しつつ、老朽建築物の長寿命化のための改修や市民に身近な道路や公園の改良など真に必要な公共事業への重点化を図ります。												
目標	毎年度の予算編成において、その事業規模や費用対効果を見極め、適切な予算措置を行います。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成29年度～令和3年度当初予算編成において、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	平成29年度当初予算編成では、公共事業に係る要求内容を精査のうえ、公共施設長寿命化の取り組みに加え、道路新設改良、橋りょう整備、埋立処分場整備等に要する経費を計上し、普通建設事業費は前年度から微減となりました。										
		H29	平成30年度当初予算編成では、公共事業に係る要求内容を精査のうえ、公共施設長寿命化の取り組みに加え、道路新設改良、橋りょう整備、学校建設等に要する経費を計上し、普通建設事業費は前年度から微減となりました。										
		H30	令和元年度当初予算編成では、公共事業に係る要求内容を精査のうえ、公共施設長寿命化の取り組みに加え、道路新設改良、橋りょう整備、学校建設等に要する経費を計上し、普通建設事業費は前年度から減となりました。										
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	令和2年度当初予算編成では、公共事業に係る要求内容を精査のうえ、公共施設長寿命化の取り組みに加え、道路新設改良、橋りょう整備、今泉工場施設整備等に要する経費を計上し、普通建設事業費は前年度から減となりました。										
		R2	令和3年度当初予算編成では、公共事業に係る要求内容を精査のうえ、道路新設改良、公園整備、学校建設等に要する経費を計上したものの、公共施設長寿命化の本格化等の影響により、普通建設事業費は前年度から増となりました。										
		R3	令和4年度当初予算編成では、公共事業に係る要求内容を精査のうえ、道路新設改良、松森工場基幹改良、学校建設等に要する経費を計上したものの、公共施設長寿命化の本格化等の影響により、普通建設事業費は前年度から増となりました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	公共事業に係る要求内容を精査のうえ、適切な予算精査を着実に実施しています。									
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き取組内容や目標に記載した事項について着実に実施します。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	27	枝番	-	所管局	財政局	担当課	財政課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	補助・助成制度の見直し							取組み名	-				
取組内容	<p>補助・助成制度について、社会経済環境や市民ニーズの変化等を踏まえ、事業の効果、公益性、必要性などの観点から不断の見直しを行います。</p> <p>また、育成奨励的な目的の補助金等については、あらかじめ事業期間を設定するなどにより効果的な制度運用を進めます。</p>												
目標	毎年度の予算編成時を通じて補助・助成制度の点検・見直しを行います。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	障害者サービス等利用者負担軽減事業や、障害者自立支援特別対策事業を廃止										
		平成29年度	知的障害者自立体験ステイ事業を廃止										
		平成30年度	危険空家等除却工事補助事業を廃止										
		令和元年度	高齢者生活援助事業、デザイン活用による中小企業競争力強化事業を廃止										
		令和2年度	重度重複障害者等受入通所施設等運営費補助金、障害者家族支援等推進事業費補助金を見直し										
		令和3年度	重症心身障害者生活介護事業費補助金、重度重複障害者等受入通所施設等運営費補助金を見直し										
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	障害者サービス等利用者負担軽減事業や、障害者自立支援特別対策事業を廃止しました。										
		H29	知的障害者自立体験ステイ事業を廃止しました。										
		H30	危険空家等除却工事補助事業を廃止しました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	高齢者生活援助事業、デザイン活用による中小企業競争力強化事業を廃止しました。										
		R2	重度重複障害者等受入通所施設等運営費補助金（対象者の見直し）、障害者家族支援等推進事業費補助金を見直しました。										
		R3	重症心身障害者生活介護事業費補助金、重度重複障害者等受入通所施設等運営費補助金（補助基準額の見直し）を見直しました。										
単年度ごとの効果試算(百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3
								-	1	4	11	8	39
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	社会経済環境や市民ニーズの変化等を踏まえた補助・助成制度の見直しを行いました。									
今後の進め方(課題への対応)	引き続き、事務事業見直し等の取り組みを通じて、各般の補助・助成制度の見直しに取り組んでいきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	28	枝番	-	所管局	環境局	担当課		施設課		プラン 掲載年度	H28	進行状況		継続	
実施項目	ごみ処理施設のあり方の検討							取組み名	-								
取組内容	ごみの排出状況の変化に対応した、より効率的なごみ処理施設のあり方について検討します。																
目 標	ごみの排出状況の変化に応じた、ごみ処理施設の中長期的なあり方について、検討を行います。																
進捗状況	スケジュール	平成28年度～令和2年度 次期「一般廃棄物処理基本計画」（令和3年度～）の策定に向け、基本的な方向性を定めます。															
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	安定したごみ処理体制を確保するため、施設の延命化工事計画策定														
		平成29年度	延命化工事の発注														
		平成30年度	延命化工事の実施														
		令和元年度	延命化工事の実施、施設の延命化工事計画策定														
		令和2年度	延命化工事の実施、施設の延命化工事計画策定														
		令和3年度	延命化工事の実施														
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28	安定したごみ処理体制を確保するため、施設の延命化工事に係る計画をとりまとめました。														
		H29	今泉工場の延命化工事を行いました。（4か年工事の1年目）														
		H30	今泉工場の延命化工事を行いました。（4か年工事の2年目）														
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	今泉工場の延命化工事を行いました。（4か年工事の3年目） 施設の延命化工事に係る計画をとりまとめました。														
		R2	今泉工場の延命化工事を行いました。（4か年工事の4年目） 施設の延命化工事に係る計画をとりまとめました。														
		R3	松森工場の延命化工事を行いました。（5か年工事の1年目）														
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	既存のごみ処理施設を有効活用し、計画的に延命化工事を実施することで、安定したごみ処理体制を維持するとともに、ライフサイクルコストの低減を図ることができました。													
今後の進め方 (課題への対応)	安定したごみ処理体制を確保するために引き続き延命化工事を実施します。また、今後のごみ排出状況の変化に対応するとともに、災害時等においても安定的なごみ処理を維持する観点も考慮し、最適な処理施設の配置について検討を進めます。																
備 考																	

項目番号	1(1)	No.	29	枝番	-	所管局	環境局	担当課	廃棄物 企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	資源化施設のあり方の検討							取組み名	-				
取組内容	老朽化した堆肥化センターについて、適切な維持管理を行うとともに施設整備のあり方などを検討します。												
目標	ごみの排出状況や、民間施設の動向を勘案しながら、施設整備のあり方を検討し、方針を決定します。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度～令和3年度末まで 民間施設稼働状況等調査、施設のあり方検討 検討結果を踏まえ、方針を決定											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 施設のあり方について検討 平成29年度 民間活力導入可能性等調査を実施 平成30年度 松森資源化センターの基幹改良工事による機器更新を決定 令和元年度 民間施設の稼働状況や整備計画の把握 令和2年度 民間施設の稼働状況や計画の中の新規施設に係る事業内容の確認 令和3年度 新規施設を含む民間施設の稼働状況の把握											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	松森資源化センターについて、施設整備のあり方の検討や民間活力導入可能性調査実施に向けた準備を進めるとともに、堆肥化センターについて、民間施設の処理状況を確認し、あり方の検討を進めました。										
		H29	松森資源化センターについて、施設更新に関する民間活力導入可能性調査を実施し、課題の洗い出しを行いました。 堆肥化センターについて、県内の民間施設も含め、処理能力や稼働状況を調査しました。										
		H30	松森資源化センターについて、国の補助制度の変更を踏まえ、基幹改良工事による機器更新を行う方針を決定しました。 堆肥化センターについて、民間施設の稼働状況等について継続して調査しました。										
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	堆肥化センターに関連する民間施設について、既存施設の稼働状況や新規施設の整備計画等の把握に努めました。										
		R2	堆肥化センターに関連する民間施設について、既存施設の稼働状況を継続して把握するとともに、計画の中の新規施設における堆肥化の実施内容に関する確認を行いました。										
		R3	堆肥化センターに関連する民間施設について、既存施設の稼働状況や、令和4年2月に稼働開始した新規施設の状況把握に努めるとともに、各施設での受入意向等の確認を行いました。										
目標達成状況	△		目標達成状況の説明 (根拠等)	令和3年度末までに、施設整備の今後の方針を決定することとしていましたが、年度内に方針決定に至らなかったため、目標達成状況を△としています。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和4年7月に、令和5年度中の施設廃止を決定しました。 これまで堆肥化センターで処理していた給食生ごみ等は、令和5年度から民間施設においてリサイクルを行うこととしており、今後、具体的手続きを進めていきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	30	枝番	-	所管局	総務局	担当課	行政経営課・ 人事課・労務課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	定型的内部事務の効率化							取組み名	-				
取組内容	人事給与事務など、定型的・内部的な事務又は関連する業務の集約化などの見直しを図り、事務効率化を進めます。												
目標	定型的な内部事務について、事務効率化を検討します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込	令和元年度 定型的・内部的な事務の効率化の手法を検討しました。 令和2年度 委託対象事務の精査を行うとともに、費用対効果について検証しました。 令和3年度 新たな「人事給与・庶務事務システム」の構築等に向けた調達を実施するとともに、効率的な業務プロセスのあり方について検討を行いました。											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	定型的・内部的な事務の効率化の手法として、人事・給与関連の多様な定型的内部事務を集約し民間に委託する「総務事務センター」について、他都市の設置状況の聞き取りを行うとともに、庁内の業務量調査等を行いました。										
	R2	委託対象業務の精査を行うとともに、人事システム・給与システム・庶務事務システムを統合した新たなシステムの導入を踏まえた、費用対効果等について検証を行いました。											
	R3	新たな「人事給与・庶務事務システム」の構築等に向けた調達を実施するとともに、新システム下における効率的な業務プロセスのあり方について検討を行いました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	定型的・内部的な事務の効率化に向け、新たな「人事給与・庶務事務システム」の構築等の調達を実施するとともに、新システム下における効率的な業務プロセスのあり方について検討を行いました。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和6年度のシステム切替に向け、引き続き、新システム下における効率的な業務プロセスのあり方について検討を進めていきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	30-2	枝番	-	所管局	総務局・まちづくり政策局	担当課	行政経営課・行政デジタル推進課	プラン掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	業務改革（BPR）の推進							取組み名	-				
取組内容	限りある人的資源の中で、職員が真に必要な業務に注力することができるよう、デジタル技術を積極的に活用しながら、共通事務の集約化、委託化、業務手順や処理方法の見直しなど、あらゆる手段により業務プロセスの標準化や最適化を図る業務改革（BPR）を推進します。												
目標	令和3年度において、業務量調査の実施により全庁の「業務の見える化」を図り、重点的・優先的にBPRの対象とすべき注力業務を選定します。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度～ 業務量調査の実施 注力業務の選定											
	実績・見込	令和3年度～ 業務量調査の実施 注力業務の選定											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2											
		R3	業務量調査を実施するとともに、その結果等を踏まえ、優先的・重点的にBPRを実施すべき、注力業務の選定を行いました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	業務量調査の結果やヒアリング等を踏まえ、当初予定通り、重点的・優先的にBPRの対象とすべき注力業務の選定を行いました。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和4年度以降、選定した注力業務について、業務分析及び改善施策の検討を進めていきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	31	枝番	1	所管局	まちづくり 政策局	担当課	政策企画課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	完了
実施項目	国勢調査業務の効率化							取組み名	調査員確保に向けた新たな取組みの推進				
取組内容	国勢調査に必要な調査員数の確保に向けては、従来から実施している登録調査員や町内会等への依頼に加え、新たに分譲マンション管理会社を通じたマンション居住者からの募集や、市退職者への働きかけを行うとともに、業務委託の有効活用の検討等により、人材確保の確実性を向上させます。												
目標	国勢調査実施年である令和2年の概ね6月末までに、調査員の確保を目指します。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 目標達成に向けた準備として、取組内容に記載の事項を着実に進める。 令和2年度 期限までに目標達成するとともに、円滑な調査活動を進める。											
	(括弧は見込 実績・見込)	令和元年度 マンション居住者を対象に募集し、最終的な意思確認を行い、令和2年国勢調査に調査員として協力いただけることになりました。 また、マンション管理業の業界団体に事業の説明及び協力依頼を行い、会員向け説明会において説明、資料配布等を実施しました。 令和2年度 令和2年5月末時点で、全調査区をほぼ充足させる調査員を確保し、10月1日を期日とする調査は大きな問題なく終了しました。											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	上記実績に同じ。										
		R2	上記実績に同じ。										
		R3											
目標達成状況			目標達成状況の説明 (根拠等)										
今後の進め方 (課題への対応)													
備考	令和2年度完了												

項目番号	1(1)	No.	31	枝番	2	所管局	まちづくり 政策局	担当課	政策企画課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	完了
実施項目	国勢調査業務の効率化							取組み名	職員の負担軽減のための事務効率化に向けた取組みの推進				
取組内容	書類審査業務や用品配送業務等の効率化により職員の事務負担を軽減し、超過勤務時間の抑制を図ります。												
目 標	各区・総合支所総務課職員の超過勤務時間について、一人当たり年間720時間以内とします。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 目標達成に向けた準備として、取組内容に記載の事項を着実に進める。 令和2年度～ 職員の超過勤務時間を把握しながら、円滑な調査活動を進める。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度	目標達成に向けた準備として、具体的な取り組みについて各区・総合支所と担当係長会議等を通じて協議を行いました。										
		令和2年度	書類審査業務の効率化に向けたインターネット回答の普及啓発や、調査員への用品配送業務の見直し等を実施したことにより、主に統計を担当する各区役所・総合支所の職員の91%（31名／34名）について上記目標を達成しました。 ※前回実施時（H27年度）において、対象職員のうち年間超過勤務時間が720時間以内だった職員は20%でした。 （超過勤務時間には国勢調査以外の業務分も含む）										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	上記実績に同じ。										
		R2	上記実績に同じ。										
		R3											
目標達成状況			目標達成状況の説明 (根拠等)										
今後の進め方 (課題への対応)													
備 考	令和2年度完了												

項目番号	1(1)	No.	32	枝番	-	所管局	まちづくり 政策局	担当課	政策企画課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	統計データの利活用推進							取組み名	-				
取組内容	庁内で作成されている統計データを集約・共有化するなど、統計データを円滑に利活用できる環境づくりを推進します。												
目標	統計データの利活用に向けた効果的な取り組みを推進します。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 庁内統計把握、データ掲載適否等確認 令和2年度 庁内LANでの公開 庁内からの統計活用に関する相談窓口の設定について検討											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 庁内の各局・区等で作成に関与した全統計について照会を行い、状況把握を行いました。 令和2年度 集約・整理した形での掲載に向けて、データ形式や公開方法等について検討を行うとともに、統計データ利活用に関する相談対応について、より利用しやすくするための周知等について検討を行いました。 (各部局における統計の公表等についてはそれぞれで対応しています) 令和3年度 各部局での統計データの利用を促進するため、政策企画課で発行している「仙台市統計書」を基に、各統計データの更新頻度、所管機関、外部HPへのリンク等をまとめた「統計データ一覧」を作成し、庁内HPで公開しました。併せて、統計活用に関する相談を受け付けていることを周知しました。											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	上記実績に同じ。										
		R2	上記実績に同じ。										
		R3	上記実績に同じ。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	庁内で統計データの利活用に関するヒアリングを行ったところ、利活用以前に「どこにどのようなデータがあるのかわからない」という意見が散見されたため、各種統計データの表章項目、更新頻度、所管機関、HPへのリンクなどをエクセル表にまとめて一覧とし、統計データの有無・問い合わせ先等を検索できるものを作成しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	R3年度に作成した「統計データ一覧」について、仙台市統計書に掲載されていない統計データや問い合わせの多い事項の掲載、各部署が所管している業務上のデータについての掲載可否を調査するなど、さらなる拡充を行います。 また、e-Statの使い方など統計データ利活用に資する情報提供など、庁内HPの内容充実を図ります。 統計データ利活用に関する相談を受け付けることを周知するなど、庁内における統計担当課としての認知度向上を図ります。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	33	枝番	-	所管局	市民局・まちづくり政策局	担当課	戸籍住民課・行政デジタル推進課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	マイナンバー制度の活用							取組み名	-				
取組内容	国の機関や他の地方公共団体との情報連携を活用した添付書類の削減や、マイナポータルを活用した市民一人ひとりにあった情報提供を推進します。さらに、きめ細かなサービス提供につながる独自利用事務の拡大について検討を進めます。												
目標	マイナンバーカードの普及促進を図るとともに、マイナポータルの活用による情報提供を推進します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	(括弧は実績・見込)	平成28年度	マイナンバーカードに印鑑登録証機能を持たせることについて検討し課題整理										
		平成29年度	「マイナンバーカードに印鑑登録証機能を付加すること」と「区役所等庁舎に「コンビニエンスストアと同様のマルチコピー機を設置する」ことを比較検討し、マルチコピー機を試行的に設置する予算を平成30年度に措置。										
		平成30年度	宮城総合支所にマルチコピー機を試行的設置。他区役所等庁舎への設置検討。										
		令和元年度	秋保総合支所にマルチコピー機を試行的設置。										
		令和2年度	令和2年3月末のマイナンバーカード取得者187,398人、取得率17.6%。										
			マイナポイント支援ブース及びコールセンター設置。										
			マイナンバーカード特設センター設置。										
			区役所休日マイナンバーカード交付窓口開設。										
		令和3年度	令和3年3月末のマイナンバーカード取得者328,424人、取得率30.9%。										
			マイナンバーカード特設センター移転、窓口拡充。										
			令和4年3月末のマイナンバーカード取得者503,683人、取得率47.3%。										
単年度ごとの主な実績	仙台市役所経営プラン	H28	マイナンバーカードに印鑑登録証機能を持たせることについて検討し次の課題を把握しました。 (1) マイナンバーカードへ印鑑登録証機能を付加するための処理時間がかかる。 (2) マイナンバーカードは即日交付できないため印鑑登録証とマイナンバーカード交付後に印鑑登録証機能の付加処理が必要となる。 (3) システム改修が必要となりコスト負担等が生じる。										
		H29	会津若松市の事例等を踏まえると、マイナンバーカードに印鑑登録証機能を持たせた場合、既存の登録証(せんだい市民カード)を必ず回収する必要があるとともに、サービス低下に繋がる可能性もあると判断されたことから、区役所等庁舎へのマルチコピー機設置を検討することにしました。また、試行は近隣にコンビニエンスストアのない宮城総合支所にて実施することとしました。										
		H30	平成30年11月に宮城総合支所に試行的にマルチコピー機を設置しました。また、他区役所等庁舎への設置について検討し、令和元年度に近隣にコンビニエンスストアのない秋保総合支所に設置することとしました。										
		H31(R1)	令和元年5月に証明書自動交付機稼働終了(令和元年12月末)のお知らせと合わせ、マイナンバーカード申請の案内ハガキ(約26万通)を送付しました。 9月よりマイナンバーカード交付申請書と封筒、チラシを組み合わせた配布物を作成し、各区役所や市民センター等へ配架しました。 10月にマイナンバーカード交付円滑化計画を策定し、今後計画的にカード交付に取り組むこととしました。 12月より各区・総合支所及び一部機関(北税務署、水道局等)を対象としたマイナンバーカード出張申請の試行を実施しました。 2月より各区総務課でマイキーID設定支援業務を開始しました。										
		R2	令和2年9月より開始されたマイナポイントに対応するため区役所へ支援ブースを設置し、専用コールセンターを設置しました。 10月より仙台駅前アエル5階にマイナンバーカード特設センターを設置し、平日の時間外や休日のカード交付を実施しました。 2月より区役所で月2回程度、マイナンバーカード休日交付窓口を開設しました。 また、令和2年5月及び令和3年2月に区役所・総合支所へ端末機を増設し窓口拡充を実施しました。										
		R3	令和2年度に引き続き、区役所等へマイナポイント支援ブースを設置し、専用コールセンターを設置しました。 令和3年11月よりマイナンバーカード特設センターの物理スペースを拡充するとともに、申請時来庁方式による申請受付も開始しました。										
目標達成状況		○	目標達成状況の説明(根拠等)	マイナンバーカード交付枚数が令和元年度は平均約3,700枚/月、令和2年3月末のカード取得者は187,398人(取得率17.6%)、令和2年度は平均約11,700枚/月、令和3年3月末のカード取得者は328,424人(取得率30.9%)のところ、令和3年度は平均約14,600枚/月、令和4年3月末のカード取得者は503,683人(取得率47.3%)となりました。									
今後の進め方(課題への対応)	令和4年度も引き続きマイナンバーカードの交付促進を図るとともに、マイナポータルを通じた行政手続きのデジタル化を推進してまいります。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	33-21	枝番	-	所管局	健康福祉局	担当課	収納対策室	プラン 掲載年度	R2	進行状況	継続
実施項目	福祉債権等徴収業務の集約化							取組み名	-				
取組内容	組織横断的な取り組みにより、国民健康保険料等で培った徴収ノウハウを他債権においても活かし、より効果的・効率的な徴収対策に努め、収納率の向上に取り組めます。												
目標	催告センターの業務範囲を他の福祉債権等に拡大し、催告業務の民間委託を進めることで、国民健康保険料等で培った徴収ノウハウを他債権においても活かし、より効果的・効率的な業務体制の構築を目指します。また、福祉債権等に係る徴収業務の集約化について検討を進めます。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料、市税、保育料、給食費の催告業務委託を一体化させたプロポーザル契約 令和4年度 他債権の催告業務委託を検討											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和2年度 国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料、市税、保育料、給食費の催告業務委託を一体化させたプロポーザル契約 ※令和3年4月1日～業務委託 令和3年度 災害援護貸付金の催告業務について、次年度から催告センターへの委託を検討・準備											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)											
		R2	次年度に向けて、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料、市税、保育料、給食費の催告業務委託を一体化させたプロポーザル契約を締結しました。また、給食費の訪問催告を試行的に実施しました。										
		R3	令和3年4月に組織改正により健康福祉局内に新しくできた収納対策室職員が子供未来局認定給付課、教育局健康教育課と兼務・併任し、納付相談や催告センターとの連携等について、効率化に取り組みました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	スケジュールに基づき、令和3年度から国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料、市税、保育料、給食費の催告業務を一体化させた民間委託を行いました。									
今後の進め方 (課題への対応)	災害援護貸付金の催告業務を令和4年度中に収納対策室内にある催告センターに委託予定であるため、災害援護資金課と連携しながら、さらなる効率化を進めます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	33-81	枝番	-	所管局	健康福祉局	担当課	収納対策室	プラン 掲載年度	R2	進行状況	継続
実施項目	保険料等収納におけるキャッシュレス化の推進								取組み名	-			
取組内容	保険料等収納について、民間委託している訪問催告業務においてタブレット端末と滞納者のスマホ決済サービスを活用したキャッシュレス収納を導入するとともに、区の窓口においてキャッシュレスで収納可能な端末を導入し、現金取扱リスクの低減や業務効率化等を図ります。												
目標	キャッシュレス化を推進し、現金取扱リスクや現金管理事務負担を低減することで、人件費の抑制と業務の効率化を図ります。また、他業務への展開に向けた検証を進めます。												
進捗状況	スケジュール	令和2年度 民間委託している訪問催告業務においてタブレット端末と滞納者のスマホ決済サービスを活用したキャッシュレス収納を導入 令和3年度 他業務への展開に向けた検証 令和4年度 区の窓口でキャッシュレス収納が可能となる端末の導入 他の窓口業務への展開に向けた検証											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和2年度 キャッシュレス収納のサービス種別の拡充 民間委託している訪問催告業務において、携帯用プリンターから納付用バーコードを出力するシステム開発を開始 令和3年度 携帯用プリンターから出力できるコンビニ用納付書（納付用バーコード付）導入											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2	導入済のLINEPayに加えて、PayPay請求書払い、PayB決済サービス、楽天銀行コンビニ支払サービス、au PAY 請求書支払いを導入しました。携帯用プリンターから納付用バーコードを出力するシステム開発を開始しました。										
		R3	訪問催告業務において、携帯用プリンターから出力するコンビニ用納付書（納付用バーコード付）をその場で滞納者に手渡すことで、納付書発送業務の効率化に取り組みました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	タブレット端末と滞納者のスマホ決済サービスを活用したキャッシュレス収納については、現在契約している収納管理業者で対応できなかったことから携帯用プリンターから納付用バーコードを出力する方式に変更の上、導入しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和5年度の基幹システムの切替えに合わせて、納付方法の拡充や窓口のレジ機能の追加を進めます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	34	枝番	-	所管局	水道局	担当課	経営企画課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	水道施設アセットマネジメントの推進							取組み名	-				
取組内容	長期的な更新需要を見据えた事業費の平準化やライフサイクルコストの縮減を図るため、水道施設のデータ整備や水道施設情報管理システムを構築し、長期的な更新需要予測を行う水道施設のアセットマネジメントの取組みを推進していきます。												
目標	アセットマネジメントの考え方に基づく水道施設の適切な維持管理や計画的な更新・耐震化・統廃合を行うことにより、水道施設の長寿命化・効率化を図り、限られた財源を最大限に活用し、持続可能な水道を目指していきます。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 水道施設データの蓄積、水道施設情報管理システム構築に向けた検討 長期的な更新需要予測を作成し、次期基本計画へ反映 令和2年度～ 水道施設情報管理システムの構築・運用及び継続的な改善 アセットマネジメントによるライフサイクルコスト縮減への取り組み											
	(括弧は見込 実績・見込)	令和元年度 水道施設データの蓄積、水道施設情報管理システム構築に向けた検討 長期的な更新需要予測を作成し、次期基本計画へ反映 令和2年度 水道施設情報管理システムの具体的検討と仕様の決定 令和3年度 水道施設情報管理システムの構築開始 現行施設の使用年数等調査、管体調査による施設情報の収集・蓄積 管路の更新優先度評価等に基づく更新路線の選定											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	80年後を見据えた長期的な資産管理の考え方として「アセットマネジメントの方向性」を定め、令和2年度から始まる仙台市水道事業基本計画およびその実施計画である仙台市水道事業中期経営計画に反映させました。また、水道施設情報の電子化を進めるとともに、水道施設情報管理システム構築に向けた検討を行いました。										
		R2	水道施設の長期的な更新需要予測を行うために構築する水道施設情報管理システムについて具体的検討を行い、仕様を決定しました。										
		R3	水道施設情報管理システムの構築を開始しました。アセットマネジメントによるライフサイクルコスト縮減への取り組みとして、現行施設の使用年数等や管体調査を実施しました。管路の重要度、耐震性等を加味して総合的に更新優先度を評価し、更新路線の選定を行いました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	水道施設情報管理システムの構築を開始しました。また、施設の最適な更新時期を設定するための情報収集を行いました。管路の更新優先度評価等に基づき更新路線を選定しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和4年度内に水道施設情報管理システムを構築します。水道施設を客観的に把握・評価するとともに、中長期的な施設の状態を的確に見据え、これを基に適切な維持管理・更新を行うことでライフサイクルコストを縮減します。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	35	枝番	-	所管局	水道局	担当課	計画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	完了
実施項目	水道施設の将来構想の推進							取組み名	-				
取組内容	国見浄水場が今後10年程で更新時期を迎えることから、主要4浄水場をはじめとする主要施設の再構築（規模の適正化や効率的な再配置など）に関する検討を行い、施設運営のあり方とともに、水道施設の将来構想を具体化していきます。												
目標	令和元年度までに、主要施設の再構築計画を策定します。												
進捗状況	スケジュール	平成28年度～平成29年度 水需要推計 平成30年度～令和元年度 主要施設の再構築計画策定											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 水需要推計 平成29年度 水需要推計・主要施設の再構築検討 平成30年度 主要施設の再構築検討 令和元年度 主要施設の再構築構想策定											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	主要施設の再構築計画策定に向けて、適正な規模での施設配置計画を立案できるよう、概ね30年先までの水需要推計作業に着手しました。										
		H29	水需要推計作業が完了しました。 また、平成30年度から再構築計画策定を進められるよう、主要施設再構築検討に着手しました。										
		H30	主要施設再構築検討作業が完了しました。 また、お客様に給水する配水管のダウンサイジング（老朽管更新の際に口径を落とす）に係る検討に着手しました。										
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	アセットマネジメントの方向性と合わせて水道施設再構築構想を取りまとめました。										
		R2	配水管のダウンサイジング検討作業が完了しました。										
		R3											
目標達成状況			目標達成状況の説明 (根拠等)										
今後の進め方 (課題への対応)													
備考	令和2年度完了												

項目番号	1(1)	No.	35-2	枝番	-	所管局	水道局	担当課	計画課	プラン 掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	国見浄水場・中原浄水場の統合推進							取組み名	-				
取組内容	統合浄水場と関連する既存水道施設の改修などについても盛り込んだ整備計画を策定するとともに、既存国見導水路の共同所有者である塩竈市と浄水場の共同化について具体的な検討を行います。												
目標	老朽化した国見浄水場の更新時期に合わせ、国見浄水場と同様に大倉ダムを水源とし、耐震性に課題のある中原浄水場との統合更新を進めます。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 整備計画策定支援業務委託の発注 塩竈市との浄水場共同化に向けた具体的な検討											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和3年度 整備計画策定支援業務委託を発注 塩竈市との浄水場共同化に向けた具体的な検討											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2											
		R3	整備計画策定支援業務委託を発注・契約し検討を進めている。塩竈市とは浄水場の共同化に向けた協議を3回実施したほか、適宜連絡を取りながら具体的な検討を進めました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	スケジュール通り整備計画策定に向けた検討を進めることができました。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和4年度も引き続き検討を進め、年度内に整備計画を策定し公表する予定。令和5年度以降は整備計画で定めた事業スケジュールに則り事業を推進していきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	36	枝番	-	所管局	交通局	担当課	経営企画課・業務課・営業課	プラン掲載年度	H31(R1)	進行状況	継続
実施項目	市バス・地下鉄のお客様増加に向けた取組み								取組み名	-			
取組内容	市バス・地下鉄において、将来を見据えた安定的な経営基盤の確立や、誰もが利用しやすく分かりやすいサービス提供等の観点から、お客様増加に向けた取り組みを検討します。												
目標	お客様増加に向けた取り組みの検討を進め、実施します。												
進捗状況 (括弧は見込実績・見込)	スケジュール	<p>令和元年度～令和2年度 お客様増加に向けた方策を検討 愛好者の拡大を図るイベント等の取り組みを検討 新たな企画乗車券等を検討</p> <p>令和2年度～令和3年度 実現見通しのついた取り組みから順次実施</p>											
		<p>令和元年度 ・お客様増加に向けた方策の検討及び実施 ・愛好者の拡大を図るイベント等の取り組みを検討及び実施 ・企画乗車券の配布を実施 ・第29回宮城バスまつりへの参加（主催 公益社団法人 宮城県バス協会）</p> <p>令和2年度 ・お客様増加に向けた方策として、高校の合格者説明会でチラシを配布 ・愛好者の拡大を図るイベント等（タイアップ事業や東西線開業5周年記念事業等）の実施。 ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、第30回宮城バスまつりなどの一部の集客型イベントの開催やイベントへの出店は中止した。</p> <p>令和3年度 ・新たな企画乗車券等として、中学3年生卒業おめでとうきっぷの配布対象を拡大 ・愛好者の拡大を図るイベント等（タイアップ事業や「バス・ちか探検ツアー」等）の実施。 ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、第30回宮城バスまつりなどの一部の集客型イベントの開催やイベントへの出店は中止となった。 ・お客様増加に向けた方策として、高校・大学に対してチラシを配布。</p>											
単年度ごとの主な実績	H28												
	H29												
	H30												
	仙台市役所経営プラン	<p>H31(R1) 第29回宮城バスまつりへの参加、羽生結弦選手のポストカード付き地下鉄一日乗車券の販売、映画等とのタイアップによる駅構内を活用したスタンプラリーの実施、市内の中学校に在籍する3年生に対する市バス・地下鉄無料一日乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」の配付、大学や高校のオープンキャンパス入学者説明会における学都仙台フリーパスのチラシの配布など、お客様増加に向けた取り組みを実施しました。 10月に「バス・ちか祭り」の開催を予定していましたが、台風の影響で開催することができませんでした。</p> <p>R2 映画等とのタイアップによる駅構内を活用したクイズラリーや地下鉄東西線開業5周年記念事業の実施、仙台市内と近隣自治体（名取市・多賀城市・富谷市）の中学校に在籍する3年生に対する市バス・地下鉄無料一日乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」の配付、高校が実施する合格者説明会における学都仙台フリーパスのチラシの配布など、お客様増加に向けた取り組みを実施しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により一部の集客型イベントの開催やイベントへの出店は中止しました。</p> <p>R3 市バスと地下鉄のバックヤードを紹介する動画の公開、事前応募による施設見学方式での「バス・ちか探検ツアー」の実施、仙台市内と近隣自治体（名取市・多賀城市・富谷市）の中学校に在籍する3年生に対する市バス・地下鉄無料一日乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」の配付、高校・大学を対象に新年度に向けた学都仙台フリーパスのチラシの配布など、お客様増加に向けた取り組みを実施しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により第30回宮城バスまつりなどの一部の集客型イベントの開催やイベントへの出店は中止となりました。</p>											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	新型コロナウイルス感染症のため、宮城バスまつりは中止となりましたが、感染対策に留意して一部の集客型イベントを実施したほか、市バスや地下鉄のバックヤードを紹介する動画公開等のコロナ禍で実施可能な方法により、市バス・地下鉄のお客様増加に向けた取り組みを実施しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和3年度の宮城バスまつりは新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止となりましたが、令和4年度以降、開催される際には協会員として参加し祭りを盛り上げ、公共交通機関であるバスに、より親しんでもらい、利用促進につながるよう取り組みます。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により乗車人員は減少しており、誘客イベントについても感染状況により中止にせざるを得ない状況にありますが、引き続きお客様増加に向けた取り組みの検討を進め、実施していきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	37	枝番	-	所管局	交通局	担当課	経営企画課・ 営業課・整備 課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	時代に即した様々な仕組みで全ての世 代に届く市バス・地下鉄情報の提供							取組み名	-				
取組内容	お客様が市バス・地下鉄をより利用しやすくなるよう、情報提供機能を強化します。												
目 標	お客様にタイムリーな情報発信をできる仕組みを検討し、運用を開始します。 また、市バスの行先表示器の更新にあたり、表示方法等を検討します。												
進 捗 状 況	スケジュール	令和元年度 新たな情報発信の仕組みを検討 令和元年度～令和2年度 バス車両の行先表示器の表示方式や、表示色、表示言語等を検討 令和2年度 新たな情報発信手段を運用開始											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 関係課とバス車両のLED行先表示器の表示内容や表示色等について協議 令和2年度 新たな情報発信手段としてTwitterの運用を開始 令和3年度 バス車両のLED行先表示器の仕様を確認し、令和3年度からの5カ年での更新 について決定 長町営業所所属及び令和3年度購入バス車両のLED行先表示器を更新											
単 年 度 ご と の 主 な 実 績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
仙 台 市 役 所 経 営 プ ラ ン	H31 (R1)	更新するバス車両のLED行先表示器は、高輝度で高視野角の白色LEDを採用し、従来より明度差も大きく視認性に優れた機器に更新する方針を決定しました。 Twitterでの情報発信を本格的に開始するとともに、ウェブサイト、市バス・地下鉄かわらばん「のるっちゃ」を活用し、イベント情報等の発信を行いました。											
	R2	現在使用しているバスシステムの既存設備に対し、他社製のLED行先表示器の互換性について確認するとともに、令和3年度からの5カ年で更新するための予算措置を行いました。 Twitter、ウェブサイト、市バス・地下鉄かわらばん「のるっちゃ」を活用し、情報発信を継続して行いました。Twitterにより、新型コロナウイルス感染症対策として、分散乗車の呼びかけや市バス・地下鉄車内の混雑状況をお知らせしたほか、3月20日の地震では、運転見合わせから運転再開までの状況を随時公表するなど、幅広く情報発信を行いました。											
	R3	コストを含めた検討結果から既存システムの業者と契約し、長町営業所所属及び令和3年度に購入したバス車両へ、白色LEDを使用した行先表示器、計75台を設置しました。 Twitter、ウェブサイト、市バス・地下鉄かわらばん「のるっちゃ」を活用し、情報発信を継続して行いました。また、Twitterを活用し、新型コロナウイルス感染症対策として、分散乗車の呼びかけや地下鉄車内の混雑状況をお知らせしたほか、地震や車両故障等で運転を見合わせた際は、運転再開までの状況を随時公表するなど、幅広く情報発信をすることができました。											
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	バス車両、計75両に白色LEDを使用した行先表示器を設置しました。 Twitter等を活用し局情報を継続して発信することで情報提供の強化を図りました。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和4年度分(実況営業所・七北田出張所及び購入車両)のバス車両LED行先表示器の更新を行います。 引き続きお客様にタイムリーな情報発信ができる取り組みの検討を進め、実施します。												
備 考													

項目番号	1(1)	No.	38	枝番	-	所管局	交通局	担当課	施設課・車両課・整備課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	市バス・地下鉄施設等の総合マネジメントの推進								取組み名	-			
取組内容	市バス・地下鉄における施設等の維持管理や、お客様の快適な利用を目指して、費用の平準化を図りながら予防保全工事や改修・更新を行い、施設等の機能維持・向上を図ります。												
目標	令和2年度までに、南北線の駅トイレの全面改修を行うとともに、トンネルや駅舎等の維持補修計画を策定します。また、南北線の車両の更新についても検討を行います。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 駅舎等の建築物について耐久性（健全度）調査を実施 令和元年度～令和3年度 南北線駅トイレの全面改修 令和2年度までに トンネルや駅舎等の維持補修計画を策定 令和2年度～令和4年度 南北線新型車両の詳細仕様を検討 令和元年度～令和3年度 バスの車両更新等を実施 令和3年度～ 次期計画（仙台市交通事業経営計画）の実施											
	実績・見込	令和元年度 建築物の耐久性（健全度）調査の実施 南北線駅トイレの改修工事の実施（5駅） 南北線新型車両の製造請負契約を締結 バスの車両更新を実施 令和2年度 南北線駅トイレの改修工事の実施（4駅） 南北線新型車両の詳細仕様を検討 バスの車両更新を実施 令和3年度 仙台市交通局高速鉄道施設維持管理計画を作成 南北線駅トイレの改修工事の実施（3駅） 南北線新型車両のデザインを決定したほか、詳細仕様を検討 バスの車両更新を実施											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	地下鉄南北線土木構造物の健全度を調査しました。										
		H29	地下鉄南北線土木構造物及び建築物（一部）の健全度を調査しました。地下鉄構造物維持補修計画の策定に着手しました。										
		H30	地下鉄南北線建築物の耐久性（健全度）調査を実施しました。										
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両、25両を更新しました。 ・地下鉄南北線建築物の耐久性（健全度）調査を実施しました。 ・南北線駅トイレの改修工事を実施しました（5駅）。 ・地下鉄南北線新型車両の製造請負契約を締結しました。 										
	R2	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両、25両を更新しました。 ・南北線駅トイレの改修工事を実施しました（4駅）。 ・南北線新型車両の詳細仕様を検討しました。 											
	R3	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両、25両を更新しました。 ・仙台市交通局高速鉄道施設維持管理計画を作成しました。 ・南北線駅トイレの改修工事を実施し（3駅）、全駅の改修工事が完了しました。 ・南北線新型車両のデザインを決定したほか、詳細仕様を検討しました。 											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	バス車両については、25両の車両更新を実施しました。また、仙台市交通局高速鉄道施設維持管理計画を作成した他、南北線駅トイレの改修工事は全駅完了しました。南北線車両更新については、令和3年5月にデザインを公表するなど、詳細仕様の検討を進めました。									
今後の進め方（課題への対応）	令和4年度に予定しているバス車両（25両）の更新については計画通りに実施します。また地下鉄施設の予防保全工事、改修・更新工事に計画的に取り組む他、南北線車両更新については、引き続き詳細仕様の検討を進めていきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	39	枝番	1	所管局	交通局	担当課	輸送課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続	
実施項目	お客様サービス向上に向けた取組み							取組み名	利用状況に応じた適正なサービス供給の検討					
取組内容	<p>現行の経営改善計画の下、全市的な観点から現行サービスの利用状況などを分析し、採算性も踏まえた運行経路・本数の見直しや、行政との役割分担等について検討を行います。</p>													
目標	<p>現行サービスの見直しを検討します。</p>													
進捗状況	スケジュール	<p>平成28年度～平成29年度 東西線開業後の利用状況の集計・分析 仙台市自動車運送事業経営改善計画（平成29年度～令和3年度）に基づく 収支改善目標を策定平成30年4月ダイヤ改正における減便対象の検討 平成30年度 営業キロ約2.5%の削減（平成30年4月ダイヤ改正） 実施状況の分析 令和2年度 営業キロ約2.5%の削減（令和2年4月ダイヤ改正） 令和3年度 営業キロ約2.6%の削減（令和3年4月ダイヤ改正）</p>												
	実績・見込 (括弧は見込)	<p>平成28年度 東西線開業後の利用状況の集計・分析 平成29年度 仙台市自動車運送事業経営改善計画（平成29年度～平成33年度）に基づく収支改善目標（運賃見直し等3%、事業量削減5%）を策定 平成30年4月のダイヤ改正における減便対象の検討 平成30年度 営業キロ約2.5%の削減（平成30年4月ダイヤ改正） 平成31年4月のダイヤ改正（経路変更等）の検討 令和元年度 令和2年4月のダイヤ改正における減便対象検討 令和2年度 令和3年4月のダイヤ改正における減便対象検討 令和3年度 営業キロ約2.6%の削減（令和3年4月ダイヤ改正）</p>												
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28	東西線開業後の系統毎の利用状況を集計・分析し、現行サービスの検証を行いました。											
		H29	系統ごとの利用状況を集計・分析し、平成30年4月のダイヤ改正における減便対象の検討を行いました。											
		H30	平成30年4月のダイヤ改正で減便を実施し、営業キロ約2.5%の削減を行いました。											
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	系統ごとの利用状況を集計・分析し、令和2年4月ダイヤ改正における減便対象の検討を行い、営業キロを2.5%削減するダイヤを作成しました。											
		R2	系統ごとの利用状況を集計・分析し、令和3年4月ダイヤ改正における減便対象の検討を行い、営業キロを2.6%削減するダイヤを作成しました。											
		R3	令和3年4月のダイヤ改正で減便を実施し、営業キロ約2.6%の削減を行いました。											
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	計画通り、系統ごとの利用状況を集計・分析し、令和3年4月ダイヤ改正で減便を行い、営業キロ約2.6%の削減を行いました。（令和3年4月実施）										
今後の進め方 (課題への対応)	ダイヤ改正後の利用状況などを分析し、引続き採算性も踏まえた運行経路・本数の見直しや、行政との役割分担等について検討を行います。													
備考														

項目番号	1(1)	No.	39-2	枝番	-	所管局	交通局	担当課	営業課	プラン 掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	地下鉄駅業務委託拡大の検討							取組み名	-				
取組内容	令和3年度当初で南北線10駅、東西線10駅の委託を実施している駅業務について、委託対象駅の拡大を検討します。												
目標	将来にわたり、高速鉄道事業（地下鉄事業）を安定的に運営していくために、更なる経営効率化を目指します。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 運輸職員の状況確認 令和3年度～ 拡大の可否に係る検討の実施											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和3年度 運輸職員の状況確認 令和3年度～ 拡大の可否に係る検討の実施											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)											
		R2											
		R3	運輸職員の新規採用計画や退職者数など今後の人員計画を調査し、委託駅の更なる拡大についての方向性等を検討しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	運輸職員の今後の人員計画を調査し、委託駅の更なる拡大について検討を行いました。									
今後の進め方 (課題への対応)	拡大対象駅を選定するとともに、今後の人員計画を踏まえた拡大開始時期等の検討を進めていきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	40	枝番	-	所管局	ガス局	担当課	民営化推進室	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	ガス事業の民営化							取組み名	-				
取組内容	電力・ガスの自由化に伴い、仙台市ガス事業の経営環境はますます厳しくなっていくことが想定されることから、ガス事業の持続的な発展のため、より機動的で柔軟な経営が可能となる民間の経営に委ねることが必要であり、公募条件や民営化手法を再検討するなど、民営化の取り組みを推進します。												
目標	電力・ガス自由化に伴う競争環境の変化に的確に対応し、更なる市民サービスの向上や地域経済の活性化を図るため、民営化の取り組みを推進します。												
進捗状況	スケジュール	令和2年度 事業継承者募集要項公表・募集開始 令和3年度 事業譲渡契約締結・事業引継 令和4年度 事業譲渡											
	(括弧は実績・見込)	令和元年度 「仙台市ガス事業民営化推進委員会」の設置 委員会から民営化の基本的な考え方等についての答申書を受理 「仙台市ガス事業民営化計画」の策定 令和2年度 委員会から民営化に関する募集要項についての答申書を受理 仙台市ガス事業民営化に関する事業継承者の公募開始 令和3年度 応募者から提案審査書類を受理 委員会から最優秀提案者の該当なしとする答申書を受理 本市として優先交渉権者の該当なしと決定 仙台市ガス事業民営化に係る検証を実施											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	仙台市域で事業展開を行う可能性があるエネルギー事業者等との意見交換を行いました。また、民営化については、企業価値を高めていく取組みが不可欠という認識のもと、強固な経営基盤の確立に向けて各般の経営改善に努めました。										
		H29	仙台市域で事業展開を行う可能性があるエネルギー事業者等との意見交換を行いました。また、民営化については、企業価値を高めていく取組みが不可欠という認識のもと、家庭用需要における都市ガス採用率の向上及び他エネルギーへの離脱防止対策の推進等、強固な経営基盤の確立に向けた経営改善に努めました。										
		H30	仙台市域で事業展開を行う可能性があるエネルギー事業者等との意見交換を行いました。また、民営化については、企業価値を高めていく取組みが不可欠という認識のもと、強固な経営基盤の確立に向けて各般の経営改善に努めました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	令和元年7月、外部有識者で構成される「仙台市ガス事業民営化推進委員会」を設置しました。令和元年12月、委員会から民営化の基本的な考え方や具体的手法についての答申書が提出され、答申を踏まえ、「仙台市ガス事業民営化計画」を策定しました。										
		R2	令和2年8月、仙台市ガス事業民営化推進委員会より、民営化に関する募集要項についての検討結果として第二次答申書が提出されました。令和2年9月、仙台市ガス事業民営化に関する事業継承者の公募を開始しました。										
		R3	令和3年6月、応募者から提案審査書類の提出があり、仙台市ガス事業民営化推進委員会において審査を行った結果、令和3年9月、同委員会から最優秀提案者の該当なしとする第三次答申書が提出されました。また、同月、本市として優先交渉権者の該当なしと決定しています。令和3年12月から令和4年3月にかけて、仙台市ガス事業民営化の公募プロセスに係る検証を実施しました。										
目標達成状況	△		目標達成状況の説明(根拠等)	令和2年度から実施した公募においては、優先交渉権者の決定には至らなかったものの、その後の検証作業によって、次期公募に向けて改善をすべき事項を把握し、今後の方向性を整理しました。									
今後の進め方(課題への対応)	ガス事業を取り巻く環境の変化を的確に見定めるとともに、令和3年度に実施した検証作業の結果等を踏まえて、民間事業者との意見交換を行い、事業者の動向を把握しながら、次期公募の進め方や公募条件等について整理を行うなど、民営化の取り組みをさらに推進します。												
備考													

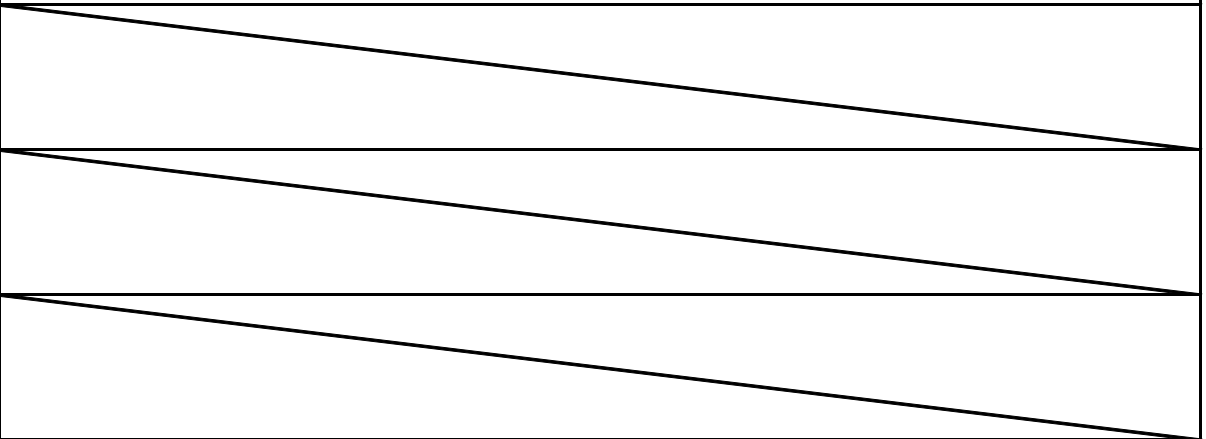
項目番号	1(1)	No.	41	枝番	-	所管局	ガス局	担当課	供給企画課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	完了
実施項目	マッピングシステムの機能向上による業務効率化の推進							取組み名	-				
取組内容	埋設されたガス導管の種類、埋設状況及びガス供給設備を表示できるマッピングシステムについて、新たな機能の検討及び各種情報表示機能の追加等を行うとともに、その効果の検証、操作性向上に取り組むことで、業務効率化・保安の維持向上を図ります。												
目標	機能の追加及び操作性向上等により、ガス管の埋設状況等の早期把握を可能とし、災害等の緊急時における迅速な対応の実現化を目指します。 住宅地図データと連携した検索機能により、迅速かつ確かな位置検索を可能とし、作業の効率化を図ります。 埋蔵文化財表示機能により、ガス工事における届出が必要な範囲の早期把握や作業の効率化を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 サーバー更新 他の地図情報システムと情報共有・連携が行える環境の構築 災害ブロックデータ出力機能による災害対応力向上への取組み推進 令和2年度～ マッピングシステムを活用する部署からのヒアリング及び協議を行いながら、業務効率化・保安維持向上につながる機能の追加、効果の検証等を行う											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 サーバー更新が完了しました。 他の地図情報システムと情報共有・連携が行える環境の構築を完了しました。 災害ブロックデータ出力機能による災害対応力向上への取組み推進を行いました。 令和2年度 活用する部署と協議を行い、必要な機能の追加・更新を行いました。 ・モバイルマッピングシステム、不使用灯外内管を管理する機能、災害時故障箇所入力・表示機能 令和3年度 被害想定等に利用する想定地震データおよび地盤データ等の取込み環境構築 ・ハザードマップデータ追加 ・地盤データおよび想定地震データ新規追加											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	サーバー更新が完了しました。 他の地図情報システムと情報共有・連携が行える環境の構築を完了しました。 災害ブロックデータ出力機能による災害対応力向上への取組み推進を行いました。										
		R2	活用する部署と協議を行い、必要な機能の追加・更新を行いました。 ・モバイルマッピングシステム、不使用灯外内管を管理する機能、災害時故障箇所入力・表示機能										
		R3	被害想定等に利用する想定地震データおよび地盤データ等の取込み環境構築 ・ハザードマップデータ追加 ・地盤データおよび想定地震データ新規追加										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	活用する部署との協議を行い、必要な機能を追加することができたので、目標達成されていると考えます。									
今後の進め方 (課題への対応)													
備考	令和3年度完了												

項目番号	1(1)	No.	42	枝番	1	所管局	ガス局	担当課	総務課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	完了
実施項目	ガス事業の経営基盤の強化に向けた取組み							取組み名	効率的・安定的な組織運営体制の構築				
取組内容	ガスシステム改革に的確に対応し、経営基盤の強化を図るとともに技術・経験を確実に継承していくなど、効率的・安定的なガス事業の組織運営体制を構築します。												
目標	事業や人員配置の見直し等を不断に行うことにより、効率的・安定的な組織運営体制を構築します。												
進捗状況	スケジュール	平成28年度 ガスシステム改革を見据えた組織運営体制の検討・構築 平成29年度 改革実施後の体制を検証し、必要に応じた見直しの実施 令和元年度～ 事業や人員配置の見直し等を不断に行い、効率的・安定的な組織運営体制の構築											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 組織改正及び業務見直しによる職員減員の実施 平成29年度 同上 平成30年度 同上 令和元年度 同上 令和2年度 同上 令和3年度 同上											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	平成28年度当初において、地域営業業務・保安業務の集約化等の組織改正を実施しました。あわせて、経営基盤の強化に向け、業務の見直し等により、平成27年度当初から職員16名の減員を実施しました。										
		H29	平成29年度当初において、ガスシステム改革へ対応した組織改正を実施しました。あわせて、経営基盤の強化に向け、業務の見直し等により、平成28年度当初から職員7名の減員を実施しました。										
		H30	平成30年度当初において、経営部門の業務効率化を図るための組織改正を実施しました。あわせて、経営基盤の強化に向け、業務の見直し等により、平成29年度当初から職員1名の減員を実施しました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	令和元年度当初において、導管部門の業務効率化を図るための組織改正を実施しました。										
		R2	令和2年度当初において、ガス事業の民営化に向けた具体的な取り組みの推進のための組織改正を実施しました。										
R3	令和3年度当初において、ガス事業の民営化に向けた業務効率化と人員配置を行いました。												
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	各年度ごとに事業や人員配置について見直しを行い、上記の目標は概ね達成されたものと考えます。									
今後の進め方 (課題への対応)	/												
備考	令和3年度完了												

項目番号	1(1)	No.	42	枝番	2	所管局	ガス局	担当課	経営企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	完了	
実施項目	ガス事業の経営基盤の強化に向けた取組み							取組み名	各種業務委託内容等の見直し					
取組内容	業務内容を継続的に見直すことにより、業務の効率化と委託費用の縮減に努めます。													
目 標	業務の効率化を継続的に行っていくことで、経営基盤の強化を図ります。													
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。												
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度～令和3年度 お客さまセンターにおける電話受付対応業務について、随意契約から一般競争入札による業者選定に切り替えたことにより、委託費用を縮減することができました。												
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	お客さまセンター電話受付対応業務について、委託費用を削減することができました。											
		H29												
		H30												
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	お客さまセンター電話受付対応業務について、委託費用を削減することができました。											
		R2	お客さまセンター電話受付対応業務について、委託費用を削減することができました。											
		R3	お客さまセンター電話受付対応業務について、委託費用を削減することができました。											
単年度ごとの 効果試算 (百万円)								H28	H29	H30	R1	R2	R3	
効果試算額								38	38	38	26	16	16	
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	委託費用の縮減について、一定の成果がありました。										
今後の進め方 (課題への対応)														
備 考	令和3年度完了													

項目番号	1(1)	No.	43	枝番	-	所管局	ガス局	担当課	財務課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	完了	
実施項目	ガス局保有の未利用地等の有効活用							取組み名	-					
取組内容	未利用地等の売却や有償貸付等を進め、保有資産の現金化を推進し収入の確保を図ります。													
目標	ガス局保有の未利用地等の売却や有償貸付等により、令和3年度までに累計で約2億5千万円の収入の確保を図ります。													
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。												
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	売却、貸付	合計収入	158.7百万円									
		平成29年度	売却、貸付	合計収入	15百万円									
		平成30年度	売却、貸付	合計収入	8百万円									
		令和元年度	売却、貸付	合計収入	13百万円									
		令和2年度	売却、貸付	合計収入	10百万円									
		令和3年度	売却、貸付	合計収入	11百万円									
数値目標		説明			H28	H29	H30	R1	R2	R3				
	見込	単年度収入額												
		累計収入額												
	実績	単年度収入額			159百万円	15百万円	8百万円	13百万円	10百万円	11百万円				
		累計収入額			159百万円	174百万円	182百万円	195百万円	205百万円	216百万円				
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	売却3件及び有償貸付3件											
		H29	売却0件及び有償貸付7件											
		H30	売却1件及び有償貸付8件											
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	売却0件及び有償貸付12件											
		R2	売却0件及び有償貸付11件											
		R3	売却0件及び有償貸付11件											
	単年度ごとの 効果試算 (百万円)	効果試算額			H28	H29	H30	R1	R2	R3				
				159	15	8	13	10	11					
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	有償貸付の継続により、概ね目標を達成することができた。										
今後の進め方 (課題への対応)														
備考	令和3年度完了													

項目番号	1(1)	No.	44	枝番	-	所管局	市立病院	担当課	総務課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	完了
実施項目	患者サービス向上に向けた待遇改善							取組み名	-				
取組内容	患者等からの苦情要望対応窓口を一本化するとともに、寄せられた苦情要望の現場へのフィードバック方法を改善します。 待遇力アップに向けた研修を強化し、患者満足度の向上を図ります。												
目標	令和2年度に苦情対応窓口を一本化します。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 苦情対応窓口一本化に向けた検討 待遇研修メニューの検討 令和2年度 苦情対応窓口の一本化 待遇力アップ研修の実施											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 先進事例等の情報収集 院内苦情対応フローや待遇教育内容の検討 令和2年度 院内苦情対応窓口ワーキンググループの実施 令和3年10月より総合サポートセンターに窓口を一本化することを決定 各種マニュアルや要綱等を整備 令和3年度 窓口専属の相談員を3名採用 窓口の名称を「医療相談・対話推進窓口」とし、10月より開設											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	他院における先進事例等の情報収集のため、川崎市立川崎病院や神奈川県立がんセンターを視察しました。また、年度内に3回のワーキンググループを開催し、院内苦情対応フローや待遇教育の内容につき、検討を進めました。										
		R2	年度内に2回のワーキンググループを開催し、総合サポートセンターに窓口を一本化することを決定しました。また、各種マニュアルや要綱案を作成するとともに、窓口専属の相談員の募集を開始しました。										
		R3	令和3年5月に3名の窓口専属の相談員（メディエーター）を採用し、研修を実施した後、10月より総合サポートセンター医療福祉相談室内に「医療相談・対話推進窓口」を開設しました。										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	苦情要望に対応する窓口を一本化することができました。									
今後の進め方 (課題への対応)													
備考	令和3年度完了												

項目番号	1(1)	No.	45	枝番	-	所管局	市立病院	担当課	経営医事課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	診療報酬請求の精度向上による 医業収益の拡大							取組み名	-				
取組内容	医業収益の拡大を図るため、診療報酬請求業務の精度向上に向けて取り組みます。												
目標	民間事業者への委託により実施している診療報酬請求時のレセプト点検を、人のみの点検に加え、民間事業者が持つレセプトチェックシステムによる点検を新たに行います。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 委託事業者と導入に向けた協議検討・試験実施 令和2年度～ 本格実施											
	実績・見込	令和元年度	診療報酬請求査定率（全体）0.15%										
		令和2年度	診療報酬請求査定率（全体）0.12%										
		令和3年度	診療報酬請求査定率（全体）0.09%										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	令和2年度より実地予定であったレセプトチェックシステムによる点検を、令和元年度途中から前倒して開始することで、病名等不備の事務的な漏れによる査定を、前年度比215件、1,760千円減少させることができました。一方で、算定の要件が多義的で解釈に委ねられている診療報酬項目において、従前まで認められていた一部の高額な診療報酬項目査定が増えたことにより、査定率の減少には至りませんでした。										
	R2	前倒してレセプトチェックシステムによる点検を開始し、過去の査定内容に関してシステムに順次登録を行うことで「病名等不備の事務的な漏れによる査定」を防止する取り組みを行いました。が、昨年度と比較すると、査定件数と査定額の両方で増加となりました。その一方で、高額な診療報酬項目の査定は減少したことにより、全体の査定額は約450万円の減少となりました。											
	R3	「病名等不備の事務的な漏れによる査定」については昨年度までの実績と比較すると、査定件数と査定額両方で増加となったものの、全体の査定額としては約350万円の減少となり、全体の査定率も減少傾向となっております。引き続きレセプトチェックシステム等を用いた点検の精度向上に努めてまいります。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	レセプトチェックシステムによる点検を、令和元年度途中から前倒して開始することができ、令和3年度までにおいては、全体の査定額について減少させることができました。									
今後の進め方 (課題への対応)	引き続きレセプトチェックシステムに過去の査定内容を順次登録し精度を高めることで、病名の不備等の事務的な漏れによる査定をさらに減少させていきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	46	枝番	-	所管局	市立病院	担当課	経営医事課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	医業収益拡大による病院経営基盤の強化							取組み名	-				
取組内容	今後の医療需要や地域拠点医療機関として求められる役割、また総務省が示す「新公立病院改革ガイドライン」を踏まえ、次期「仙台市公立病院改革プラン」の策定について検討するとともに、プランの実実施計画となる次期「仙台市立病院経営計画」については「仙台市公立病院改革プラン」の策定状況等を踏まえ判断します。												
目標	「仙台市公立病院改革プラン」及び「仙台市立病院経営計画」の策定を通じ、患者の確保と医業収益の拡大を図り、経営基盤の強化に取り組みます。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 「新公立病院改革ガイドライン」が公表され次第、次期「仙台市公立病院改革プラン」の策定に向けた検討を行います。 また、次期「仙台市立病院経営計画」については「仙台市公立病院改革プラン」の策定状況等を踏まえ判断します。											
	実績・見込	<p>平成28年度 「仙台市公立病院改革プラン2017」策定</p> <p>平成29年度 「仙台市公立病院改革プラン2017」に掲げた各種取り組みの推進、進捗管理</p> <p>平成30年度 「仙台市公立病院改革プラン2017」のアクションプランとなる「仙台市立病院経営計画（2018～2020年度）」を策定</p> <p>令和元年度 「仙台市公立病院改革プラン2017」に掲げた各種取り組みの推進、進捗管理</p> <p>令和2年度 「仙台市公立病院改革プラン2017」に掲げた各種取り組みの推進、進捗管理</p> <p>令和3年度 「仙台市立病院経営計画（2018～2020年度）」【2021年度延長版】を策定</p> <p>令和3年度 「仙台市立病院経営計画（2022～2024年度）」※を策定</p> <p>※「仙台市立病院経営計画（2018年度～2020年度）」【2021年度延長版】の後継計画として位置付けられるものである。なお、総務省は2022年3月に「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を公表し、各自治体に対して、2022～2023年度中に新たな「公立病院経営強化プラン」を策定するよう求めている。今後、仙台市において策定される当該プランの内容を踏まえ本計画の見直しも検討し、経営強化を進めていく。</p>											
単年度ごとの主な実績	仙台市役所経営プラン	仙台市行政財政改革推進プラン2016	H28	外部有識者で構成する「仙台市公立病院改革プラン検討委員会」を設置し、計4回の委員会開催により広く客観的な意見を取り入れながら、「仙台市公立病院改革プラン2017」を策定しました。									
		H29	<ul style="list-style-type: none"> 一般病床稼働率を上げる各般の取り組みを行ったことにより、入院患者数が前年度を上回る稼働となり、医業収益も前年度比で約5億円の増収となりました。 外部有識者で構成する「仙台市立病院経営評価委員会」を新設しました。委員会を2回開催し、改革プランの実施状況についての点検・評価を行いました。 										
		H30	「仙台市公立病院改革プラン2017」のアクションプランとなる「仙台市立病院経営計画（2018～2020年度）」を策定しました。今年度は診療報酬改定の影響もさることながら、稼働率向上等の格段の取り組みを行なったことにより、前年度を上回る稼働率および診療単価の増が図られました。その結果、改革プラン2017の計画を上回る医業収益となりました。										
		H31(R1)	病床および手術室の効率効果的な活用に向け「病床管理の一元化」や「手術室の平日日中7列稼働」等に取り組み、入院患者数の増加による床稼働率の向上および手術件数が増加しました。また、外来診療では、化学療法や放射線治療などの高度医療の提供等により外来診療単価が上昇したことで、外来収益が大幅に増加しました。その結果、医業収益は前年度比約3億9000万円増加となり、経営計画および改革プラン2017の計画を上回る結果となりました。										
R2	令和2年度診療報酬改定で新たに示された加算や、既存の加算については上位基準を満たすための取組みを行ったことで、DPC係数が上昇し入院診療単価の上昇に繋がりました。外来診療では、化学療法や放射線治療などの高度医療提供の増加等により更に外来診療単価が上昇しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、特に上半期は患者数が大幅に減少し、医業収益は前年度比約7億3000万円減少となる見込みですが、経営計画及び改革プラン2017の数値目標については、これまでの各種取組みにより医業収益の底上げが図られたことで、目標を上回るものと思われる。												
	R3	入院期間（在院日数）の適正化や、抗がん剤治療、放射線治療などの高度医療提供の増加等により、患者一人当たりの診療単価は上昇したものの、感染症拡大に伴い、感染症患者の受け入れを強化するべく、病棟閉鎖等による診療制限を行ったため、患者数が減少し、医業収益は計画を下回りました。 現金預金残高は、新型コロナウイルス感染症患者受入れに伴う国・県の財政支援（補助金）により確保することができました。											
目標達成状況	△		目標達成状況の説明（根拠等）	医業収益については、前年度よりは増加したものの、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う病床確保等の診療制限により、経営計画に掲げる目標の達成にはいたりませんでした。									
今後の進め方（課題への対応）	新型コロナウイルス感染症によって安定的な収益の確保は依然難しい状況にありますが、新たな経営計画の目標達成のため各種取り組みを実施していきます。												
備考													

項目番号	1(1)	No.	47	枝番	-	所管局	市立病院	担当課	財産管理課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	医療機器の効率的・効果的な活用に向けたマネジメントの推進							取組み名	-				
取組内容	新病院開院時に更新した医療機器について、計画的な維持・更新や共有化を推進することを内容とする、医療機器の総合的なマネジメントを導入します。												
目標	令和元年度に、院内の医療機器のマネジメント計画を策定し、効率的・効果的な維持・更新等に活用します。												
進捗状況	スケジュール	平成30年度 院内の医療機器情報の集約、計画策定 令和元年度～ 計画的な維持・更新等に活用											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 院内の医療機器の全体像を把握するための準備に着手 平成29年度 全体像を把握するための準備、及び総合的なマネジメント導入に向けた体制の整備 平成30年度 全体像の把握、マネジメント計画策定、院内の医療機器の情報の集約 令和元年度 集約した情報を活用し、院内医療機器の効果的な維持・更新等開始 令和2年度 情報の定期的な更新（加除修正）を行い、医療機器の整備や更新を検討する基礎資料として活用 令和3年度 令和5年度以降の中長期医療機器更新計画の策定手法について検討し、業務委託に必要な予算を確保											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	院内の医療機器の全体像を把握のための準備に着手しました。										
		H29	院内の医療機器の全体像把握のための準備とともに、総合的なマネジメント導入の本格化に向け、体制整備の検討を行い、平成30年4月1日より新たに財産管理課（医療管財係）を設置することとしました。										
		H30	院内の医療機器の全体像把握のため、実地調査を業務委託により実施し、情報の集約を行いました。										
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	集約した情報の精査を行うとともに、医療機器の購入時や廃棄時に必要な様式や手順を定め、院内全体への周知を行い、情報の加除修正の本運用を開始しました。 また、機器整備の検討の際の基礎資料として、情報の活用を開始しました。										
		R2	情報の定期的な更新（加除修正）を行い、次年度以降の計画的な医療機器整備や更新を検討するための基礎資料として活用しました。										
	R3	令和5年度以降の中長期医療機器更新計画の策定について検討し、業務委託に必要な予算を確保するとともにスケジュールを調整した。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)		計画的な維持・更新等に必要の情報項目の検討や運用方法の検討等に時間を要し当初の予定より遅延しましたが、平成30年度に体制を整備し実地調査により情報の集約を行い、令和元年度に内容の精査を完了しました。以後は集約した情報の更新を継続しており、今後、この情報を基礎資料として計画的に整備更新を行っていきます。								
今後の進め方 (課題への対応)	定期的な院内周知や情報の加除修正漏れ等の確認、現地調査を行い、情報の正確性を確保します。 新病院開院から9年目となる令和5年度からの中長期医療機器更新計画を令和4年度上半期には策定し、計画的に整備更新を行います。												
備考													

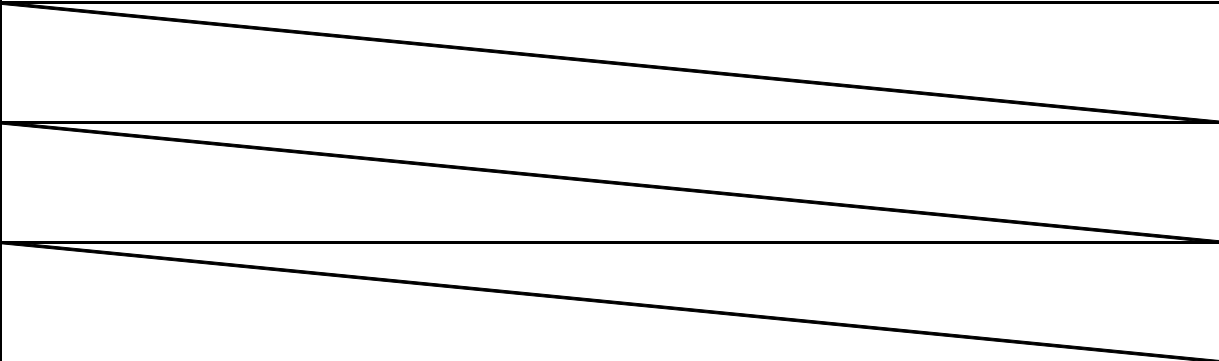
項目番号	1(2)	No.	48	枝番	-	所管局	まちづくり 政策局	担当課	行政デジタル 推進課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	AI等の利活用の推進							取組み名	-				
取組内容	技術進展の動向や先進事例などの情報収集を積極的に行うとともに、実証により本市業務への適用可能性や課題の検証を行い、有効性が確認されたものについては本導入を検討するなど、AI等の新たな技術の効果的な利活用を推進します。												
目標	事務の正確性や迅速性を高め、市民サービスの向上と職員負担の軽減などを図るため、AI等の利活用を推進します。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 実証実験の検討・実施・導入検討 AI等先端技術の業務への導入促進											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 滞納整理業務においてAIを活用 AI等の動向、事例についての調査・研究 令和2年度 AI議事録作成支援システムを試行導入 ※AI-OCRについては RPA業務に吸収 令和3年度 クラウド版のAI議事録作成支援システムの動向・事例について調査・研究 (令和4年度 庁内業務効率化等に資する事例についての調査・研究)											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	滞納整理業務においてAIを活用した電話催告を実施 AI等の動向、事例についての調査・研究										
		R2	AI議事録作成支援システムを試行導入し、利用課へのアンケートを行ったところ、1回あたりの議事録作成にかかる時間が平均で約3時間程度短縮されたことがわかり、AI議事録作成支援システムの導入が有効と判断した。そのため、令和3年度にAI議事録作成支援システムを本格導入する方針としました。										
		R3	令和2年度に試行導入した議事録作成支援システムを本格導入した。1台では庁内需要に対し不足することが判明したことから、2台に増台した。クラウド型製品の導入についても検討したが、要求仕様を満たす製品が存在しなかったことから、令和4年度以降も引き続きスタンドアロン型製品を利用する方針としました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	本格導入したAI議事録作成支援システムについて、庁内での認知度も上がり、更なる業務効率化につながりました。									
今後の進め方 (課題への対応)	現在本市が利用しているAI議事録作成支援システムはスタンドアロン型であることから、専用端末の貸出に係る移動時間等が発生するという課題があります。より気軽に利用できる環境を整備するため、増台やクラウド型製品の導入に係る検討を進めます。 議事録作成支援システム以外のAI導入の検討にあたっては、導入によって得られる効果等を十分に検討し、「AIの導入」自体が目的とならないよう留意しながら進めます。												
備考													

項目番号	1(2)	No.	49	枝番	-	所管局	まちづくり 政策局	担当課	情報システム 課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	RPAの導入及び利活用の推進							取組み名	-				
取組内容	RPAの導入可能性について本市が取組みを進めている各種実証実験の結果などを基に、運用にあたっての課題の検討などを行い、市民サービスの向上や職員負担の軽減等を図るため、本市業務への導入及び利活用を進めます。												
目標	RPAの全庁展開を推進し、令和3年度中の適用業務数60業務以上とします。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 RPAシステムの運用・保守 本市業務へのRPAの適用及び利活用推進											
	(括弧は見込 実績・見込)	令和元年度 RPA利活用に係る実証実験 RPA適用業務選定 全庁展開に向けた各種基準・推進体制・ロードマップ等に係る「RPA導入・運用計画書」の策定 RPAツール運用等サポート RPAセミナーの開催 令和2年度 RPAシステムの構築・運用開始 本市業務へのRPAの適用及び利活用推進 令和3年度 本市業務へのRPAの適用及び利活用推進											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	RPA利活用に係る実証実験(4課5業務で実施、全体で61%の業務時間削減) RPA適用業務選定(111業務の候補から、令和2年度適用分として23業務を選定) 全庁展開に向けた各種基準・推進体制・ロードマップ等に係る「RPA導入・運用計画書」の策定 RPAツール運用等サポート(H30年度に実証実験を行った業務のうち、効果が確認された5課9業務に引き続きRPAツールを導入) RPAセミナーの開催(本庁、若林区、泉区で開催。延べ参加人数165名)										
		R2	RPAシステムの構築完了・運用開始(令和2年10月より運用開始) 本市業務へのRPAの適用及び利活用推進(7業務に適用済み)										
		R3	本市業務へのRPAの適用及び利活用推進(80業務に適用済み)										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	RPAの全庁展開を推進し、目標の令和3年度中の適用業務数60業務以上の達成及び令和3年度末時点での累計適用業務数87業務を達成することができました。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和3年度は、RPA導入前に利用課へのより詳細なヒアリングや業務分析を行うことで、円滑なRPAの適用及び利活用を推進することができました。令和4年度は、作業計画の期間や構築作業の手順を一部見直すことで、突発的な業務等へ柔軟に対応しやすい環境づくりを進め、業務選定から構築までの流れをスムーズに対応できるように進めていきます。												
備考													

項目番号	1(2)	No.	50	枝番	-	所管局	健康福祉局	担当課	収納対策室	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	収納率向上に向けたICT技術の積極的導入							取組み名	-				
取組内容	保険料徴収業務の確実性、迅速性を向上させ、効率化に資する取組みとして、ICT技術の積極的な導入を図ります。												
目標	ICT技術の積極的な導入を継続的かつ戦略的に行うことで、効率的・効果的な組織体制を構築し、さらなる収納率の向上を図ります。												
進捗状況	スケジュール	平成30年4月 財産調査の照会と回答の電子化 平成30年9月 ショートメッセージサービスによる催告 平成31年1～3月 RPAによる文書催告、滞納処分及び執行停止対象者の見極め、分納管理 平成31年2月 還付金振込口座のスキヤナー(AI)によるデータ化 令和元年7月 訪問催告業務の委託化(外勤嘱託職員の委託化) 令和元年10月～ 郵貯回答のスキヤナー(AI)によるデータ化 令和2年4月～ 給付業務など、他業務への展開に向けた検証 令和3年～ 催告センター業務と一体化させたプロポーザル契約 令和3年～ WEB口座振替受付サービス導入											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年7月 訪問催告業務の委託契約締結 令和2年3月 郵貯回答のスキヤナーによるデータ化の運用開始 令和2年5～7月 給付業務でのスキヤナー(AI)活用準備のための申請様式の見直し 還付金振込口座のスキヤナー(AI)を部内他課の振込業務で活用 令和3年9月 LG-WAN回線を利用した預金調査導入											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	65歳以上を対象とした訪問催告業務について、民間委託を行い人件費の抑制と業務の効率化に取り組みました。また、年間約8,000件実施しているゆうちょ銀行への財産調査に対する回答をスキヤナーでデータ化し、一括して基幹システムに取り込むことで効率化しました。										
	R2	ショートメッセージサービスによる催告について、口座振替不能者や分納不履行者に対して実施したことで、件数が前年度より3割程度増加しました。また、ゆうちょ銀行の財産調査データの取り込みを本格実施したことで、入力作業時間が3分の1に縮減しました。											
	R3	LG-WAN回線を利用して預金調査を電子化したことで、書類の作成や回答内容の入力作業時間の削減を図りました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	スケジュールに基づき、スキヤナーにより作成したデータの基幹システムへの取り込みを導入したほか、LG-WAN回線を利用した預金調査を開始しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	Web上で口座振替申込が可能となるサービスを導入します。また、現在手入力している口座振替の登録についても、スキヤナーを活用したデータの取り込みを行うことで、さらなる効率化を進めます。												
備考													

項目番号	1(2)	No.	51	枝番	-	所管局	まちづくり政策局	担当課	まちのデジタル推進課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	データの利活用推進							取組み名	-				
取組内容	デジタル社会構築の基盤となるデータについて、庁内各課での利用を見据えた共有化を図り、政策形成や事業実施等における利活用を推進します。また、地域や商店街、事業者等における利活用のニーズ把握を行うとともに、利活用が推進されるデータ基盤（プラットフォーム等）の検討を進めます。												
目標	令和3年度末までに、各課において他課のデータを活用して実施した事業等の件数を15件、事業者等における行政データ利活用件数を5件以上とします。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 庁内各課における共有可能なデータ整備 データ利活用のニーズ把握及びデータ基盤のあり方検討 政策形成や事業実施等におけるデータ利活用の推進											
	実績・見込	平成28年度 庁内各課がホームページ上のデータを手軽にオープンデータとして登録できるシステムの導入 平成29年度 課長相当職を対象に、「オープンデータの利活用」をテーマとした研修を実施 平成30年度 仙台市情報共有型GISにオープンデータ化機能を実装 令和元年度 県内市町村情報化担当者向け研修にて仙台市の事例発表 令和2年度 東北大学・情報通信研究機構が主催するアイデアソンへの協力 令和3年度 中心部商店街における人流データ調査を実施、「宮城県オープンデータ作成マニュアル」の作成											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	庁内各課がホームページ上のデータを手軽にオープンデータとして登録できるシステムを導入しました。併せて各種条件検索が可能な「仙台市オープンデータカタログ」を公開しました。 (仙台市オープンデータカタログ登録件数：120件 [平成28年度末時点])										
		H29	情報化人材育成研修のメニューの一つである「ICTを活用した政策形成セミナー」（課長相当級を対象）を実施し、オープンデータの利活用による地域課題解決の事例や先進都市の取組事例等について、研修を実施しました。 (仙台市オープンデータカタログ登録件数：165件 [平成29年度末時点])										
		H30	せんだいぐらしのマップにオープンデータ提供機能を搭載し登録データの一部を、オープンデータとして公開を始めました。 (仙台市オープンデータカタログ登録件数：226件 [平成30年度末時点])										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	総務省及び宮城県共催のオープンデータリーダ育成研修において、宮城県の他市町村に対し仙台市のオープンデータに関する取り組みを紹介するとともに、オープンデータ普及に関する情報収集等を実施しました。 (仙台市オープンデータカタログ登録件数：227件 [令和元年度末時点])										
		R2	オープンデータの利活用促進に向け、引き続きオープンデータ普及に関する情報収集等を行うとともに、東北大学・情報通信研究機構が主催するアイデアソンへの協力のほか、中心部商店街とデータ活用による活性化に向けた検討を連携して進めることとしました。										
		R3	中心部商店街において人流データ調査を実施し、データ利活用方法について検討したほか、庁内におけるデータ利活用のニーズについてヒアリングを行いました。宮城県と連携し、県内自治体共通でオープンデータを推進するための「宮城県オープンデータ作成マニュアル」を作成しました。 各課において他課のデータを活用して実施した事業等の件数 16件 事業者等における行政データ利活用件数 5件										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	継続的にデータの充実を図るとともに、データの利活用推進に向けた取り組みを行っています。									
今後の進め方(課題への対応)	継続的にデータの充実を図るため、庁内各課への声掛け等を行い、保有するデータのオープンデータ化を推進するとともに、オープンデータの利活用事例の収集なども実施します。併せて、仙台市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画で掲げるスマートシティの実現に向け、データの具体的な活用方法にかかる事例蓄積やデータの在り方などについて検討を進めていきます。												
備考													

項目番号	1(2)	No.	52	枝番	-	所管局	まちづくり政策局	担当課	情報システム課	プラン掲載年度	H31(R1)	進行状況	継続
実施項目	情報システムにおけるクラウドの利活用の推進							取組み名	-				
取組内容	技術進展の動向や先進事例などの調査、分析を行うとともに、本市情報システムにおけるクラウド導入方針やシステム標準化手法等の検討を行い、最適なクラウドの導入及び利活用を進めます。												
目標	情報システムの費用対効果を高め、費用の縮減や調達期間の短縮を図るため、クラウド導入及びシステム標準化を推進します。												
進捗状況	スケジュール	先進事例・技術動向等の調査、課題事項及び期待効果等の分析・評価を行い、本市情報システムにおけるクラウドの適用範囲、体制及び費用試算等の導入方針について検討を行います。 令和元年度 基本構想策定 令和2年度 基本計画策定 令和3年度 実施計画策定											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 基本構想策定 令和2年度 基本計画書(案)策定 令和3年度 基本的な方向性(基本計画書等)の整理											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	仙台市クラウド導入基本構想を策定しました。										
		R2	仙台市クラウド導入基本計画書(案)を作成しました。										
		R3	『本市におけるクラウド導入事業の基本的な方向性について～国の動向と今後の取組～』を作成しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	地方自治体の主要20業務に係る情報システムを標準化し、政府が調達する「ガバメントクラウド」へ集約するとする国の方針を受けて、本事業の方向性を整理し、『本市におけるクラウド導入事業の基本的な方向性について～国の動向と今後の取組～』を作成しました。									
今後の進め方(課題への対応)	標準化対象システムがガバメントクラウドへ移行したとしても、標準化対象外のシステムや機能、データを管理する基盤は引き続き必要となることから、ガバメントクラウドの動向に注視しつつ、状況に応じ時点修正を行いながら、『本市におけるクラウド導入事業の基本的な方向性について～国の動向と今後の取組～』に基づき単独クラウドの構築を進めていきます。												
備考	令和2年12月25日に「デジタルガバメント実行計画」が閣議決定され、自治体の主要20業務を政府が調達する「ガバメントクラウド」へ集約する方針が示されましたが、検討に必要な技術的仕様や利用料等の要件が示されておらず、判断ができない状況となっています。												

項目番号	1(2)	No.	53	枝番	1	所管局	まちづくり 政策局	担当課	行政デジタル 推進課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	行政手続きにおける利便性の向上							取組み名	電子申請システム等を活用したオンライン手続きの拡充				
取組内容	電子申請システムやマイナポータルの活用によるオンライン手続きの拡充を図り、各種申請やアンケート、イベント参加申し込み等をオンラインで可能にすることにより、市民や事業者の利便性向上を図ります。												
目標	令和3年度末までに、年間1,000件以上申請がある手続き及び国が示す地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続のうち、インターネットで可能な手続きの割合を10%以上とします。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 国が定めた「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」や「デジタル・ガバメント実行計画」に掲載の「特に国民の利便性向上に資する手続」等のデジタル化に向けた検討 国が令和3年7月に提示した「自治体DX推進手順書」による詳細な工程作成											
	(括弧は見込 実績・見込)	令和元年度の申請件数は42,215件となり、平成30年度の申請件数39,674件から2,541件増加しました。 令和2年度の申請件数は84,072件となり、令和元年度の申請件数42,215件から41,857件増加しました。 令和3年度の申請件数は307,914件となり、令和2年度の申請件数84,072件から223,842件増加した。											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政改革推進プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	全庁に対し文書で年2回(令和元年6月及び令和2年2月)、電子申請システムの利用勧奨を行いました。										
R2		全庁に対し文書で年1回(令和3年2月)、電子申請システムの利用勧奨を行いました。											
R3		<ul style="list-style-type: none"> 全庁に対し文書で年1回(令和4年1月)、電子申請システムの利用勧奨を行いました。 新電子申請システムの実証実験を開始しました。 											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い一時的に増加した申請や申し込み等もあり、電子申請システムによる各種申請件数は前年度と比べ、大幅増となりました。 インターネットで可能な手続きの割合は、年間1,000件以上申請がある手続きについては11%、国が示す地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続きについては34%となりました。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和3年度以降についても、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施します。 また、新電子申請システムの本格運用に向けて実証実験を継続し、全庁展開の準備を進めます。												
備考													

項目番号	1(2)	No.	53	枝番	2	所管局	財政局	担当課	契約課	プラン 掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	行政手続きにおける利便性の向上							取組み名	契約手続きのデジタル化				
取組内容	契約課で行う契約手続きについて、物品契約への電子入札の導入、工事契約における一般競争入札公告時の設計書ダウンロード化の検討、及び電子契約の導入に向けた検証を行い、契約手続きのデジタル化を進めます。												
目 標	可能な限り事業者が来庁することなく、契約手続きを行うことができる環境を整備します。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 物品契約の見積合せ分の電子入札化 設計書ダウンロード化の検討 電子契約の実証実験・課題検証											
	実績・見込 (括弧は見込)	<令和3年度> ・物品契約の見積合せ分の電子入札を実施 ・令和4年度中に設計書ダウンロード化の仕組みを構築できるようスケジュール調整等を実施 ・電子契約システムを使用して契約締結の実験を行い課題の抽出を実施											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2											
		R3	<ul style="list-style-type: none"> ・11月より物品契約の見積合せ分の電子入札を実施 ・設計書ダウンロード化の仕組みを構築できるようスケジュール調整等を実施 ・電子契約システムを使用して契約締結の実験を行い課題の抽出を実施 										
目標達成状況	○	目標達成状況の説明 (根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・物品契約の見積合せ分について電子入札を導入することができました。 ・設計書ダウンロード化の令和4年度中の実施に向けて必要な予算を確保しました。 ・電子契約システムを実際に使用した実証実験と課題の抽出を実施することができました。 										
今後の進め方 (課題への対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・物品契約の入札分の電子入札化を実施します。 ・設計書ダウンロード化について、当初目標の達成に向け、調整したスケジュールに基づき計画的に取り組を進めます。 ・電子契約について、課題への対応につき検討を進めます。 												
備 考													

項目番号	1(2)	No.	53-2	枝番	1	所管局	まちづくり 政策局	担当課	行政デジタル 推進課	プラン 掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	市役所のデジタル化							取組み名	SaaSの利活用推進				
取組内容	情報の共有を容易にすることで、事務の正確性や迅速性などを高め、市民サービスの向上と職員負担の軽減などを図るため、クラウドサービスの利活用を推進します。												
目標	令和3年度末において、業務アプリ作成ツールの利用課を15課、議事録作成支援システムによる業務時間の削減割合を45%以上とします。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 業務アプリ作成ツールの利活用推進 クラウド型議事録作成支援システムの利用 クラウドサービスの導入検討											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和3年度 業務アプリ作成ツールの利活用促進 クラウド版のA1議事録作成支援システムの動向・事例について調査・研究											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2											
		R3	業務アプリ作成ツールについて15課室公所が運用を開始しました。										
目標達成状況	○	目標達成状況の説明 (根拠等)	業務アプリ作成ツールの利用課数について、その利用のみに留まらず、運用開始に至った課数において目標を達成しました。 議事録作成支援システムについては、セキュリティ面の懸念からSaaS型製品の導入を見送ったが、セキュリティ要件を満たしたスタンドアロン型の議事録作成支援システムを追加導入することで、業務時間の削減を行いました。										
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き、SaaSの利活用促進に努め、市民サービスの向上と行政運営の高度化を図ります。												
備考													

項目番号	1(2)	No.	53-2	枝番	2	所管局		子供 未来局		担当課		運営 支援課		プラン 掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	市役所のデジタル化							取組み名	公立保育所におけるICT利活用								
取組内容	公立保育所におけるICT利活用の主たる取組みとして、保育所業務支援システムを導入します。																
目標	新型コロナウイルス感染症や災害の発生時に保護者へ迅速に連絡を行うことができるようにするとともに、保育所事務のシステム化により、職員の業務負担を軽減し、児童と向き合う時間等を確保することで保育の充実と質の向上を図ります。																
進捗状況	スケジュール	令和3年度 基本計画策定 システム審査															
	実績・見込 (括弧は見込)	令和3年度 情報部門との協議、導入に向けた課題整理、契約準備															
単年度ごとの主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28															
		H29															
		H30															
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)															
		R2															
		R3	情報部門とのシステムに係る協議、システムの導入に向けた保育所との課題整理及び委託実施のための契約準備を行いました。														
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	令和4年度の2保育所への先行導入に向けて情報部門との協議、契約準備等、必要な手続きを予定通り行いました。													
今後の進め方 (課題への対応)	事業者決定後、システム構築、保育所との運用調整、職員への研修等を行い、年度内に2保育所へ先行導入を行います。																
備考																	

項目番号	1(2)	No.	53-2	枝番	3	所管局	子供 未来局	担当課	児童クラブ事 業推進課	プラン 掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	市役所のデジタル化							取組み名	児童クラブ保護者負担金徴収システム刷新				
取組内容	各児童館職員がクライアントから、データベースへアクセスしデータ登録修正等ができるクラウドサービスを活用したシステムの導入を検討するとともに、児童クラブ事業推進課においても、クラウドサービスの活用を検討します。												
目 標	システム導入により、搬送業務を削減するとともに、市内各児童館と児童クラブ事業推進課における業務効率化を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 システム刷新のためのコンサル委託契約締結 調達手続き											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和3年度 コンサル委託契約締結。 基本計画書(案)及び仕様書(案)作成完了。											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2											
		R3	システム刷新のためのコンサル委託契約を締結し、基本計画書(案)及び仕様書(案)を作成しました。また、児童館職員との意見交換会にて、各児童館における業務実態の把握とシステム導入に向けた要望の聞き取りを行い、検討を進めました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	スケジュールに基づき、コンサル委託契約を締結し、基本計画書(案)等を完成させました。さらに、児童館職員のニーズを反映させるため、児童館職員との意見交換会を行い、検討を進めました。									
今後の進め方 (課題への対応)	費用対効果の観点を踏まえながらも、児童館職員のニーズを鑑みさらなる検討を進めていきます。												
備 考													

項目番号	1(2)	No.	53-2	枝番	4	所管局	教育局	担当課	教育 指導課	プラン 掲載年度	R3	進行状況	完了
実施項目	市役所のデジタル化							取組み名	校務支援システムの機能拡充				
取組内容	既に導入している校務支援システムの機能拡充を行い、出席簿や日常所見の入力といった業務を教員が各授業時に教室で行えるようにすることで、教員の負担軽減を図ります。												
目 標	児童生徒の基本情報や学校運営に関する情報の一元管理により、校務の効率化を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 校務支援システムの機能拡充の実施											
	(括弧は実績・見込)	校務支援システムの更新に合わせ、教員用の1人1台端末での出席簿等の入力が可能となるよう機能拡充を実施しました。											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2											
		R3	校務支援システムの更新に合わせ、教員用の1人1台端末での出席簿等の入力が可能となるよう機能拡充を実施しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	令和3年度内に予定していた、教員用の1人1台端末での出席簿等の入力が可能となるよう機能拡充を完了しました。									
今後の進め方(課題への対応)													
備 考	令和3年度終了												

項目番号	1(2)	No.	53-2	枝番	5	所管局	教育局	担当課	高校 教育課	プラン 掲載年度	R3	進行状況	完了
実施項目	市役所のデジタル化							取組み名	校務支援システム（高校版）の改修				
取組内容	高校や中等教育学校で使用している校務支援システム上で成績処理を行えるようにするとともに、校務支援システムから調査書をアップロードし、各大学へ出願できるよう改修を実施します。												
目 標	成績処理等の効率化と電子調査書等への対応により、教員の負担軽減を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 システム構築・仮稼働											
	実績・見込 (括弧は見込)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年8月に市内高等学校及び中等教育学校に、高校版校務支援システムの導入が完了しました。 各校において「システム管理者研修」及び「教職員研修」を実施しました。 											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)											
		R2											
		R3	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年8月、各校にシステムを導入し、年度末までにデータ移行を完了しました。 導入時期にあわせ、システム担当者研修、一般教職員の活用研修を実施しました。 										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	システム導入が完了し、全ての市立高等学校等で、同一環境下での基本的な校務処理が可能な環境が整いました。									
今後の進め方 (課題への対応)													
備 考	令和3年度完了												

項目番号	1(2)	No.	53-2	枝番	6	所管局	まちづくり政策局・経済局	担当課	行政デジタル推進課・企業立地課	プラン掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	市役所のデジタル化							取組み名	企業誘致業務効率化				
取組内容	クラウド名刺管理サービスの導入により、職員が持つ名刺をデジタル化するとともに、マーケティングオートメーション（MA）ツールの導入により、見込客（誘致対象企業）の関心度等を可視化し、企業ニーズや進出機運を的確に捉えた企業対応を行います。												
目標	ICTの活用により企業誘致に係る業務の効率化を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 クラウド名刺管理サービスを活用した人脈情報等の課内共有 MAツールの導入検討・実施											
	実績・見込 (括弧は見込)	クラウド名刺管理サービスを活用した人脈情報等の課内共有を行った。 また、MAツールの導入を行った。											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)											
		R2											
R3	MAツールの導入により、顧客の本市への関心度の可視化や情報発信ができるようになった。												
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	クラウド名刺管理サービスの利用により、異動による名刺の引継ぎが遺漏なくできるようになったほか、営業時すぐに連絡先を抽出できるなど業務の効率化ができました。 また、MAツール導入により、顧客の本市への関心度の可視化や情報発信ができるようになりました。									
今後の進め方 (課題への対応)	特になし（継続運用する）												
備考													

項目番号	1(2)	No.	53-2	枝番	7	所管局	都市整備局	担当課	技術管理室	プラン掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	市役所のデジタル化							取組み名	タブレット端末等の配備体制の充実化				
取組内容	業務効率化を目的として工事発注課に配布したタブレット端末について、各課の利用頻度に応じた最適なタブレット配備台数を検討し、現場（臨場）における目視や確認が必要な事項を遠隔で実施できる体制を整備します。												
目標	令和3年度末までに、東北地方整備局が実施する遠隔臨場の標準化に向け、試行事務を実施します。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 実施に向けた関係者との検討等											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和3年度 業界団体との意見交換、タブレット配布部署への利用状況調査、遠隔臨場に関する職員研修の実施											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)											
		R2											
		R3	遠隔臨場の標準化に関する要綱を制定することで試行事務を省略し、全ての本市発注工事で適用可能とした。また、タブレット端末の活用方法と工事における遠隔臨場の取組みについて、職員研修の場で周知を図った。										
目標達成状況	○	目標達成状況の説明 (根拠等)	スケジュールの通り取組みを推進できました。特に、遠隔臨場の標準化については、要綱を制定し令和3年4月より全ての本市発注工事で適用可能としました。また、配布したタブレットの使用実態調査を実施し、併せて利用促進を図るため職員研修の場で情報発信しました。										
今後の進め方 (課題への対応)	業務効率化をはじめとするインフラDXの取組みは国土交通省の重点的な施策となっており、関連する本項目でも業務の非接触・リモート化に継続して取組む必要があります。次期プランでは「発注工事でのデジタル技術の全面的な活用」に統合し、数値目標による進捗管理を行いながら、受発注者双方が対応可能な利用環境の整備を目指します。												
備考													

項目番号	1(2)	No.	53-2	枝番	8	所管局	都市整備局	担当課	技術管理室	プラン掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	市役所のデジタル化							取組み名	工事情報共有システムの導入				
取組内容	本市発注工事の進捗管理に伴う書類等の電子化に向けた検討を行います。												
目 標	本市技術職員及び発注工事受注者双方における業務効率化を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 関係団体等との意見調整 試行実施											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和3年度 全ての土木工事において工事情報共有システムの利用開始（受注者が希望した場合）											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
R2													
		R3	令和3年4月2日以降に入札公告又は指名通知を行う全ての土木工事において、受注者が希望した場合、工事情報共有システムの利用を可能としました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	スケジュールに基づき令和3年度より、全ての土木工事において工事情報共有システムの利用を開始できました。									
今後の進め方 (課題への対応)	営繕工事においても工事情報共有システムを利用可能とできるよう、関係団体と調整を進めます。 なお、次期プランでは「発注工事でのデジタル技術の全面的な活用」に統合しています。												
備 考													

項目番号	1(2)	No.	53-2	枝番	9	所管局	都市整備局	担当課	技術管理室	プラン掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	市役所のデジタル化							取組み名	発注工事でのデジタル技術の全面的な活用				
取組内容	国土交通省が推奨するi-Constructionの取組みに係るモデル工事の発注を推進するとともに、測量・調査、設計～施工～維持管理・更新の各段階で設計図面の3次元化技術の導入を行います。												
目標	建設業の労働生産性の向上及び一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図り、建設業の働き方改革を推進します。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 実施に向けた関係者との検討等											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和3年度 実施に向けた関係者との協議											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
R2													
		R3	ICT活用モデル工事の発注に向け、発注担当課と協議・調整。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	ICT活用モデル工事の発注に向け協議を実施。ただし、当該工事は、発注時期の見直しにより、令和4年度の発注となりました。									
今後の進め方 (課題への対応)	ICT活用モデル工事を継続して発注できるよう、関係課と協議を進めます。測量・データ作成・施工・施工管理・納品のすべてをICT施工とするフル活用工事だけでなく、一部だけの活用でも可能とする、部分活用工事の導入に向けて検討を進めます。なお、次期プランでは「発注工事でのデジタル技術の全面的な活用」に統合しています。												
備考													

項目番号	1(2)	No.	54	枝番	-	所管局	まちづくり 政策局	担当課	行政デジタル 推進課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	情報システム最適化の推進							取組み名	-				
取組内容	<p>情報システムの効果的な導入及び効率的な運用管理の実現と、経費縮減に向けた取り組みを行います。</p> <p>また、各システムのライフサイクル等を一覧化した最適化ロードマップを活用し、システム審査等により庁内の取り組みを支援するなど庁内全体を俯瞰した計画的・継続的な取り組みを推進します。</p>												
目標	<p>令和元年度～令和3年度に、庁内システム関連経費について、累積として約8億円縮減します。</p> <p>また、令和4年度以降も継続して取り組みを推進します。</p>												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	最適化ロードマップの更新、システム審査の実施										
数値目標	見込	平成29年度	最適化ロードマップの更新、システム審査の実施										
	実績	平成30年度	最適化ロードマップの更新、システム審査の実施										
		令和元年度	最適化ロードマップの更新、システム審査の実施										
		令和2年度	最適化ロードマップの更新、システム審査の実施										
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	32件のシステム審査を実施するとともに、新規システム構築に係る調達及び開発監理支援を行いました。										
		H29	31件のシステム審査を実施するとともに、新規システム構築に係る調達及び開発監理支援を行いました。										
		H30	37件のシステム審査を実施するとともに、新規システム構築に係る調達及び開発監理支援を行いました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	24件のシステム審査を実施するとともに、新規システム構築に係る調達及び開発監理支援を行いました。										
R2		43件のシステム審査を実施するとともに、新規システム構築に係る調達及び開発監理支援を行いました。											
R3		2件のシステム審査を実施するとともに、新規システム構築に係る調達及び開発監理支援を行いました。											
単年度ごとの効果試算(百万円)	効果試算額							H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標達成状況	◎	目標達成状況の説明(根拠等)	新たな目標額(H30年度までの累計実績にR1年度からR3年度にかけた目標額を加えた2,004百万円)以上のシステム経費の縮減が進みました。										
今後の進め方(課題への対応)	引き続き、システム調達支援を実施します。												
備考													

項目番号	1(2)	No.	55	枝番	1	所管局	まちづくり 政策局	担当課	行政デジタル 推進課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	データ活用環境の整備							取組み名	DX推進に資する人材の育成				
取組内容	各所属における市民サービスの利便性や効率性の向上、業務改善につながるようICTの技術的な研修を実施するなど、DX推進人材の裾野を広げます。												
目標	デジタル技術やデータを効果的に活用し市民サービスの更なる向上や市役所業務の改善・効率化を成し遂げることのできる人材を育成します。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 各種研修の実施											
	実績・見込	令和元年度 アプリケーション研修、情報システム研修、情報リテラシー研修、テーマ別研修、ICT利活用研修（課長編）、外部研修（J-LIS、宮城県等の主催） 延べ741名参加 令和2年度 情報システム研修、外部研修（J-LIS、宮城県等の主催） 延べ168名参加 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、情報システム研修を除く本市の主催する集合研修を中止している。 令和3年度 アプリケーション研修、情報システム研修、情報リテラシー研修、テーマ別研修、ICT利活用研修（課長編）、外部研修（J-LIS、宮城県等の主催） 延べ542名参加 （令和4年度 例年実施している研修に加え新たにBPR研修を実施）											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	アプリケーション研修（10回開催、延べ216名参加） 情報システム研修（3回開催、延べ82名参加） 情報リテラシー研修（2回開催、延べ48名参加） テーマ別研修（テーマ：EBPM基礎について、22名参加） ICT利活用研修（課長編）（テーマ：RPAを活用した業務効率化の取り組み、267名参加） 外部研修（J-LIS、宮城県等の主催）（延べ106名参加）										
	R2	情報システム研修（1回開催、延べ36名参加） 外部研修（J-LIS、宮城県等の主催）（延べ132名参加） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、情報システム研修を除く本市の主催する集合研修を中止している。											
	R3	アプリケーション研修（9回開催、延べ132名参加） 情報システム研修（3回開催、延べ68名参加） 情報リテラシー研修（1回開催、延べ57名参加） テーマ別研修（テーマ：EBPM基礎について、16名参加） ICT利活用セミナー（課長編）（テーマ：高橋副市長メッセージ、デジタル行政推進担当課長からの取組状況の説明、デジタル見本市、205名参加） 外部研修（J-LIS、宮城県等の主催）（延べ64名参加）											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	知識や経験年数に応じた研修やセミナーを年間を通して実施しており、一定のスキルアップに寄与したと考えています。									
今後の進め方（課題への対応）	引き続き、業務運営における課題やICTに係る動向に的確に対応し、役割や経験年数に応じた知識を習得するための研修を着実に実施していきます。さらに、デジタル技術やデータを効果的に活用し市民サービスの更なる向上や市役所業務の改善・効率化を成し遂げることのできる人材の育成のため、BPR研修を新たに実施します。												
備考													

項目番号	1(2)	No.	55	枝番	2	所管局	都市整備局	担当課	技術管理室	プラン掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	データ活用環境の整備							取組み名	技術職員が担当する業務に係る技術習得等の促進				
取組内容	インフラ維持管理・点検・保守業務における災害発生時のUAV等を用いた現地調査等の技術取得等の促進を図ります。												
目標	特に実践的な技術習得が市政運営上有益となるものについて、必要となる講習等を技術職員の人材育成の一環として位置付け、職員の能力向上を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 実施に向けた関係者との検討等											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和3年度 建設系技術職員版人材育成計画の策定、地元業界団体との意見交換及び研修体系の検討											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2											
		R3	建設系技術職員版人材育成計画の策定に加え、地元業界団体との意見交換を進める中で、近年大規模化・激甚化が著しい気象災害への意識向上を受発注者双方の課題と捉え、当該団体と共催で災害対応研修を企画し実施しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	スケジュールの通り取組みを推進できました。新技術に特化した研修は実施できませんでしたが、研修対象職員の職位や実務経験年数のギャップ・課題意識等を踏まえ、工事等担当職員研修の再構築、集合研修のオンライン化、キャリアプラン支援セミナーの立上げ等、抜本的な視点で研修体系の再編に取り組みました。									
今後の進め方 (課題への対応)	社会情勢の変化や行政課題の複雑化・多様化に対応可能な技術職員を育成するためには、新たな技術に関する研修を継続的に実施していく必要があります。次期プランでは「実践的な技術習得等の促進による建設系技術職員の育成」に項目名を変更し、数値目標による進捗管理を行いながら、技術職員の人材育成や能力発揮を支える仕組みの構築に取り組みます。												
備考													

項目番号	2(1)	No.	56	枝番	-	所管局	市民局	担当課	地域政策課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	町内会等住民自治組織育成事業の実施							取組み名	-				
取組内容	町内会等住民自治組織の活性化を図るため、財政的支援を行うとともに、町内会の運営に資する研修や町内会等役員永年勤続表彰式等を実施します。 また、集合住宅等における町内会形成の促進を図ります。												
目 標	町内会運営や活動への多面的な支援等により、町内会等住民自治組織の活性化を図ります。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度～ 町内会等育成奨励金等をはじめとした各種助成金等の交付や町内会長等を対象とした研修、一定年数を務めた町内会長等に敬意と謝意を示すための市長表彰を実施したほか、マンション等のコミュニティ形成を進めるためチラシ等による周知を行いました。 令和元年度 【町内会育成奨励金】対象世帯数：405,051世帯 【研修会実施回数】30回 令和2年度 【町内会育成奨励金】対象世帯数：406,437世帯 【研修会実施回数】13回 令和3年度 【町内会育成奨励金】対象世帯数：404,393世帯 【研修会実施回数】11回											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	町内会等育成奨励金交付世帯数 405,051世帯 研修会実施回数 30回 (各区研修会15回、町内会役員担い手講座14回、地域活動団体交流会1回) 不動産関連団体と「仙台市における町内会等への加入促進に関する協定」締結										
	R2	町内会等育成奨励金交付世帯数 406,437世帯 研修会実施回数 13回 (各区研修会6回、町内会活性化講座(※)7回) (※)R1町内会役員担い手講座受講者のニーズ等を踏まえ、テーマ編講座などを加え名称変更											
	R3	町内会等育成奨励金交付世帯数 404,393世帯 研修会実施回数 11回 (各区研修会3回、町内会活性化講座8回 (基礎編5回、相談会3回))											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	町内会の運営や活動に対する財政的な各種支援のほか、町内会長や町内会役員を対象とした研修の実施、長年にわたり町内会活動に寄与した市民の表彰等により、住民自治組織の活性化に向けた、多角的な取り組みを行いました。									
今後の進め方 (課題への対応)	より効果的な事業の実施に向け、関係各局や各区役所・総合支所等をはじめとする関係機関及び地域等との連携と情報の共有化を図るため、一層の工夫を加えていきます。 また、町内会等の住民自治組織の活性化に向けて、市民に対する地域活動の重要性に関する意識啓発や機運醸成等に取り組む必要があると考えています。												
備 考	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町内会活性化講座等の一部講座を開催することができませんでしたが、講座の効果を高め、また、受講者が地域での共有を図ることができるよう実施講座のフィードバック資料を受講者に送付するとともに、公式ホームページにも掲載しました。												

項目番号	2(1)	No.	57	枝番	-	所管局	市民局	担当課	地域政策課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	完了
実施項目	地域活動団体交流会の開催							取組み名	-				
取組内容	地域課題の解決に向けた取り組みを実践している地域活動団体が一堂に会し、それぞれの取り組み状況等について情報交換を行いながら互いの活動を学び合う交流会を開催することで、より一層の活動意欲向上や住民主体の取り組みの活性化を図ります。												
目 標	地域活動団体交流会を開催し、地域活動団体の更なる活動意欲向上や取り組みの活性化を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止し、情報誌を活用した活動事例紹介など、地域活動団体間の情報共有の機会を確保する。											
	実績・見込	令和元年度：令和2年1月 開催 参加者（傍聴含む）約110名 （第1部 話題提供、第2部 活動事例発表（市内5団体）、第3部 ワークショップ） 令和2年度：交流会は中止（活動事例の紹介） 令和3年度：未実施 ※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、交流会の実施を見合わせたものの。											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	上記実績のとおり実施しました。										
		R2	交流会という形での実施はしませんでした。活動事例集の町内会長等への配布やホームページへの掲載により、地域における活動事例を紹介しました。										
		R3	上記実績のとおり、未実施となりました。										
目標達成状況	△		目標達成状況の説明（根拠等）	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため交流会は中止しましたが、情報誌を活用した活動事例の紹介など、地域活動団体間の情報共有の機会を確保しました。 なお、令和3年度については、交流会が未実施となったこと及び地域活動が制約を受けて紹介できる事例も極めて少なかったことから、目標達成状況を△としました。									
今後の進め方 (課題への対応)													
備 考	令和3年度完了												

項目番号	2(1)	No.	58	枝番	-	所管局	市民局	担当課	地域政策課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	市民センターにおける地域を担う人づくり支援推進事業の実施							取組み名	-				
取組内容	市民センターにおいて、地域住民等による地域の現状把握や課題共有、地域づくりの担い手育成やネットワーク形成等を図る事業や取組みを実施することにより、地域を担う人づくり支援をさらに推進します。												
目 標	市民センターのコーディネート機能を活かし、地域づくりの担い手育成やネットワーク形成等を図ります。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組み内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 27地区で実施しました。 令和2年度 20地区で実施しました。 令和3年度 19地区で実施しました。 ※令和3年度からは、地域づくりパートナープロジェクト（バックアップ機能）の一つとして位置づけ、市民センターを拠点とした地域課題解決のための「ネットワーク構築」を支援するための事業として実施。											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	27地区で、町内会などの地域団体が連携し、地域の担い手育成や連携強化に資する事業を展開しました。										
		R2	20地区で、町内会などの地域団体が連携し、地域の担い手育成や連携強化に資する事業を展開しました。										
		R3	19地区で、町内会などの地域団体が連携し、地域の担い手育成や連携強化に資する事業を展開しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	各地区において本事業への参画を契機とする地域課題の発掘及びその解決に向けた取組みがなされており、事業全体としては概ね良好な成果をあげています。									
今後の進め方 (課題への対応)	市民センターのコーディネート機能を活かし、各地区における更なる地域づくりを推進してきました。今後も身近な地域の拠点である市民センターを中心とした地域づくりに資する事業の継続が必要と考えており、引き続き地域におけるネットワーク形成の強化を図ります。												
備 考													

項目番号	2(1)	No.	59	枝番	-	所管局	市民局	担当課	市民協働推進課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続	
実施項目	市民活動サポートセンターにおける市民活動の場・情報の提供、多様な主体間の連携・交流の促進								取組み名	-				
取組内容	市民活動サポートセンターにおいて、多様な主体によるまちづくりを推進するため、活動の場の提供や情報の収集・提供、相談対応、人材育成のための事業を行うなど、市民活動を総合的に支援します。 また、多様な主体が相互に連携し、まちづくりに取り組むことができるよう交流の機会・仕組みづくりを行います。													
目標	令和元年度～令和3年度の利用者数を66,000人以上とします。													
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。												
	実績・見込	平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度	市民活動サポートセンターにおいて事業展開及び機能強化実施に向けた検討 市民活動サポートセンター機能強化実施 施設の機能を活かしたソフト面の充実化 施設の機能を活かしたソフト面の充実化 施設の機能を活かしたソフト面の充実化 施設の機能を活かしたソフト面の充実化											
数値目標	説明								H28	H29	H30	R1	R2	R3
	見込	利用者数（単年度）										66,000人以上	66,000人以上	66,000人以上
	実績	利用者数（単年度）							66,117人	63,913人	68,815人	63,621人	20,807人	24,583人
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動に関する相談、活動の場の提供、情報の収集・発信、人材育成、連携・交流推進などの事業を展開するとともに、平成29年度の市民活動サポートセンター機能強化の実施に向け、仙台市協働まちづくり推進委員会で審議を行いながら、方向性を検討しました。											
		H29	平成28年度に引き続き、市民活動に関する相談、活動の場の提供、情報の収集・発信、人材育成、連携・交流推進などの事業を展開しました。また、機能強化については、仙台市協働まちづくり推進委員会での審議を行った上で、交流スペースの拡充や情報発信機能の充実などを目的に施設改修工事を実施しました。											
		H30	継続して、市民活動に関する相談、活動の場の提供、情報の収集・発信、人材育成、連携・交流推進などの事業を展開しました。また、まちづくりの担い手となる多様な主体が集まり、地域の課題解決やまちの魅力づくり等をテーマに、仙台のまちづくりについて交流を深め対話する機会を創出する企画として「マチノワ縁日」を実施しました。											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	市民活動に関する相談、活動の場の提供、情報の収集・発信、人材育成、連携・交流推進などの事業を展開しました。特に開館20周年を記念したイベントは、市民活動や協働の理解を広め、団体間の交流を促進する機会となり、多数の市民の方が参加しました。											
		R2	市民活動に関する相談、活動の場の提供、情報の収集・発信、人材育成、連携・交流推進などの事業を展開しました。特に動画コンテンツによるWEB配信を利用した情報発信を新たに開始し、市民が活動に関する情報へ触れる機会を増やしました。											
		R3	市民活動に関する相談、活動の場の提供、情報の収集・発信、人材育成、連携・交流推進などの事業を展開しました。特に、動画コンテンツを活用した情報発信に加え、オンラインでも参加できる体験型交流会を開催してコロナ禍における交流機会の創出に取り組みました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設の利用制限を行ったため、年間の利用者数は数値目標には及びませんでした。オンラインも積極的に活用しながら各種事業を実施し、着実に取り組みを進めました。										
今後の進め方(課題への対応)	市民活動や多様な主体による協働の拠点施設として、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえ、動画による情報発信やオンラインを活用した交流機会の創出などにも取り組みながら、市民活動の促進及び協働の推進を図っていきます。													
備考														

項目番号	2(1)	No.	60	枝番	-	所管局	教育局	担当課	生涯学習支援センター	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	市民センターによる学びを通じた人づくり		取組み名	-									
取組内容	地域に身近な社会教育施設である市民センターの持つ学びの支援・交流・地域づくりの拠点機能を生かしながら、市民センター事業を実施します。 併せて、事業内容の充実と市民センターの持つコーディネート力の向上等を目的に職員研修を実施するとともに、地域の担い手等の人材を育成する取組みの充実を図ります。												
目標	社会教育施設等の職員を対象とした毎年度の研修の参加者数を年間1,000人以上とします。												
スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。												
進捗状況	実績 (括弧は見込)	平成28年度～平成30年度 社会教育施設等の職員を対象に、職員の知識やスキルの向上を目的として、生涯学習に係る基礎研修やスキルアップ研修等を実施 令和元年度 研修体系と内容の見直し 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら研修を実施 令和3年度 新型コロナウイルス感染症対策を行い、対面及び一部オンライン形式やオンデマンド形式での研修に変更して実施											
		説明	H28	H29	H30	R1	R2	R3					
数値目標	見込	参加者数	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人					
	実績	参加者数	1,024人	836人	834人	806人	655人	614人					
単年度ごとの主な実績	仙 台 市 役 所 経 営 プ ラ ン	H28	市民センター等の社会教育施設職員等を対象に、生涯学習の基礎を学ぶ研修、現代課題をテーマとした研修、スキルアップを目的とした研修等を7種20回実施しました。										
		H29	昨年度同様、市民センター等の社会教育施設職員等を対象に、生涯学習の基礎を学ぶ研修のほか、スキルアップを目的とした研修、現代的課題をテーマとした研修（以上、生涯学習応用研修）等、全7種20研修を実施しましたが、地域連携担当教員の参加が減少したこと、受講対象職員が他機関実施の研修を受講したこと等により、参加者数は目標値に達しませんでした。										
		H30	市民センター等の社会教育施設職員等を対象に、生涯学習の基礎を学ぶ研修のほか、スキルアップを目的とした研修、現代的課題をテーマとした研修（以上、生涯学習応用研修）等、全7種20研修を実施しました。 職員のコーディネート力の向上等に向け、新たなテーマを取り入れるなど研修内容の充実を図り、前年度と同じ水準は確保しましたが、地域連携担当教員の参加の研修を各区開催としたこと等により、参加者数は目標値に達しませんでした。なお、職員研修の一環である成果報告会への職員の参加は116名でした。										
		H31 (R1)	市民センター等の社会教育施設職員等を対象に、幅広い視点から企画した多様な研修を実施しています。令和元年度は、研修体系と内容を見直し、3種11分野20研修実施しました。 グループワーク等の演習を用いた講座が多くなり、参加者が絞られる結果となりましたが、ファシリテーションや講座企画、現代的課題に対応した発展研修を実施し、内容の充実を図りました。また、情報システムなどの実践的な研修や市民参加型事業の成果報告会も研修の機会としました。なお、昨年度までと同様に他機関の実施する類似研修への参加機会が増えたこともあり、参加者数は評価指標に達しませんでした。										
		R2	市民センター等の社会教育施設職員等を対象に、ファシリテーションや講座企画、現代的課題に対応した研修等、3種11分野20回の研修を実施しました。また、Web会議システムやSNSの活用等により、情報化の進展や感染症の流行など社会環境や課題の変化も捉えつつ、職員に求められる資質と専門性の向上を図る取組みを進めることができました。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、日程や内容の変更や、参加対象を縮小した研修もあることから、参加者数は評価指標に達しませんでした。										
R3	市民センター等の社会教育施設職員等を対象に、生涯学習事業の推進に必要な知識を深め、社会の変化や市民ニーズに対応しながら、市民や地域と連携を図ることができる専門性やスキルを身に付けられるよう多種多様な研修を実施しています。令和3年度は、3種11分野20回の研修を実施しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、日程や内容の変更や、参加対象を限定した研修もあることから、参加者数は評価指標に達しませんでした。しかしながら、動画配信によるオンデマンド研修や、対面とオンラインを併用した研修など、中止することなく研修形態の工夫をして職員に求められる資質と専門性の向上を図る取組みを進めることができました。												
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	平成28年度以降、地域連携担当教員を対象とした研修が悉皆参加から希望参加に変更となったことや、他機関の実施する研修の受講機会が増えたことに加え、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症対策のための研修日程や内容の変更、参加対象の縮小により、数値目標は下回りましたが、概ね計画通り、職員の資質とスキル向上のための取組みを進めることができました。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和4年度から数値目標を現在の【参加者数年間1,000人以上】から【受講者アンケートにおける「職務に参考になる」肯定的な回答率90%以上】に変更し、研修の充実を図る予定です。												
備考													

項目番号	2(1)	No.	61	枝番	-	所管局	市民局	担当課	市民協働推進課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続	
実施項目	若者の社会参加の促進							取組み名	-					
取組内容	若者・学生が様々な世代との交流を通じ、地域に関心を持てるよう地域活動やまちづくりへの参加を促進する事業を実施します。 また、若者の力を生かしたまちづくりを行うため、大学との協働による地域連携促進事業を実施します。													
目 標	まちづくりの担い手となる若者の育成に関する事業を毎年度15事業（全市）実施します。													
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。												
	実績・見込	平成28年度	若者の育成に関する17事業を実施											
数値目標		説明							H28	H29	H30	R1	R2	R3
	見込	事業数							15事業	15事業	15事業	15事業	15事業	15事業
	実績	事業数							17事業	20事業	16事業	19事業	20事業	23事業
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	学生を中心とした若者が地域課題の解決策の企画・立案やフィールドワークを重ねる「仙台ミラソン」や、まちづくりの人材育成を行う「WE SCHOOL」等のイベント開催、大学連携を生かした地域づくり事業への支援等、17事業を実施しました。											
		H29	平成28年度に引き続き、若者の社会参画を促進するイベントの開催、大学連携を生かした地域づくり事業への支援等を実施したほか、環境や社会起業などの分野でさらなる事業展開を図るなど、計20事業を実施しました。											
		H30	平成29年度に引き続き、若者の社会参画を促進するイベントの開催、大学との連携を生かした地域づくり事業への支援等を実施したほか、環境や防災などの分野で事業展開を図るなど、計16事業を実施しました。											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	平成30年度に引き続き、若者の社会参画を促進するイベントの開催、大学との連携を生かした地域づくり事業への支援等を実施したほか、環境や防災などの分野で事業展開を図るなど、計19事業を実施しました。											
		R2	令和元年度に引き続き、若者の社会参画を促進するイベントの開催、大学との連携を生かした地域づくり事業への支援等を実施したほか、環境や防災などの分野で事業展開を図るなど、計20事業を実施しました。											
		R3	令和2年度に引き続き、若者の社会参画を促進するイベントの開催、大学との連携を生かした地域づくり事業への支援等を実施したほか、環境や防災などの分野で事業展開を図るなど、計23事業を実施しました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	年次の目標を達成しており、順調に進捗しています。										
今後の進め方（課題への対応）	引き続き、若者団体からの提案に基づき市が協働して実施する事業や、参加する若者の新たなアイデアの発信等を目指すプログラムなどを通して、若者の発想や活動を積極的に生かしたまちづくりを推進していきます。													
備 考														

項目番号	2(1)	No.	62	枝番	-	所管局	経済局	担当課	経済企画課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	地元企業の地域貢献や社会的課題解決等に資する取組みの促進							取組み名	-				
取組内容	仙台「四方よし」企業大賞を通じて地元中小企業の地域貢献や社会的課題解決等に資する優れた取り組みを表彰し積極的に発信します。												
目標	令和2年度から令和3年度末までに、「四方よし」宣言企業への延べエントリー企業数30社以上を目指します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	中小企業の地域貢献活動などに対する表彰制度を構築・実施										
		平成29年度	中小企業の地域貢献活動などに対する表彰制度を実施										
		平成30年度	中小企業の地域貢献活動などに対する表彰制度・制度のPRイベントを実施										
		令和元年度	中小企業の地域貢献活動などに対する表彰制度・制度のPRイベントを実施										
		令和2年度	随時「四方よし」宣言企業へのエントリー受付、2年に1度の表彰に制度変更										
		令和3年度	随時「四方よし」宣言企業へのエントリー受付 随時「四方よし」宣言企業へのエントリー受付 大賞表彰を予定していたが、感染症の影響により令和4年度に実施を見送った。										
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	中小企業の地域貢献活動などに対する表彰制度を構築し、表彰企業を決定しました。 (大賞) お茶の井ヶ田(株) (優秀賞) ハリウコミュニケーションズ(株)、(株)ナナイロ、スモリ工業(株)										
		H29	中小企業の地域貢献活動などを評価し、表彰企業を決定しました。 (大賞) (株)サイコー (優秀賞) (株)清月記、(株)グッドツリー										
		H30	中小企業の地域貢献活動などを評価し、表彰企業を決定しました。また、平成31年3月に歴代受賞企業の参加を得て制度のPRイベントを開催しました。 (大賞) (株)セレクトィー (優秀賞) (株)ミツイ、(株)ユーメディア										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	中小企業の地域貢献活動などを評価し、表彰企業を決定しました。また、令和元年9月に歴代受賞企業の参加を得て制度のPRイベントを開催しました。 (大賞) (株)未来企画 (優秀賞) (株)関・空間設計、(株)深松組 (特別賞) (株)サムライアロハ										
		R2	通年で「四方よし」宣言企業へのエントリーを受付し、延べ11社が登録しています。また、令和2年9月に歴代受賞企業の参加を得て、オンラインによる制度のPRイベントを開催しました。										
	R3	通年で「四方よし」宣言企業へのエントリーを受付し、延べ26社が登録しています。また、伊達武将隊をアンバサダーに起用し、宣言企業の取り組みを発信するなど、周知・広報を行いました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	令和元年度から開始した「四方よし」宣言企業制度は、登録企業数がR3年度末時点で延べ26社に留まっているものの、定期的な登録があり、目標は概ね達成したと言えます。									
今後の進め方 (課題への対応)	市内中小企業の四方よしな取り組みの見える化及び裾野の拡大を図るため、引き続き「四方よし」宣言企業へのエントリーを受け付けます。宣言事業の募集にあたっては、歴代受賞企業・宣言企業の取り組み発信に加え、引き続き伊達武将隊をアンバサダーに起用し、周知・広報を強化していきます。また、R3年度より延期した大賞表彰を行います。												
備考													

項目番号	2(1)	No.	63	枝番	-	所管局	経済局	担当課	産業振興課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	コミュニティビジネス・ ソーシャルビジネスの促進							取組み名	-				
取組内容	地域資源を活用しながら地域課題の解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスを促進します。												
目標	計画期間中（令和元年度～令和4年度）に社会起業家を40名以上輩出します。												
進捗状況 (括弧は実績・見込)	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
		平成28年度	社会起業家によるトークイベント「SENDAI Social Innovation Night」を3回開催 参加者 135名										
		平成29年度	社会起業家によるトークイベントを計13回開催 参加者 699名 社会起業家個別集中支援プログラム「SOCIAL IGNITION Accelerator」を実施 受講者 社会起業家12名										
		平成30年度	社会起業家によるトークイベントを計12回開催 参加者 778名 社会起業家個別集中支援プログラム「Social Innovation Accelerator」を実施 受講者 社会起業家12名										
		令和元年度	社会起業家によるトークイベントを計11回開催 参加者 770名 社会起業家個別集中支援プログラム「Social Innovation Accelerator」を実施 受講者 社会起業家12名										
		令和2年度	社会起業家によるトークイベントを計10回開催 参加者 743名 社会起業家個別集中支援プログラム「Social Innovation Accelerator」を実施 受講者 社会起業家12名										
		令和3年度	社会起業家によるトークイベントを計10回開催 参加者 734名 社会起業家個別集中支援プログラム「Social Innovation Accelerator」を実施 受講者 社会起業家13名										
数値目標		説明						H28	H29	H30	R1	R2	R3
	見込実績	社会起業家輩出数 ※年度末の値											10
		社会起業家輩出数									12	12	13
単年度ごとの 主な実績	仙台市役所経営プラン	H28	社会起業家によるトークイベント「SENDAI Social Innovation Night」を開催しました。第1回目は30名、第2回目は51名、第3回目は54名が参加しました。当イベントでは、どのようなきっかけで、どのような想いを持って、どんな社会課題と向き合い、解決に努めてきたのかを登壇者から説明いただき、地域課題解決を目指す社会起業家に関する理解を深めました。										
		H29	<ul style="list-style-type: none"> 社会起業家によるトークイベントを以下の通り複数回開催しました。 「SENDAI SOCIAL INNOVATION SUMMIT」(1回開催、300名参加) 「SENDAI Social Innovation Night」(11回開催、377名参加) 「起業家交流イベントカフェトーク(社会起業家編)」(1回開催、22名参加) 社会起業家個別集中支援プログラム「SOCIAL IGNITION Accelerator」を実施し、12名の社会起業家の集中支援を行いました。 										
		H30	<ul style="list-style-type: none"> 社会起業家によるトークイベントを以下の通り複数回開催しました。 「SENDAI SOCIAL INNOVATION SUMMIT 2019」(1回開催、307名参加) 「SENDAI Social Innovation Night」(10回開催、430名参加) 「起業家交流イベントカフェトーク(社会起業家編)」(1回開催、41名参加) 社会起業家個別集中支援プログラム「Social Innovation Accelerator」を実施し、12名の社会起業家の集中支援を行いました。 										
		H31(R1)	<ul style="list-style-type: none"> 社会起業家によるトークイベントを以下の通り複数回開催しました。 「SENDAI SOCIAL INNOVATION SUMMIT 2020」[1回開催(オンライン同時配信)、263名参加、イベント開催中の動画再生回数759回] 「SENDAI Social Innovation Night」(10回開催、507名参加) 社会起業家個別集中支援プログラム「Social Innovation Accelerator」を実施し、12名の社会起業家の集中支援を行いました。 										
		R2	<ul style="list-style-type: none"> 社会起業家によるトークイベントを以下の通り複数回開催しました。 「SENDAI SOCIAL INNOVATION SUMMIT 2021」[1回開催(オンライン同時配信)、103名参加、イベント開催中の動画再生回数935回] 「SENDAI Social Innovation Night」(9回開催、640名参加) 社会起業家個別集中支援プログラム「Social Innovation Accelerator」を実施し、12名の社会起業家の集中支援を行いました。 										
		R3	<ul style="list-style-type: none"> 社会起業家によるトークイベントを以下の通り複数回開催しました。 「SENDAI SOCIAL INNOVATION SUMMIT 2022」[1回開催(オンライン同時配信)、133名参加、イベント開催中の動画再生回数1,045回] 「SENDAI Social Innovation Night」(9回開催、601名参加) 社会起業家個別集中支援プログラム「Social Innovation Accelerator」を実施し、13名の社会起業家の集中支援を行いました。 										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)		令和3年度は、社会起業家個別集中支援プログラムにより13名の社会起業家を輩出したほか、社会起業家によるトークイベントに734名が参加し潜在的な社会起業家層のすそ野を広げることができており、概ね予定どおり進捗しています。								
今後の進め方(課題への対応)	トークイベント及び社会起業家集中支援プログラムを継続して実施するとともに、次世代の起業人材の育成にも取り組み、社会起業に関する機運を醸成しつつ社会起業家を連続的に輩出する仕組みを構築します。												
備考													

項目番号	2(1)	No.	64	枝番	-	所管局	市民局	担当課	市民協働推進課	プラン掲載年度	H29	進行状況	継続
実施項目	地域における多様な主体の協働推進							取組み名	-				
取組内容	区役所・総合支所を中心に、地域づくりにおける伴走型・アウトリーチ型支援の取り組みを行うとともに、地域づくりのさまざまな段階に対応する支援のしくみを設け、多様な主体による協働の取り組みを支援します。												
目標	令和3年度は、地域協働サポートプログラムについて1件以上実施するとともに、助成事業については全体で6件以上の助成を行います。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 地域診断・課題発掘等支援の実施 地域協働サポートプログラムの実施 地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業の実施 協働まちづくり推進助成事業（経過措置分）の実施											
	実績（括弧は見込）	平成28年度 新助成制度の検討を行った上で、モデル事業の募集を実施 平成29年度 モデル事業4事業を実施するとともに、平成30年度事業を募集した 平成30年度 4事業を実施するとともに、平成31年度（令和元年度）事業を募集した 令和元年度 3事業を実施するとともに、令和2年度事業を募集した 令和2年度 4事業を実施するとともに、令和3年度事業を募集した（継続事業のみ） 令和3年度 11事業（地域協働サポートプログラム2事業、地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業7事業、協働まちづくり推進助成事業2事業（継続事業のみ））を実施した											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	新助成制度の検討を行うとともに、モデル事業を募集し、審査の結果、応募9事業中4事業を助成候補事業に選定しました。										
		H29	選定した4事業に助成し、事業を実施しました。また、平成30年度事業の募集にあたり、助成期間を最長2年間に設定し、応募6事業中4事業を助成候補事業に選定しました。										
		H30	選定した4事業に助成し、事業を実施しました。また、令和元年度事業を募集し、応募5事業中4事業を助成候補事業に選定しました。										
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	選定した3事業に助成し、事業を実施しました。また、令和2年度事業を募集し、応募6事業中4事業を助成候補事業に選定しました。										
		R2	選定した4事業に助成し、事業を実施しました。また、令和3年度事業については、制度見直しのため継続事業のみ募集し、応募のあった2事業を助成候補事業に選定しました。										
		R3	選定した11事業（地域協働サポートプログラム2事業、地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業7事業、協働まちづくり推進助成事業2事業（継続事業のみ））に助成し、事業を実施しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	年次の目標を達成しており、順調に推移しています。実施した11事業については、定期的に進捗状況を確認しながら必要なサポートを提供し、概ね安定的に運用しています。									
今後の進め方（課題への対応）	引き続き、協働まちづくり推進助成事業の後継事業である「地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業」等を実施し、地域づくりの各段階に応じた取り組みへの支援を行います。												
備考													

項目番号	2(1)	No.	65	枝番	-	所管局	市民局	担当課	地域政策課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	完了
実施項目	まちづくり活動事例集の作成							取組み名	-				
取組内容	まちづくり活動に関する事例を紹介する活動事例集を作成し、地域づくりに関する情報提供を行います。												
目 標	毎年度、まちづくり活動事例集を作成します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	<p>平成28年度 「おらほ!のまちづくり」(第7号) 7,500部発行 平成29年度 「おらほ!のまちづくり」(第8号) 7,500部発行 平成30年度 「おらほ!のまちづくり」(第9号) 7,500部発行 令和元年度 「おらほ!のまちづくり」(第10号) 7,500部発行 令和2年度 「おらほ!のまちづくり」(第11号) 7,500部発行</p> <p>※市内の事例を網羅的に紹介する「おらほ!のまちづくり」については、令和2年度まででその目標を達成し、第11号で終了しました。今後は、地域が置かれた状況や課題の性格を踏まえた地域課題解決の取り組み等の紹介を行い、ノウハウの横展開を行います。</p>											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28	地域活動の事例を紹介するリーフレット「おらほ!のまちづくり」(第7号)を7,500部発行し、各町内会や小中学校・市民センターに配布するなど幅広い情報提供を行いました。										
		H29	地域活動の事例を紹介するリーフレット「おらほ!のまちづくり」(第8号)を7,500部発行し、各町内会や小中学校・市民センターに配布するなど幅広い情報提供を行いました。										
		H30	地域活動の事例を紹介するリーフレット「おらほ!のまちづくり」(第9号)を7,500部発行し、各町内会や小中学校・市民センターに配布するなど幅広い情報提供を行いました。										
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	地域活動の事例を紹介するリーフレット「おらほ!のまちづくり」(第10号)を7,500部発行し、各町内会や小中学校・市民センターに配布するなど幅広い情報提供を行いました。 また、今回は第10号という節目の発行であったことから、内容を拡充し、5区2総合支所全て(例年は2~3区・支所)の地区の事例を取り上げる形で作成しました。										
		R2	地域活動の事例を紹介するリーフレット「おらほ!のまちづくり」(第11号)を7,500部発行し、各町内会や小中学校・市民センターに配布するなど幅広い情報提供を行いました。										
R3													
目標達成 状況			目標達成状況 の説明 (根拠等)										
今後の進め方 (課題への対応)													
備 考	令和2年度完了												

項目番号	2(1)	No.	66	枝番	-	所管局	まちづくり 政策局・市民局	担当課	政策企画課 広聴課 市民協働推進課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	政策形成過程への市民参加							取組み名	-				
取組内容	市民の視点に立ち市民のニーズを的確に把握し、市政に有効に反映させるため、市民アンケートやパブリックコメントはもとより、ワークショップや説明会などを積極的に活用し、政策形成過程や事業実施などにおける市民参画を進めます。												
目標	多くの市民及び関係団体の意見を生かすため、次期総合計画策定等をはじめとして、政策の企画、立案等における市民意見の提出の機会をさらなる確保に努めます。 また、重要プロジェクト等について、市民アンケート、ワークショップやパブリックコメント等を活用し、政策形成過程等への市民参加を進めます。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込	平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度	市民意識調査、市民まちづくりフォーラム及びパブリックコメントを実施 市民意識調査、市民まちづくりフォーラム及びパブリックコメントを実施 市民意識調査、市民まちづくりフォーラム及びパブリックコメントを実施 市民意識調査、市民まちづくりフォーラム及びパブリックコメントを実施 「仙台市協働まちづくり推進プラン2016」により関連する19事業の進捗管理を実施										
		令和2年度	基本計画中間案に対するパブリックコメント、基本計画中間案説明会及び総合計画策定にかかる市民参画イベントを実施 パブリックコメントを実施 「仙台市協働まちづくり推進プラン2016」により関連する19事業の進捗管理を実施及び関連する18事業を掲載した「仙台市協働まちづくり推進プラン2021（R3～R7年度）」を策定										
		令和3年度	総合計画のチャレンジプロジェクトをテーマとした市民参画イベントを実施 パブリックコメントを実施 「仙台市協働まちづくり推進プラン2021」により関連する18事業の進捗管理を実施										
単年度ごとの主な実績	仙台市役所経営プラン	H28	施策目標に関する市民意識調査の実施（有効回収数：2,337人） 市民まちづくりフォーラムの実施（参加市民：61人） パブリックコメントの実施（件数：15件）										
		H29	施策目標に関する市民意識調査の実施（有効回収数：2,193人） 市民まちづくりフォーラムの実施（参加市民：52人） パブリックコメントの実施（件数：12件）										
		H30	施策目標に関する市民意識調査の実施（有効回収数：2,029人） 市民まちづくりフォーラムの実施（参加市民：62人） 総合計画策定にかかる市民参画イベント（参加市民：118人） 区別計画策定にかかる区民参画イベント（参加市民：286人） パブリックコメントの実施（件数：10件）										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	施策目標に関する市民意識調査（有効回収数：2,018人） 市民まちづくりフォーラム（参加市民：114人） 総合計画策定にかかる区民参画イベント （青葉区37人、宮城野区44人、若林区49人、太白区46人、泉区45人） せんだい中高生会議（参加者数：54人） 東北における仙台のあり方と地域づくりシンポジウム（参加者数：109人） パブリックコメントの実施（件数：9件） 「協働によるまちづくりの推進に関する条例」及び「協働によるまちづくりの推進のための基本方針」では、基本施策の一つに「政策形成過程への市民の参画の推進」を掲げており、当基本施策に関する各局の19事業を「協働まちづくり推進プラン2016」にまとめ、進捗管理を行いました。										
		R2	施策目標に関する市民意識調査→新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し実施せず 基本計画中間案に対するパブリックコメントの実施（意見数：259件） 基本計画中間案説明会の実施（参加市民：325人） 総合計画策定にかかる市民参画イベント（参加市民：約100人 ※会場参加70人・WEB参加約30人） パブリックコメントの実施（上記1件を含めた件数：30件） 「協働まちづくり推進プラン2016」により関連する19事業の進捗管理を行うとともに、令和3年度からの新たな計画である「協働まちづくり推進プラン2021」に「政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項」18事業をまとめました。										
R3	施策目標に関する市民意識調査→新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し実施せず 総合計画のチャレンジプロジェクトをテーマとした市民参画イベントを実施（参加市民：20人 WEB開催） パブリックコメントの実施（件数：15件） 「協働まちづくり推進プラン2021」により関連する18事業の進捗管理を行いました。												
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	市民参画イベントやパブリックコメントを活用し、政策形成過程等への市民参加を進めました。 また、パブリックコメントを活用し、政策形成過程等への市民参加を進めました。 「協働まちづくり推進プラン2021」に掲げる18事業（再掲除く）のうち、目標を設定している6事業中5事業が「着実に進捗」または「概ね進捗」し、目標設定のない事業についても、1事業を除き着実に取り組みを進めたと評価しました。									
今後の進め方（課題への対応）	仙台市実施計画の定期的な進捗管理として、数値目標の達成状況、市民アンケートや自己評価などの評価・点検を行い、事業の方向性や予算配分などの見直しに努めます。 また、パブリックコメントの実施にあたっては、多くの市民の参画を得られるよう、市政だよりやホームページを活用するなどにより、周知に努めていきます。												
備考													

項目番号	2(1)	No.	67	枝番	-	所管局	まちづくり 政策局	担当課	定禅寺通 活性化室	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	定禅寺通活性化検討会を通じた公民連携による都心部の賑わい・回遊性づくり							取組み名	-				
取組内容	<p>地元関係者やまちづくり活動プレイヤー、市民等をメンバーとした定禅寺通活性化検討会において、市と仙台商工会議所が事務局となり、定禅寺通やその周辺地域が抱える課題を踏まえ、賑わいの創出やエリア価値の向上を目指した取組みを検討し、都心部に面としての賑わい・回遊性の創出の新たな核づくりを目指します。</p> <p>検討にあたっては、民間コーディネーターを活用し、取組みの推進を図ります。</p>												
目標	令和3年度に、検討会のまちづくり基本構想案を取りまとめます。												
進捗状況	スケジュール	<p>令和元年度～令和3年度 定禅寺通活性化検討会においてまちづくりの方向性やその取組みについて検討</p> <p>令和3年度 検討会のまちづくり基本構想案としてとりまとめ</p>											
	実績・見込	<p>令和元年度 検討会を通じた基本構想とりまとめに向けた検討及び社会実験の実施</p> <p>令和2年度 検討会を通じた基本構想とりまとめに向けた検討及びエリアマネジメント体制構築に向けた具体的議論の開始</p> <p>令和3年度 車線規制を伴う大規模社会実験の実施 検討会としてまちづくり基本構想策定 エリアマネジメント体制の構築</p>											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	定禅寺通における車線規制を伴う社会実験を実施したほか（令和元年10月18～20日）、検討会での検討内容や状況を市民の皆様に関し意見を収集するパブリックミーティングを2回開催しました。										
	R2	基本構想素案（検討チーム案）をとりまとめました。 検討会員が空間活用を実践・検証するPWGが2グループから4グループに増え、それぞれミニ社会実験を行いました。											
	R3	PWGが6グループに増え、それぞれミニ社会実験を行ったほか、定禅寺通における車線規制を伴う大規模社会実験を実施（令和3年8月20日～9月7日）しました。 基本構想をとりまとめました。 今後のまちづくりを担うエリアマネジメント体制が構築されました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	まちづくり基本構想が策定され、新たなエリアマネジメント体制による公民連携のまちづくりが動き出しました。									
今後の進め方（課題への対応）	検討会によるまちづくり基本構想等をふまえ、市として本エリアの活性化にかかる基本的な方針を定めるとともに、地元主体のまちづくりを軌道に乗せるよう支援します。												
備考													

項目番号	2(1)	No.	68	枝番	-	所管局	都市整備局	担当課	都心まちづくり課	プラン掲載年度	H31(R1)	進行状況	継続
実施項目	公共空間利活用等を通じたまちづくり活動の促進							取組み名	-				
取組内容	<p>エリアマネジメント団体やまちづくり会社などが実施する道路や公園といった公共空間の利活用事業を支援し、民間主体のまちづくり活動を促進します。</p> <p>また、その発展的な取り組みとして、それら民間団体による公共空間の管理運営についても管理者や関係機関等との調整を図りながら実現に向けた取組みを行います。</p>												
目標	公共空間の利活用等を通じたまちづくり活動のより一層の拡大を図ります。												
進捗状況	スケジュール	年間を通じ、公共空間利活用に関する情報発信・情報提供・ワンストップ窓口等の支援を行います。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度	公共空間の利活用 (情報発信・情報提供・窓口支援)	15件	令和2年度	公共空間の利活用 (情報発信・情報提供・窓口支援)	7件	令和3年度	公共空間の利活用 (情報発信・情報提供・窓口支援)	6件			
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	令和元年度	公共空間の利活用 (情報発信・情報提供・窓口支援)	15件	【実施日数：21日】							
		R2	令和2年度	公共空間の利活用	7件	【実施日数：541日】							
		R3	令和3年度	公共空間の利活用	6件	【実施日数：991日】							
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	新型コロナウイルス感染症の影響により、公共空間におけるイベントの多くが開催されませんでした。一方で、新たな生活様式に対応した実施方法を検討し、歩道におけるテラス営業の継続的な実施や、都市公園内でのキッチンカーの出店等を中長期間で開催する事例が増加しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	実施主体が公共空間を活用するだけでなく、まちづくり団体等が行政と連携して、主体的に管理運営する(エリアマネジメント活動)を目指した企画に取組む件数が増えてきました。今後は、更なる賑わいの創出や回遊性の向上を目指し、運営組織の設立や公共空間の利活用に関するルールづくり等を継続的に支援していきます。												
備考													

項目番号	2(1)	No.	69	枝番	-	所管局	まちづくり政策局	担当課	プロジェクト推進課	プラン掲載年度	H31(R1)	進行状況	継続
実施項目	連携窓口による公民連携の推進							取組み名	-				
取組内容	民間企業等から、民間の発想に基づき、行政サービスの質的向上や効率化などに寄与する提案を受け付けるとともに、担当部局の紹介など、入口部分における必要な支援を行うため、ハブ的役割を担う窓口であるクロス・センダイ・ラボを活用し、公民連携事業を推進します。また、新型コロナウイルス感染症で浮き彫りとなった本市業務や事業に関する課題について、新たに連携事業等の募集を行い、効果的な施策の実現を目指します。												
目標	公民連携に係るワンストップ窓口により、民間企業等との対話と連携を円滑に進め、新たな価値や事業機会の創出を促進し、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度より事業を開始しており、以降は毎年度、取組内容や目標に記載した事項について、着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度	窓口となる「クロス・センダイ・ラボ」を開設 窓口で受け付けた案件から、連携事業1件、実証実験1件が実現										
		令和2年度	窓口で受け付けた案件から、連携事業4件、実証実験7件が実現 新型コロナウイルス感染症の影響により顕在化する課題の解決に向けた提案募集を実施										
		令和3年度	デジタル化を活用した地域課題の解決及び地域経済活性化に向けた提案募集を実施 窓口で受け付けた案件から、連携事業7件、実証実験4件が実現 仙台市も実証費用を負担する「課題設定型実証公募」の提案募集を実施										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	民間企業等からの提案や相談を一括で受け付け、関係部局との調整を一元的に行う窓口である「クロス・センダイ・ラボ」を令和元年11月より開設し、行政課題や地域課題の解決に向けた提案を幅広く受け付け、連携を推進する「パートナーシップ推進事業」と、近未来技術(AI、IoT、自動走行、ドローン等)の実証実験の円滑な実施のため、必要な手続きや関係機関等との調整を行う「近未来技術実証ワンストップセンター事業」を実施しています。 クロス・センダイ・ラボにより受け付けた案件のうち、令和元年度は各事業1件ずつ実現した案件がありました。										
		R2	令和2年度は、窓口で受け付けた案件から、連携事業4件、実証実験7件が実現しました。また、新たに課題設定型の募集も実施し、令和2年6月には新型コロナウイルス感染症の影響により顕在化する課題への提案(7者から提案有)、令和3年3月にはデジタル化の取り組みに関する提案(28者から提案有)を募集しました。										
	R3	令和3年度は、窓口で受け付けた案件から、連携事業7件、実証実験4件が実現しました。また、新たに実証費用を仙台市が負担する「課題設定型実証公募」を令和4年3月から開始するとともに、本実証を経て開発された製品を随意契約できる制度を新設しました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	令和3年度は、前年度と同程度の件数を実現しました。また、「課題設定型実証公募」の提案募集の実施等、公民連携の推進に積極的に取り組みました。									
今後の進め方(課題への対応)	引き続き実施事例を積み重ねながら、民間企業等との連携を推進していきます。												
備考													

項目番号	2(1)	No.	70	枝番	-	所管局	市民局	担当課	市民協働推進課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続	
実施項目	市民協働事業提案制度の充実							取組み名	-					
取組内容	地域の身近な課題の解決や魅力の向上に市民が自らの発案と行動によって取り組むことができるよう、市民活動団体等から事業の提案を募集し、仙台市と協働で事業を実施します。事業テーマについては、市民からの自由提案のほか、行政側でのテーマ設定を行います。													
目標	毎年度4件以上の協働事業を実施します。													
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。												
	実績・見込	平成28年度 5事業（新規事業2、継続事業2、テーマ設定1）を実施 平成29年度 5事業（新規事業2、継続事業2、テーマ設定1）を実施 平成30年度 4事業（新規事業1、継続事業2、テーマ設定1）を実施 令和元年度 4事業（新規事業2、継続事業1、テーマ設定1）を実施 令和2年度 5事業（新規事業2、継続事業2、テーマ設定1）を実施 令和3年度 4事業（継続事業2、テーマ設定2）を実施 （令和4年度 1事業（テーマ設定1）を実施）												
数値目標	説明							H28	H29	H30	R1	R2	R3	
	見込	実施事業数					4	4	4	4	4	4		
	実績	実施事業数					5	5	4	4	5	4		
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	(1) ホームレスの可視化と調査、及び自立のための啓発協働事業 (2) GoodJob! 東北プロジェクト 福祉×クリエイティブ産業の協働事業 (3) 仙台市HIV抗体検査の新規受検促進事業（継続） (4) 旧耐震マンションの耐震化促進と管理の適正化に資する支援事業（継続） (5) 表現活動による障害者差別解消・障害理解の促進に関するPR事業 「TOGETHER ACTION PROJECT (TAP)」											
		H29	(1) がん患者等に対する再就職支援及び就労継続支援協働事業 (2) 貧困家庭等の子どもを対象とした夕食支援による地域の居場所づくり活動 (3) 仙台市内のホームレスの全体的把握と居宅確保後の地域定着に向けた伴走支援（継続） (4) GoodJob! 東北プロジェクト 福祉×クリエイティブ産業の協働事業（継続） (5) 西公園パークマネジメント社会実験事業											
		H30	(1) がん患者等に対する再就職支援及び就労継続支援協働事業（継続） (2) 地域の居場所「おりぎの食卓」孤食や生活困窮家庭の子どもを中心とした多世代夕食支援事業（継続） (3) 多様な性のあり方の理解と課題の可視化について 多様な協働の場を創出する事業（にじいろ協働事業） (4) 公共交通ラポ											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	(1) 多様な性のあり方の理解と課題の可視化について 多様な協働の場を創出する事業（にじいろ協働事業）（継続） (2) 「ふれあい広場」連携拠点の試行による青少年の居場所に対するニーズの実証事業 (3) 客引き対策（客引き規制条例）の実効性を高めることを目的とした「客引きを利用しない国分町のにぎわいづくり」 (4) 荒井駅を起点とする仙台東部エリア集客・交流促進事業											
		R2	(1) 「ふれあい広場」連携拠点の試行による青少年の居場所に対するニーズの実証事業（継続） (2) 客引き対策（仙台市客引き行為等の禁止に関する条例）の実効性を高めることを目的とした「客引きを利用しない国分町のにぎわいづくり」（継続） (3) 花降るペDESTリアンデッキ (4) 肴町スモールエリアマネジメントに向けた社会実験 (5) 自転車を楽しむ「ファンライド」調査・発信事業											
		R3	(1) SNS による相談支援と地域の子どもの居場所づくりによる多様なアウトリーチ事業 (2) 父親の家事・育児参加推進事業 (3) 肴町スモールエリアマネジメントに向けた社会実験（継続） (4) 「仙台を花の街に」計画（継続）											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	年次の目標を達成しており、順調に推移しています。本制度で実施した事業の一部は、事業担当課で事業を継続する等、協働事業の拡がりとともに継続的な取り組みとなっています。										
今後の進め方（課題への対応）	引き続き、情報発信の充実による庁内外への制度周知や、提案に至るまでの相談支援体制の強化、協働想定課と提案団体による事前協議の機会充実などを通じ、より多くの提案が得やすい仕組みづくりを進めます。													
備考														

項目番号	2(1)	No.	71	枝番	-	所管局	建設局	担当課	公園管理課	プラン掲載年度	H31(R1)	進行状況	継続
実施項目	都市公園のPPP推進							取組み名	-				
取組内容	公園の魅力をより一層向上させるため、公園の特性や周辺環境、利用者ニーズに応じて飲食店や売店、レクリエーション施設等の民間施設を誘致し、民間活力による新たな公園サービスを提供します。また、公園の運営においても、市民や民間事業者と連携し、より柔軟で効率的な公園運営を図ります。												
目標	民間事業者により設置管理を行う公園施設を、令和3年度末までに4か所以上とします（平成29年度末：2か所）。												
進捗状況	スケジュール	<p>【民間施設誘致】</p> <p>令和元年度 勾当台公園での官民連携事業開始 榴岡公園での官民連携事業見直し 他公園サウンディング調査</p> <p>令和2年度 サウンディング調査等</p> <p>令和3年度 民間事業者の公募等</p> <p>【PPPによる公園運営】</p> <p>令和元年度 公民連携による公園運営管理の推進 多様な寄附制度の検討 民間による公園運営社会実験</p> <p>令和2年度 公園運営活動協働モデル事例集の作成</p> <p>※PPP…パブリック・プライベート・パートナーシップ。官民連携事業の総称。行政と民間が連携して、それぞれお互いの強みを生かすことによって、最適な公共サービスの提供を実現し、地域の価値や住民満足度の最大化を図るもの。</p>											
	実績・見込 (括弧は見込)	<p>【民間施設誘致】</p> <p>令和元年度 榴岡公園のPark-PFI事業については、選定事業者と協議を続けてきましたが、実施には至りませんでした。</p> <p>令和2年度 榴岡公園での官民連携事業の見直し</p> <p>令和3年度 榴岡公園での官民連携事業の見直し、社会実験の実施</p> <p>(令和4年度 榴岡公園での官民連携事業の公募に向けた事業者等との条件整理)</p> <p>【PPPによる公園運営】</p> <p>令和元年度 勾当台公園における運営の開始 官民連携による公園運営管理の推進 多様な寄附制度の検討</p> <p>令和2年度 公園運営活動協働モデル事例の資料収集</p> <p>令和3年度 公園運営活動協働モデル事例集の作成に着手</p>											
単年度ごとの主な実績	仙台市役所経営プラン	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	勾当台公園での官民連携事業については、運営を開始いたしました。榴岡公園のPark-PFI事業については、選定事業者と協議を続けてきましたが、実施には至りませんでした。										
		R2	勾当台公園での官民連携事業については、継続運営中です。榴岡公園のPark-PFI事業については実施には至りませんでした。地域まちづくり団体等との新たなPPP事業の実施について協議をしました。										
		R3	勾当台公園での官民連携事業については、継続運営中です。榴岡公園については、地域まちづくり団体との新たなPPP事業の可能性を検証することを目的として令和3年9月下旬から令和4年3月下旬まで社会実験を実施しました。										
目標達成状況	△		目標達成状況の説明(根拠等)	目標を4か所以上としておりましたが目標未達(3か所)のため、目標達成状況を「△」としました。現在も、官民連携による社会実験を実施しており、目標達成に向けた取り組みを進めています。									
今後の進め方(課題への対応)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点により社会実験の開始時期を見直したことから、引き続き地域まちづくり団体と連携のもと社会実験を継続実施します。今後、社会実験の検証を行い、Park-PFI事業に限らない官民連携事業の検討も含め、多様な相手先との連携を進めます。												
備考													

項目番号	2(1)	No.	72	枝番	-	所管局	市民局	担当課	広聴課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	市民との対話の機会や場の確保							取組み名	-				
取組内容	市民の声を施策の企画立案や行政運営に生かしていくため、市長や区長をはじめ職員が直接市民と対話・交流する機会や場を積極的に設けていきます。												
目 標	市長とふれあいトーク、地域懇談会、市政出前講座などを実施し、直接市民と対話・交流する機会や場の確保に努めます。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 直接市民と対話・交流する機会や場の確保を実施 平成29年度 事業再編により「市長とカフェトーク」「市長と地域のつどい」を 「市長とふれあいトーク」に統合 平成30年度 「市長とふれあいトーク」実施(7回)ほか 令和元年度 「市長とふれあいトーク」実施(7回)ほか 令和2年度 「地域懇談会」の実施(33回)ほか 令和3年度 「地域懇談会」の実施(30回)ほか (令和4年度 継続実施しつつ、適宜、方法などについて見直しを行う)											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28	市長とカフェトークの実施(4回) 市長と地域のつどい等の実施(5回) 地域懇談会・動く区長室の実施(39回) 市政出前講座の実施(98回)										
		H29	市長とふれあいトークの実施(2回 ※年央の事業再編のため) 地域懇談会・動く区長室の実施(43回) 市政出前講座の実施(95回)										
		H30	市長とふれあいトークの実施(7回) 地域懇談会の実施(39回) 市政出前講座の実施(102回)										
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	市長とふれあいトークの実施(7回) 地域懇談会の実施(41回) 市政出前講座の実施(108回)										
		R2	地域懇談会の実施(33回) 市政出前講座の実施(41回)										
		R3	地域懇談会の実施(30回) 市政出前講座の実施(71回)										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	コロナ禍であっても、さまざまな機会や方法により、多くの職員が市民と直接対話・交流する場を確保しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	得られた意見等を市政に活かしていくことができるよう、引き続き着実に取り組んでいきます。												
備 考	「市長とふれあいトーク」については、準備を進めていたものの、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により、実施できませんでした。												

項目番号	2(2)	No.	73	枝番	-	所管局	総務局	担当課	行政経営課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	窓口での接遇・対応力の向上							取組み名	-				
取組内容	窓口サービスの質と職員の意欲のさらなる向上のため、窓口対応等についての外部評価の導入や窓口サービスアンケートの実施方法の見直しを図ります。												
目標	計画期間中に実施方法を見直し、窓口サービスの向上を図ります。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 外部評価の導入 窓口サービスアンケートの見直し 令和2年度 外部評価、窓口サービスアンケートの着実な実施											
	(括弧は見込 実績・見込)	令和元年度 外部評価の導入 窓口サービスアンケートの見直し 令和2年度 外部評価、窓口サービスアンケートの実施 令和3年度 外部評価、窓口サービスアンケートの実施											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	窓口対応等について、接遇講師による外部評価を導入し、その結果をもとにした事後研修を実施しました。 窓口サービスアンケートについては、評価を4段階に見直し、区役所・総合支所においては調査員による聞き取りにより実施しました。										
		R2	窓口対応等について、接遇講師による外部評価とその結果をもとにした事後研修を実施しました。(対象：区役所、総合支所及び本庁舎の16課) 窓口サービスアンケートについては、区役所及び宮城総合支所においては調査員による聞き取りにより実施し、その他の施設においては回収箱を設置する方法で実施しました。(回答数2,235件)										
		R3	窓口対応等について、接遇講師による外部評価とその結果をもとにした事後研修を実施しました。(対象：区役所及び総合支所の15課) 窓口サービスアンケートについては、区役所及び宮城総合支所においては調査員による聞き取りにより実施し、その他の施設においては回収箱を設置する方法で実施しました。(回答数2,500件)										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	令和元年度に実施方法を見直し、外部評価や窓口サービスアンケート結果をもとに改善に取り組むことで、窓口サービスの向上が図られています。									
今後の進め方 (課題への対応)	各職場における創意工夫や改善事例を全庁で共有することなどにより、窓口サービスの質と職員の意欲のさらなる向上を図っていきます。												
備考													

項目番号	2(2)	No.	74	枝番	-	所管局	総務局	担当課	職員研修所	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	市民協働に関する職員研修の実施							取組み名	-				
取組内容	職員の協働に関する理解を深めるため、基礎的な考え方や取り組み事例等を学ぶ研修を実施します。												
目標	新規採用職員及び係長職昇任職員に研修を実施します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度 職員の協働に関する理解を深めるための研修を実施 平成29年度 職員の協働に関する理解を深めるための研修を実施 平成30年度 職員の協働に関する理解を深めるための研修を実施 令和元年度 職員の協働に関する理解を深めるための研修を実施 令和2年度 職員の協働に関する理解を深めるための研修を実施 令和3年度 職員の協働に関する理解を深めるための研修を実施											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	新規採用職員研修「市民協働について」(170名受講) 同・まちづくり講話「感動がまちをつくる」(170名受講) 係長研修第I部「市民協働の推進」(165名受講)										
		H29	新規採用職員研修「市民協働について」(241名受講) 同・まちづくり講話「感動がまちをつくる」(241名受講) 係長研修第I部「市民協働の推進」(153名受講)										
		H30	新規採用職員研修「市民協働について」(240名受講) 同・まちづくり講話「感動がまちをつくる」(240名受講) 係長研修第I部「市民協働の推進」(133名受講)										
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	新規採用職員研修「市民協働について」(223名受講) 同・まちづくり講話「感動がまちをつくる」(223名受講) 係長研修第I部「市民協働」(133名受講)										
		R2	新規採用職員研修「協働によるまちづくりについて」(217名受講) 総括主任研修「市民協働推進研修」(185名受講) 係長研修第I部「市民協働推進研修」(122名受講) いずれも、新型コロナウイルス感染症対策として、eラーニングにより実施。										
		R3	新規採用職員研修「協働によるまちづくりについて」(289名受講) 係長研修第I部「市民協働推進研修」(154名受講)										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	新規採用職員研修、総括主任昇任者への研修、係長職昇任者への研修を実施し、目標を達成しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	今後も着実に実施していくとともに、研修内容について関係部署等と協議・検討を進めます。												
備考													

項目番号	2(2)	No.	75	枝番	-	所管局	市民局	担当課	市民協働推進課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	協働推進人材育成事業の実施							取組み名	-				
取組内容	職員をNPO等各種団体に派遣し、実地体験を積みながら市民協働や市民活動に関する知識を深めることで、職員の協働力の向上を図り、庁内の連携および地域課題の解決につなげられる人材を育成します。												
目標	効果的な内容について検討しながら研修を実施することで、職員の協働力の向上を図ります。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込	平成28年度～令和元年度 「協働推進人材育成事業 ～NPO留学してみませんか～（以降、NPO留学）」実施 令和2年度・令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響による事業の見直しにより中止											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	本市職員を5日間程度、NPO等市民活動団体に派遣することにより、実体験をとおしてNPO等に対する理解を深めるとともに、市民協働に関する理解や必要性の認識を高めることで、庁内で協働を推進する人材を幅広く育成することを目的とする「NPO留学」を実施しました。受入団体数は14団体、研修参加者数は20名でした。										
		H29	平成28年度に引き続き「NPO留学」を実施し、受入団体数は14団体、研修参加者は20名となりました。										
		H30	平成29年度に引き続き「NPO留学」を実施し、受入団体数は16団体、研修参加者は20名となりました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	平成30年度に引き続き「NPO留学」を実施し、受入団体数は7団体、研修参加者は16名となりました。										
		R2	新型コロナウイルス感染症の影響による事業の見直しにより、事業を中止しました。										
		R3	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の見直しにより、事業を中止しました。										
目標達成状況	△		目標達成状況の説明(根拠等)	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の見直しにより、事業を中止しました。									
今後の進め方(課題への対応)	新型コロナウイルス感染症の影響を十分考慮しながら事業を実施していくとともに、これまでの研修実施状況や参加職員アンケート結果等を踏まえ、より効果的な手法等を検討していきます。												
備考													

項目番号	2(2)	No.	76	枝番	-	所管局	市民局	担当課	地域政策課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	地域づくり職員研修の実施							取組み名	-				
取組内容	地域づくりに携わる職員を対象に研修を実施することにより、地域づくりに取り組む職員の意識啓発やスキルアップを目指します。												
目標	計画期間中（令和元年度～令和3年度）の研修参加数を150名とします。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度～令和3年度 各区の地域づくりに携わる職員を対象に、仙台市の地域政策や協働によるまちづくりの推進、地域づくりについての研修を行いました。 令和元年度 新任まちづくり職員研修実施（20名参加） 令和2年度 新任まちづくり職員研修実施（27名参加）、地域づくり担当職員研修（31名参加） 令和3年度 新任まちづくり職員研修実施（35名参加）、地域づくり担当職員研修（59名参加）											
数値目標	説明							H28	H29	H30	R1	R2	R3
	見込	研修参加者数（累計） ※年度末の値								50	100	150	
	実績	研修参加者数（年間） 研修参加者数（累計）								20	58	94	
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28	・新任まちづくり職員研修（23名参加）										
		H29	・新任まちづくり職員研修（33名参加） ・ふるさと支援担当職員研修（37名参加） ・地域づくり担当職員研修（26名参加）										
		H30	・新任まちづくり職員研修（23名参加） ・地域づくり担当職員研修（37名参加）										
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	・新任まちづくり職員研修（20名参加） ・地域づくり担当職員研修（新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止）										
		R2	・新任まちづくり職員研修（27名参加 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、eラーニング形式による実施） ・地域づくり担当職員研修（31名参加）										
		R3	・新任まちづくり職員研修（35名参加） ・地域づくり担当職員研修（59名参加） ※両研修ともに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、eラーニング形式による実施										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	3年間の目標を150名としていましたが、最終的には累計174名が研修に参加したことから目標どおりに進めることができました。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、新任まちづくり職員研修及び地域づくり職員研修共にeラーニング形式により実施しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	新任まちづくり職員研修をはじめ必要な研修を継続して実施していくほか、地域づくりに取り組む職員の意識啓発やスキルアップを目指し、効果的な研修の実施に向けて関係各部署との協議・検討を着実に進めていきます。												
備考													

項目番号	2(2)	No.	77	枝番	-	所管局	市民局	担当課	区政課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	区役所組織の再編							取組み名	-				
取組内容	今後一層複雑化・多様化すると考えられる地域課題解決に向け、地域の最前線である区役所が地域政策・市民協働推進の拠点となること、また、窓口業務や保健福祉部門をはじめとして、サービス提供体制の充実・強化を図りながら、真に区民から頼りにされる区役所であり続けることを目的として、適正な職員配置と区役所組織の再編を進めます。												
目標	計画期間中に区役所の機能強化に向けた組織の見直しを行います。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和2年度	区役所におけるまちづくり施策を推進するための機能強化に関する検討・調整 保健福祉センターに保育給付課を新設(4月) 保険年金課医療助成係の業務を保育給付課・障害高齢課へ移管(1月)										
		令和3年度	区役所におけるまちづくり施策を推進するための機能強化に関する検討・調整 区役所まちづくり推進部の担当課長を「地域力推進担当課長」へ改称(4月) 宮城総合支所に「地域活性化推進室」を設置(4月) 秋保総合支所総務課に「地域活性化推進係」を設置(4月)										
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政 改革推進 プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	令和2年4月以降、段階的に保健福祉センターの見直しを行うとともに、区民部・まちづくり推進部については、新総合計画の策定期間も踏まえ、令和3年4月の改正を目指す方針を決定しました。										
R2		地域特性に応じた課題解決とまちづくりを進めるため、区役所まちづくり推進部における担当課長の継続配置を行いました。											
R3		多様な課題の解決に向け、地域の力を一層活かしたまちづくりを進めるため、区役所まちづくり推進部の「ふるさと支援担当」を「地域力推進担当」に改称しました。また、宮城総合支所には「地域活性化推進室」を、秋保総合支所総務課には「地域活性化推進係」を設置しました。											
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	住民ニーズを踏まえながら、サービス提供体制等の充実・強化を図るなどの取り組みを進めています。									
今後の進め方 (課題への対応)	今後とも区役所の機能強化に向けて、適正な職員配置や区役所組織の再編の検討を進めていきます。												
備考													

項目番号	2(2)	No.	78	枝番	-	所管局	市民局	担当課		広聴課		プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	総合コールセンター等の運用							取組み名	-						
取組内容	総合コールセンターを運用するとともに、市政に関する「よくある問い合わせと回答（FAQ）」を専用ホームページで公開するほか、ICT技術を活用した新たなサービスの導入を図ります。														
目標	市民が市政に関する必要な情報をより手軽に入手できる環境を整備し、市民サービスの向上と市役所業務の効率化を図ります。														
進捗状況	スケジュール	令和元年度 コールセンター等整備基本構想策定 コールセンター整備・運営委託業者の選定等 令和2年度 総合コールセンター開設 令和3年度 総合コールセンター運用 AIチャットボット実証実験・運用													
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 5月 仙台市コールセンター等整備基本構想策定 8月 仙台市コールセンター開設準備・運用業務委託事業者の公募開始 1月 委託契約締結 2月 コールセンター開設準備業務に着手 令和2年度 11月5日開設 令和3年度 AIを活用したチャットボット（人工知能を活用した自動会話プログラム） の実証実験・本格導入 (令和4年度 総合コールセンターの安定運用)													
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28													
		H29													
		H30													
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	上記実績に同じ。												
		R2	令和2年11月5日 仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」を開設しました。												
		R3	令和3年10月1日 AIチャットボットの運用を開始しました。												
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	AIチャットボットの実証実験・本格導入を含め、コールセンター事業全体として計画通りに進めました。											
今後の進め方 (課題への対応)	専用ホームページの「よくある質問と回答」（FAQ）やAIチャットボットのさらなる充実により、市民サービスの向上に努めるとともに、コールセンターの認知度向上に取り組んでいきます。														
備考															

項目番号	2(2)	No.	79	枝番	1	所管局	市民局	担当課	区政課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	完了
実施項目	窓口サービス向上に向けた取組み							取組み名	戸籍住民事務の一部集約化				
取組内容	異動届の入力や郵送業務など、戸籍住民事務のうち集約化できるものの一元的な処理等を通じた業務効率化の方策について、市民サービスの向上並びに費用対効果の視点も踏まえ検討します。												
目 標	令和3年度からの導入を念頭に、平成30年度～令和2年度にあり方を検討します。												
進捗状況	スケジュール	平成30年度 課題整理 令和元年度 先進地視察、概算費用の算定、事務スペースの検討 令和2年度 人員配置検討 令和3年度 導入											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 局内プロジェクトチームによる検討、先進地視察、概算費用の算定、事務スペースの検討 令和2年度 集約事務の検討、組織・人員配置の検討 令和3年度 郵送事務センターの開設(11月)											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	区政課・戸籍住民課職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、集約化できる業務の洗い出しやスケジュール等を作成するとともに、先行する他都市視察を行い、実施に向けた準備を進めました。										
		R2	郵送請求の集約化について、具体的な業務及び組織・人員配置等の詳細の検討を行い、令和3年度の実施に向けた準備を進めました。 異動届入力の集約化については、新型コロナウイルス感染症の拡大等、集約によるリスクを考慮し、今回の集約化対象業務としない整理を行いました。										
		R3	令和3年11月に仙台サンブラザ内に郵送事務センターを開設し、区役所・総合支所で取り扱っていた戸籍住民事務・税務事務のうち郵送による証明発行事務の集約化を行いました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	令和3年11月に仙台サンブラザ内に郵送事務センターを開設し、区役所・総合支所で取り扱っていた戸籍住民事務・税務事務のうち郵送による証明発行事務の集約化を行い、業務の効率化を図りました。									
今後の進め方 (課題への対応)													
備 考	令和3年度完了												

項目番号	2(2)	No.	79	枝番	2	所管局	市民局	担当課	区政課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	窓口サービス向上に向けた取組み							取組み名	繁忙期の区役所窓口体制のあり方の検討				
取組内容	繁忙期の混雑緩和等による市民サービスの向上に向けた窓口体制のあり方について検討します。												
目 標	繁忙期における窓口体制のあり方について継続的に検討を行い、実施可能な見直しを行います。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について、着実に実施していきます。											
	(括弧は見込 実績・見込)	平成28年度	繁忙期の平日の開庁時間の延長を実施										
		平成29年度	繁忙期の平日の開庁時間延長に加え、日曜日の窓口開庁を実施										
		平成30年度	繁忙期の平日の開庁時間延長及び日曜日の窓口開庁を実施										
		令和元年度	繁忙期の平日の開庁時間延長及び日曜日の窓口開庁を実施										
		令和2年度	繁忙期の平日の開庁時間延長及び日曜日の窓口開庁を実施										
		令和3年度	繁忙期の平日の開庁時間延長及び日曜日の窓口開庁を実施										
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28	平成29年3月21日から4月4日の平日11日間で18時30分までの延長を行いました。										
		H29	平成30年3月26日から4月4日の平日8日間に18時までの延長を行うとともに、平成30年3月25日と4月1日の日曜日に9時から15時までの窓口開庁を試行的に実施しました。										
		H30	平成31年3月25日から4月3日の平日8日間に18時までの延長を行うとともに、平成31年3月24日と3月31日の日曜日に9時から15時までの窓口開庁を試行的に実施しました。										
	仙台市 役所経営 プラン	H31 (R1)	令和2年3月23日から4月6日の平日11日間に18時までの延長を行うとともに、令和2年3月29日と4月5日の日曜日に9時から15時までの窓口開庁を実施しました。										
		R2	令和3年3月22日から4月5日の平日11日間に18時までの延長を行うとともに、令和3年3月28日と4月4日の日曜日に9時から15時までの窓口開庁を実施しました。 また、パソコンやスマートフォンで、各区役所戸籍住民課窓口の待合状況を確認することができる待合状況公開サービスを全区役所に展開しました。										
		R3	令和4年3月22日から4月4日の平日10日間に18時までの延長を行うとともに、令和4年3月27日と4月3日の日曜日に9時から15時までの窓口開庁を実施しました。										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	関係部署と調整の上、平日窓口の延長に加え日曜窓口の開設を実施し、窓口の混雑を緩和することができました。									
今後の進め方 (課題への対応)	現在行っている戸籍住民事務の分野における平日窓口の延長及び日曜窓口の開設を継続しながら、必要な見直しを行っていきます。												
備 考													

項目番号	2(2)	No.	79	枝番	3	所管局	総務局 市民局	担当課	文書法制課 行政経営課 区政課	プラン 掲載年度	R2	進行状況	継続	
実施項目	窓口サービス向上に向けた取組み							取組み名	窓口サービスの利便性向上					
取組内容	行政手続きの郵送・デジタル化の拡充など、市民が窓口に行かなくても手続きを行える環境を整えるとともに、押印の見直しや申請書類の簡素化等による手続きの更なる効率化を推進するなど、窓口サービスにおける市民の利便性向上を図ります。													
目標	手続きの郵送・デジタル化を拡充するとともに、押印の見直しや申請書類の簡素化等を行い、市民の利便性向上を図ります。													
進捗状況	スケジュール	令和2年度 手続きデジタル化実証実験の実施 令和3年度～ 手続き等の実態把握調査、押印や申請方法等の見直しの実施 実証実験を踏まえたデジタル化の実施 郵送・デジタル化の拡大、申請書類の簡素化等による更なる効率化の検討・実施												
	(括弧は見込)	令和2年度 8業務及び10手続きにおいて、行政手続きデジタル化に向けた実証実験を実施 約7,100種類存在する申請書等のうち約3,200種類について、令和2年度末までに押印を廃止 区役所窓口ワンストップサービスの一つとして、(仮称)おくやみコーナー開設に向けた検討の実施 令和3年度 申請書等の押印見直しのための基準を改定し、業務主管課に対し押印の継続理由の再検討を依頼した結果、新たに約2,400種の申請書等について令和3年度末までに押印を廃止 若林区において「ご遺族サポート窓口」を試行設置(12月) 「ご遺族サポート窓口」の全区役所・総合支所での開設に向けた検討の実施												
単年度ごとの主な実績	仙台市役所経営プラン	H28												
		H29												
		H30												
		H31(R1)												
		R2	行政手続きデジタル化に向け、8業務及び10手続きにおいて、実証実験を実施し本格導入に向けた課題整理等を行うとともに、本市における申請書等の押印見直しのための基準を定め、約7,100種類存在する申請書等のうち約3,200種類について令和2年度末までに押印を廃止することとしました。また、区役所窓口ワンストップサービスの一つとして、(仮称)おくやみコーナー開設に向けた検討を実施しました。											
		R3	申請書等の押印見直しのための基準を改定し、業務主管課に対し押印の継続理由の再検討を依頼した結果、新たに約2,400種類の申請書等について令和3年度末までに押印を廃止することとしました。また、若林区役所において、死亡に伴う各種手続きを一箇所で受付・案内する専用窓口、「ご遺族サポート窓口」を12月1日に試行設置しました。オンライン等での申込による、必要な手続きの事前連絡や、申請書への氏名や住所の印字のほか、ナビゲーションサイト「わたしの手続き案内」を活用した窓口案内により、行政手続きのデジタル化を進めました。さらに、秋保総合支所の窓口取扱業務について、保健福祉課で受付・取次できる業務範囲を拡大し、市民の利便性向上を図りました。											
目標達成状況	○	目標達成状況の説明(根拠等)	従来押印を求めていた申請書等について見直しを行った結果、法令等による義務付けがあるものを除く約6,200種類の申請書等のうち約5,600種類(約90%)について、令和3年度末までに押印を求めないこととなりました。また、区役所窓口ワンストップサービスの一つとして、「ご遺族サポート窓口」を令和3年12月に設置し、令和3年12月～令和4年3月の死亡届受理件数457人の内、約50%となる228人の利用がありました。オンライン等での事前申込や、ナビゲーションサイト「わたしの手続き案内」の活用により、行政手続きのデジタル化を進めました。さらに、秋保総合支所の窓口取扱業務について、保健福祉課で受付・取次できる業務を25から49に拡大し、市民の利便性向上を図りました。											
今後の進め方(課題への対応)	令和3年度に若林区で試行設置した、「ご遺族サポート窓口」の効果・課題を検証し、令和4年度中の全区役所・総合支所での開設に向けて、関係課との調整を進めていきます。													
備考														

項目番号	2(2)	No.	79	枝番	4	所管局	健康福祉局	担当課	収納対策室	プラン掲載年度	R2	進行状況	継続
実施項目	窓口サービス向上に向けた取組み							取組み名	区役所窓口における保険料収納・相談窓口の一元化				
取組内容	<p>国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料について、保険料収納・相談窓口を一元化し、窓口サービスの向上及び収納率の向上を図ります。</p> <p>タブレット端末によるテレビ電話を導入し、区役所窓口を訪れた方がその場で徴収対策室との納付相談を行えるようにするとともに、国保相談員の担当業務を拡大することで、対応のワンストップ化を図ります。</p>												
目標	<p>国保・後期・介護等の窓口を一元化し、ワンストップで対応できるようにすることで窓口サービスの向上を図ります。</p>												
進捗状況	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ電話の導入 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 モデルケースとして試行 令和3年度 効果を検証し、全市への展開を検討 ・国保相談員の担当業務拡大 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 年金窓口の試行 令和3年度 国保相談員の担当業務を国保・後期・介護・年金の相談業務へと拡大 											
	実績・見込 (括弧は見込)	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ電話の導入 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月 Web会議端末を各区役所・総合支所窓口へ配備 令和3年4月～収納対策室職員による各区役所・総合支所窓口来庁者の納付相談開始 ・国保相談員の担当業務拡大 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年1月 区役所保険年金課の組織改正により後期高齢者医療保険窓口も担当 											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)											
		R2	ICT推進課が導入したWeb会議端末を5区・2総合支所の保険年金課担当窓口へ配備しました。また、区役所保険年金課の組織改正により国保相談員の担当業務を後期高齢者医療保険の相談業務まで拡げました。										
R3	区役所窓口で解決できなかった事案について、収納対策室職員がweb会議端末により来庁者と直接納付折衝することで、窓口サービスの向上を図りました。												
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	当初予定していたテレビ電話ではなく、ICT推進課が導入したWeb会議端末を活用することで、5区役所・2総合支所窓口へ端末を配備しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	各区・総合支所に対応が困難な納付相談があった場合に、Web会議端末を活用し、本庁収納対策室と滞納者が直接交渉します。												
備考													

項目番号	2(2)	No.	79	枝番	5	所管局	市民局	担当課	区政課	プラン 掲載年度	R3	進行状況	継続
実施項目	窓口サービス向上に向けた取組み							取組み名	手続ワンストップサービスの検討				
取組内容	複雑多岐にわたる死亡に伴う区役所・総合支所での主な手続きを一箇所で受付・案内を行う（仮称）おくやみコーナーを設置します。												
目標	令和3年度末において、（仮称）おくやみコーナーの利用者アンケートにおける満足度を70%以上とします。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 運用方法等の検討 おくやみハンドブックの作成・発行 （仮称）おくやみコーナーの一区試行設置 （仮称）おくやみコーナーの全区拡大に向けた効果検証											
	実績・見込 （括弧は見込）	令和3年度 「おくやみハンドブック」の作成・発行 「ご遺族サポート窓口」の若林区試行設置 「ご遺族サポート窓口」の全区・総合支所での開設に向けた検証の実施											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2											
		R3	令和3年7月に、遺族が行う各種手続きをまとめた「おくやみハンドブック」を作成し、各区戸籍住民課及び各総合支所税務住民課において、死亡届を提出された遺族や代行の葬祭事業者に配布しています。 また、令和3年12月に、死亡に伴う各種手続きを一箇所で受付・案内する専用窓口、「ご遺族サポート窓口」を試行設置し、効果検証を進めるとともに、全ての区役所・総合支所への設置に向けた検討を実施しました。										
目標達成状況	○	目標達成状況の説明 (根拠等)	若林区で試行設置した「ご遺族サポート窓口」の利用者アンケートについて、回答者139人の内「とても満足」が116人、「やや満足」が17人で、96%が満足している結果となり、当初の目標である70%以上を達成することができました。										
今後の進め方 (課題への対応)	「おくやみハンドブック」については、財源創出の取り組みとして広告枠を設けるとともに、定期的に内容の見直し、更新を行います。 「ご遺族サポート窓口」については、先行設置した若林区の効果・課題を検証し、令和4年度内の全区役所・総合支所での開設に向けて、関係課との調整を進めていきます。												
備考													

項目番号	2(2)	No.	80	枝番	-	所管局	文化観光局・市民局	担当課	交流企画課・区政課	プラン掲載年度	H31(R1)	進行状況	継続
実施項目	外国人住民への窓口サービスの向上							取組み名	-				
取組内容	外国人住民が手続き等で訪れる区役所等行政窓口において、外国人対応力を強化し、サービスの向上を図ります。												
目標	区役所窓口職員向けの「やさしい日本語」研修を引き続き実施します。 新たに自動翻訳機を行政窓口に試行的に導入するとともに、日本語での会話が困難な外国人を支援するコミュニティ通訳サポーターの派遣を行います。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 区役所窓口職員向け「やさしい日本語」研修の実施 行政窓口（太白区）への自動翻訳機の試行的導入 コミュニティ通訳サポーターの派遣 令和2年度～令和3年度 取り組みの継続・拡充											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 窓口職員向け「やさしい日本語」研修を実施 行政窓口（太白区）へ自動翻訳機を試行的に導入 コミュニティ通訳サポーターの派遣（24件） 外国人コミュニケーションボード（多言語指差しシート）を作成し、各区戸籍住民課に導入 令和2年度 市職員、（公財）仙台市建設公社職員を対象に「やさしい日本語」研修を実施 行政窓口（環境局、青葉区、宮城総合支所、太白区、秋保総合支所）へ自動翻訳機を導入 ※その他の区においては自動翻訳機を独自に導入済 コミュニティ通訳サポーターの派遣（31件） 令和3年度 市職員を対象に「やさしい日本語」研修を実施 行政窓口（青葉区、宮城総合支所、太白区）へ自動翻訳機を導入 ※その他の区においては自動翻訳機を独自に導入済 ※この他、全庁向けに自動翻訳機の一時貸出を実施 コミュニティ通訳サポーターの派遣（71件）											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	区役所窓口職員向け「やさしい日本語」研修を実施 市民図書館、建設公社、交通局駅務サービス課を対象にそれぞれ外国人対応研修を実施 行政窓口（太白区）へ自動翻訳機を試行的に導入 コミュニティ通訳サポーターの派遣（24件） 外国人コミュニケーションボード（多言語指差しシート）を作成し、各区戸籍住民課に導入										
	R2	市職員、（公財）仙台市建設公社職員を対象に「やさしい日本語」研修を実施 行政窓口（環境局、青葉区、宮城総合支所、太白区、秋保総合支所）へ自動翻訳機を導入 コミュニティ通訳サポーターの派遣（31件）											
	R3	市職員を対象に「やさしい日本語」研修を実施 行政窓口（青葉区、宮城総合支所、太白区）へ自動翻訳機を導入 コミュニティ通訳サポーターの派遣（71件）											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	当初のスケジュールに基づきやさしい日本語研修を適切に実施し、庁内におけるやさしい日本語の認知度を高めることができました。また、随時行政窓口に対し、自動翻訳機の貸出やコミュニティ通訳サポーターの派遣を実施し、適切な通訳支援を実施しました。以上のことから、目標は過不足なく達成できたと考えられるため、当該評価としました。									
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き事業の継続・拡充に取り組んでいきます。												
備考													

項目番号	3(1)	No.	81	枝番	1	所管局	総務局	担当課	行政経営課・人事課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	職員の意識改革・組織風土の見直しに向けた取組み							取組み名	職員一人ひとりへのコンプライアンス意識の浸透を図る取組み				
取組内容	コンプライアンス推進計画に基づき、各種研修や、コンプラ通信の発行、公務員倫理・サービスチェックシートの実施などを通して、継続的に職員一人ひとりへのコンプライアンス意識の浸透を図ります。												
目標	毎年度、階層別研修や職場管理者向け研修の実施、職場内研修の支援などを行っていきます。 毎年度、コンプラ通信を随時発行し啓発を図ります。 毎年度、公務員倫理・サービスチェックシートを実施していきます。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	(括弧は実績・見込)	平成28年度～令和3年度 各種研修の実施、公務員倫理・サービスチェックシートの実施、コンプラ通信の発行等											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	職員に対するコンプライアンス研修実施（階層別研修、eラーニング研修） コンプライアンス推進の役職者に対する研修実施（トップセミナー、コンプライアンス推進員研修） コンプラ通信の発行（年14回、うち増刊号2回） 公務員倫理・サービスチェックシートの実施（年2回）										
		H29	職員に対するコンプライアンス研修実施（階層別研修、eラーニング研修） コンプライアンス推進の役職者に対する研修実施（トップセミナー、コンプライアンス推進員研修） コンプラ通信の発行（年12回、うち増刊号1回） 公務員倫理・サービスチェックシートの実施（年2回）										
		H30	職員に対するコンプライアンス研修実施（階層別研修、eラーニング研修） コンプライアンス推進の役職者に対する研修実施（トップセミナー、コンプライアンス推進員研修・同特別研修、中堅リーダー研修） コンプラ通信の発行（年5回、うち増刊号1回） 公務員倫理・サービスチェックシートの実施（年2回）										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	職員に対するコンプライアンス研修実施（階層別研修） コンプライアンス推進の役職者に対する研修実施（トップセミナー、コンプライアンス推進員研修・同特別研修、中堅リーダー研修） コンプラ通信の発行（年1回） 公務員倫理・サービスチェックシートの実施（年2回） 職場内研修の支援（教材の貸し出し、内部講師の派遣）										
		R2	職員に対するコンプライアンス研修実施（階層別研修） コンプライアンス推進の役職者に対する研修実施（トップセミナー、コンプライアンス推進員研修） コンプラ通信の発行（年2回） 公務員倫理・サービスチェックシートの実施（年2回） 職場内研修の支援（教材の貸し出し）										
		R3	職員に対するコンプライアンス研修実施（階層別研修） コンプライアンス推進の役職者に対する研修実施（トップセミナー、コンプライアンス推進員研修） コンプラ通信の発行（年3回） 公務員倫理・サービスチェックシートの実施（年2回） 職場内研修の支援（教材の貸し出し）										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	職員一人ひとりへのコンプライアンス意識のさらなる浸透に向け、階層別研修や職場管理者向けの研修を実施するとともに、教材の貸し出しによる職場内研修の支援を行いました。また、コンプラ通信の発行や、公務員倫理・サービスチェックシートの実施により、コンプライアンス意識の啓発を行いました。									
今後の進め方（課題への対応）	研修内容の見直しや職場内研修等に活用できる参考情報の提供を積極的に行うことにより、引き続き職員のコンプライアンス意識の浸透に向けて取り組んでいきます。												
備考													

項目番号	3(1)	No.	81	枝番	2	所管局	総務局	担当課	行政経営課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	職員の意識改革・組織風土の見直しに向けた取組み							取組み名	風通しのよい組織風土醸成の取組み				
取組内容	職場ミーティングや一般職員と幹部職員とのオフサイトミーティングの実施などにより、誰もが意見を言い合える、高いチーム力を持った、風通しのよい職場づくりを進めます。												
目標	毎年度、各局区等でのオフサイトミーティング等、組織の風通し向上に資する取り組みを実施します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	(括弧は見込 実績・見込)	平成28年度～令和3年度 各局・区等における一般職員と幹部職員とのオフサイトミーティング、意見交換会等の実施											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政 改革推進 プラン 2016	H28	全ての局・区において、一般職員と幹部職員とのオフサイトミーティングや意見交換会、職場研修等を実施しました。										
		H29	全ての局・区において、一般職員と幹部職員とのオフサイトミーティングや意見交換会、職場研修等を実施しました。										
		H30	全ての局・区において、一般職員と幹部職員とのオフサイトミーティングや意見交換会、職場研修等を実施しました。										
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	全ての局・区において、一般職員と幹部職員とのオフサイトミーティングや意見交換会、職場研修等を実施した。										
		R2	全ての局・区において、一般職員と幹部職員とのミーティングや意見交換会、職場研修等を実施した。										
		R3	全ての局・区において、一般職員と幹部職員とのミーティングや意見交換会、職場研修等を実施した。										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	新型コロナウイルス感染症の影響で取組内容や方法を一部変更した局区等もありましたが、全ての局区等において、風通しの良い職場づくりの取り組みに向けてコンプライアンス実施計画を策定し、ミーティングや意見交換会、職場研修等の取り組み等を実施しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	各局区の取り組みに資する情報の共有などを行いながら、コンプライアンス推進計画に基づき、組織の風通しのさらなる改善を図っていきます。												
備考													

項目番号	3(1)	No.	81	枝番	3	所管局	総務局	担当課	行政経営課・人事課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続					
実施項目	職員の意識改革・組織風土の見直しに向けた取組み							取組み名	職員表彰制度の積極活用									
取組内容	職員表彰制度を積極的に活用し、職員のモチベーションを向上させることで、市民サービスの質の向上を図ります。																	
目標	職員表彰制度の積極的な活用を図ります。																	
進捗状況	スケジュール	毎年度、各局区等に表彰対象者の掘り起こしを呼びかけ、応募と職員表彰につなげます。																
	実績・見込	平成28年度	職員等表彰制度に基づいた表彰の実施	組織5件・個人37件	平成29年度	職員等表彰制度に基づいた表彰の実施	組織6件・個人13件	平成30年度	職員等表彰制度に基づいた表彰の実施	組織9件・個人26件	令和元年度	職員等表彰制度に基づいた表彰の実施	組織13件・個人20件	令和2年度	職員等表彰制度に基づいた表彰の実施	組織6件・個人16件	令和3年度	職員等表彰制度に基づいた表彰の実施
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	「仙台市職員等表彰規則」施行。組織5件・個人37件の表彰を実施しました。 (内訳) 本市の業務運営上、特に顕著な功績を挙げたもの 組織4件・個人10件 災害を未然に防止し、又は災害に際して特に功労のあったもの 組織1件・個人19件 永年にわたり地域や社会の福祉又は文化等の振興に貢献したもの 個人8件															
		H29	職員等表彰制度により、組織6件・個人13件の表彰を実施しました。 (内訳) 本市の業務運営上、特に顕著な功績を挙げたもの 組織7件 災害を未然に防止し、又は災害に際して特に功労のあったもの 個人11件 永年にわたり地域や社会の福祉又は文化等の振興に貢献したもの 個人2件															
		H30	職員等表彰制度により、組織9件・個人26件の市長表彰を実施しました。 (内訳) 本市の業務運営上、特に顕著な功績を挙げたもの等 組織6件 災害を未然に防止し、又は災害に際して特に功労のあったもの 組織2件・個人19件 永年にわたり地域や社会の福祉又は文化等の振興に貢献したもの 個人4件 職務外において、その行為が広く賞賛を浴び、職員全体の名誉及び信用を高めたもの 個人3件 その他表彰することが適当であるもの 組織1件															
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	職員等表彰制度により、組織13件・個人20件の市長表彰を実施しました。 (内訳) 本市の業務運営上、特に顕著な功績を挙げたもの等 組織7件 災害を未然に防止し、又は災害に際して特に功労のあったもの 組織5件・個人12件 本市の業務運営上、有益な発明、考案又は改良をしたもの 組織1件 永年にわたり地域や社会の福祉又は文化等の振興に貢献したもの 個人6件 職務外において、その行為が広く賞賛を浴び、職員全体の名誉及び信用を高めたもの 個人2件															
		R2	職員等表彰制度により、組織6件・個人16件の市長表彰を実施しました。 (内訳) 本市の業務運営上、特に顕著な功績を挙げたもの 組織3件 災害を未然に防止し、又は災害に際して特に功労のあったもの 組織1件・個人9件 本市の業務運営上、有益な発明、考案又は改良をしたもの 組織1件 永年にわたり地域や社会の福祉又は文化等の振興に貢献したもの 個人7件 その他表彰することが適当であるもの 組織1件															
		R3	職員等表彰制度により、組織6件・個人12件の市長表彰を実施しました。 (内訳) 本市の業務運営上、特に顕著な功績を挙げたもの 組織3件 災害を未然に防止し、又は災害に際して特に功労のあったもの 組織2件・個人8件 永年にわたり地域や社会の福祉又は文化等の振興に貢献したもの 個人4件 その他表彰することが適当であるもの 組織1件															
	目標達成状況	○	目標達成状況の説明(根拠等)	令和3年度は、各局区等からの推薦により、6組織と個人12人に対して市長表彰を行うなど、制度の活用が図られています。														
	今後の進め方(課題への対応)	より制度の活用が図られるよう制度の周知や表彰案件の紹介等を効果的に行うなど、職員のモチベーション向上につなげられるよう、継続して取り組んでいきます。																
	備考																	

項目番号	3(1)	No.	82	枝番	-	所管局	総務局	担当課	行政経営課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	内部統制制度への対応							取組み名	-				
取組内容	事務ミス等について可能な限り予防すること、事務事故が発生した場合に適切に対応すること、組織としてリスクを管理・低減すること等を目的として、内部統制制度を導入します。												
目標	既に運用しているリスクマネジメントシステムを土台にしながら、改正地方自治法の令和2年4月施行に向け準備を進めるとともに、導入後は制度目的が達成されるよう適切な運用に努めます。												
進捗状況	スケジュール	令和元年度 制度試行、方針策定など 令和2年度～ 制度運用開始											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 制度試行、方針策定など 令和2年度 制度運用開始 令和3年度 令和2年度内部統制評価報告書の作成及び公表											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	新制度に対応したリスクマネジメントシステムの全庁的な試行運用 制度実施体制の整備（要綱等の策定、議会への報告等） 市長による方針の策定・公表										
	R2	制度運用開始 仙台市内部統制基本方針の周知											
	R3	令和2年度内部統制評価報告書の作成及び公表 適正な事務処理の徹底に係る庁内通知（不適切な事務処理事例の共有等）（年2回）											
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	内部統制制度の目的達成に向け、制度を適切に運用しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	組織的なリスクの管理・低減という内部統制制度の目的を達成するために、引き続き制度の適切な運用を図っていきます。												
備考													

項目番号	3(1)	No.	83	枝番	-	所管局	総務局	担当課	行政経営課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	カイゼンアイデア育成制度の活用 による組織活性化							取組み名	-				
取組内容	職員の政策形成能力の向上と、前例にとらわれず積極的に業務改善に取り組む組織風土づくりに資するよう、毎年度、業務改善に係るアイデアの提案と提案のあったアイデアに対する職員投票、提案者によるプレゼンテーションを含む審査会を実施するとともに、採択されたアイデアの実現に向けた組織的育成を行います。												
目 標	職員への効果的な周知・呼びかけなどアイデアの提案をしやすい環境づくりに努めながら、積極的なアイデア提案とアイデアに対する多くの職員の投票を促すとともに、組織的な育成を通じて採択されたアイデアの実現をめざし、課題に対し積極果敢に取り組む組織風土づくりと職員の意識の醸成を図ります。												
進 捗 状 況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について、着実に実施していきます。											
	(括弧は見込 実績・見込)	令和元年度	提案の募集・審査とアイデアの育成	育成対象3件、過年度の提案の実施1件									
		令和2年度	提案の募集・審査とアイデアの育成	育成対象1件									
		令和3年度	過年度の提案の実施	2件									
単 年 度 ご と の 主 な 実 績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	カイゼンアイデア育成制度により、提案のあったアイデアについて審査を行い、うち3件を育成対象としました。 また、過年度に育成対象となった1件について、実施に至り、優れた成果を収めたことから、市長表彰を行いました。										
	R2	カイゼンアイデア育成制度により、提案のあったアイデアについて審査を行い、うち1件を育成対象としました。 また、過年度に育成対象となったアイデアについても、担当部局において検討が進められていることを確認しました。											
	R3	新型コロナウイルス感染症の影響によりカイゼンアイデアの提案募集を中止としましたが、過年度に育成対象となった2件について、実施に至ったことを確認しました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	令和3年度は提案募集は中止としましたが、過年度に育成対象となった2件が実施に至るなど、活用が図られています。									
今後の進め方 (課題への対応)	より積極的に業務改善に取り組む組織風土づくりにつなげられるよう、制度の運用見直しの検討や制度の周知、育成対象アイデアの効果的な紹介等に継続して取り組んでいきます。												
備 考													

項目番号	3(1)	No.	84	枝番	-	所管局	まちづくり政策局	担当課	プロジェクト推進課	プラン掲載年度	H31(R1)	進行状況	継続
実施項目	特区制度の積極的活用							取組み名	-				
取組内容	<p>仙台市国家戦略特別区域において、社会課題解決の担い手になり得る起業家への支援や、女性の社会参加の促進を行うとともに、大学等と連携して近未来技術の実証を進めることで、地域における社会的課題の解決や雇用創出を促進するため、「女性活躍・社会起業」のための改革拠点をテーマとして、特区制度を活用します。</p>												
目標	<p>現在、70の特区メニューのうち、本市では19のメニューを活用しており、今後もさらなるメニューの活用・新たな提案に向けて、多くの事業者と連携し、規制緩和を通じた地域の課題解決に取り組んでいきます。</p>												
進捗状況	スケジュール	令和3年度～国家戦略特区メニューの活用・新たな提案 スーパーシティの推進											
	実績・見込 (括弧は見込)	<p>令和元年度 15メニュー17事業の認定（うち新規4メニュー5事業）、新規提案1件、 仙台市提案による制度拡充1件 令和2年度 19メニュー21事業の認定（うち新規4メニュー4事業）、新規提案2件 令和3年度 19メニュー21事業の認定 スーパーシティ構想の推進に向け、規制改革事項を19件提案</p>											
単年度ごとの主な実績	仙台市役所経営プラン	H28											
		H29											
		H30											
仙台市役所経営プラン	H31(R1)	<p>令和元年度は、近未来技術実証ワンストップセンターの設置など4メニュー5事業について新たに認定を受けました。追加の規制改革事項の提案として、令和元年4月にオンライン診療における対面診療の要件緩和と対象疾患の拡充について提案しました。また、仙台市が平成30年9月に提案した、外国人創業活動促進事業の事業所要件緩和の提案が令和2年3月に制度拡充として実現しました。</p>											
	R2	<p>令和2年度は、開業ワンストップセンターの設置など4メニュー4事業について新たに認定を受けました。追加の規制改革事項の提案として、「一般社団法人等信用保証制度の適用」におけるセーフティネット保証の新設、「設備投資促進税制」の対象事業分野の拡充について提案しました。</p>											
	R3	<p>令和3年度は、既存メニューの新規活用はありませんでしたが、開業ワンストップセンターを令和3年6月に開設する等、すでに認定されたメニューの確実な実施に努めました。さらにスーパーシティ型国家戦略特区に申請し、区域指定を目指したスーパーシティ構想の推進に向け、規制改革事項を19件提案しました。</p>											
目標達成状況	◎		目標達成状況の説明 (根拠等)	開業ワンストップセンターを令和3年6月に開設する等、既存メニューを活用した取り組みを着実に進め、さらにスーパーシティ構想を推進する等、特区制度を積極的に活用しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	引き続き、さらなるメニューの活用・新たな提案に向けて、多くの事業者・大学と連携し、規制緩和を通じた地域の課題解決に取り組んでいきます。												
備考													

項目番号	3(1)	No.	85	枝番	-	所管局	まちづくり政策局	担当課	プロジェクト推進課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	組織横断型プロジェクト・チームによる政策立案・実行							取組み名	-				
取組内容	既存の組織の枠組みでは効果的な対応が難しい課題に対して、臨機に組織横断型のプロジェクト・チームを設置して対応していきます。												
目標	既存の枠組みでは対応困難なテーマについて、プロジェクトチームを設置して対応します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	8の組織横断型プロジェクト・チーム設置、6のプロジェクト・チームで検討										
		平成29年度	7の組織横断型プロジェクト・チーム設置、6のプロジェクト・チームで検討										
		平成30年度	7の組織横断型プロジェクト・チーム設置、7のプロジェクト・チームで検討										
		令和元年度	11の組織横断型プロジェクト・チーム設置、10のプロジェクト・チームで検討										
		令和2年度	11の組織横断型プロジェクト・チーム設置、10のプロジェクト・チームで検討										
		令和3年度	15の組織横断型プロジェクト・チーム設置、15のプロジェクト・チームで検討										
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	6の組織横断型プロジェクトチームにより、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした地域振興に係る取組みや、東西線の利用促進・沿線開発などについて、施策立案・実施のための検討を行いました。										
		H29	6の組織横断型プロジェクトチームにより、被災者の生活再建支援の充実に向けた取組みや、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流人口の拡大や地域の活性化に係る取組みなどについて、施策立案・実施のための検討を行いました。										
		H30	7の組織横断型プロジェクトチームにより、首都圏における企業誘致活動や、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流人口の拡大や地域の活性化に係る取組みなどについて、施策立案・実施のための検討を行いました。										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	10の組織横断型プロジェクトチームにより、首都圏における企業誘致活動や、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた本市のスポーツ・文化の振興や復興及び魅力の発信に係る取組みなどについて、施策立案・実施のための検討を行いました。										
		R2	11の組織横断型プロジェクトチームにより、首都圏における企業誘致活動や、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた本市のスポーツ・文化の振興や復興及び魅力の発信に係る取組みなどについて、施策立案・実施のための検討を行いました。										
	R3	15の組織横断型プロジェクトチームにより、首都圏における企業誘致活動や、本市のDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進に係る取組みなどについて、施策立案・実施のための検討を行いました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	新たにチームを立ち上げるなど、課題に応じて、組織横断型のプロジェクト・チームを設置しています。									
今後の進め方 (課題への対応)	各部署において、今後も引き続き、必要に応じてプロジェクト・チームを結成し、施策立案・実施のための検討を進めていきます。												
備考													

項目番号	3(2)	No.	86	枝番	-	所管局	総務局	担当課	人事課・ 労務課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続	
実施項目	多様な働き方を支援する勤務 時間・休暇制度の運用							取組み名	-					
取組内容	職員がそれぞれの事情に合わせてワークライフバランスを実現しながら能力を発揮するため、多様な働き方を支援する勤務時間・休暇制度の運用を推進します。													
目 標	<p>労基法の改正にあわせ年次有給休暇5日の計画的取得を推進します。 年次有給休暇の取得日数10日以上の方の割合80%以上を目指します。 個々の職員の事情に配慮しながらも、週休日及び休日を含めた9連休の長期休暇の取得を推奨します。</p> <p>配偶者出産補助休暇又は男性職員の育児参加のための休暇の取得率100%、男性の育児休業取得率15%以上を目指します。</p> <p>勤務間インターバル制度の趣旨を踏まえた独自取り組みを検討します。 新たな休暇制度の導入について検討を行います。</p>													
進 捗 状 況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。												
	(括弧は 実績・見込)	平成28年度	職員への情報提供や意識啓発などを実施											
		平成29年度	継続して職員への情報提供や意識啓発などを実施。1か月以下の育児休業取得における手続きを簡素化。											
		平成30年度	職員への情報提供や意識啓発などを実施。仕事と育児の両立支援に関するアンケートやワークライフバランスに関する研修等を実施。											
		令和元年度	職員への情報提供や意識啓発などを実施。仕事と育児の両立支援に関するアンケートやワークライフバランスに関する研修等を実施。 年5日以上の方の年次有給休暇取得の推進のため、一定期間ごとに庁内周知 週休日及び休日を含めた9連休の長期休暇の取得を推奨することを庁内周知 不妊治療のための家庭支援休暇を4月から導入											
		令和2年度	職員への情報提供や意識啓発などを実施。仕事と育児の両立支援に関するアンケートやワークライフバランスに関する研修等を実施。 年5日以上の方の年次有給休暇取得の推進のため、一定期間ごとに庁内周知を実施。 週休日及び休日を含めた長期休暇の取得を推奨することを庁内周知。											
令和3年度	職員への情報提供や意識啓発などを実施。男性職員の交流イベントや男性職員向け子育て制度ハンドブックを策定し、庁内周知。 年5日以上の方の年次有給休暇取得推進のため、一定期間ごとに庁内周知を実施。 不妊治療のための短期家庭支援休暇導入に向けて規則改正を実施。													
単 年 度 ご と の 主 な 実 績	仙台市 役所 経 営 プ ラ ン	H28												
		H29												
		H30												
	H31 (R1)	仕事と子育ての両立を支える取り組みの推進のため、平成30年度に調査した仕事と子育ての両立支援に関するアンケート結果を庁内に周知するとともに、引続き、男性職員の育児参加の促進に向けたメール配信やイベントも行いました。 また、5日以上の方の年次有給休暇取得義務化の対象ではない職員に対しても、年5日以上の方の休暇取得の推進のため、庁内周知を一定期間ごとに実施したほか、ワークライフバランスの実現等を目的に、週休日及び休日を含めた9連休の長期休暇の取得を推奨することを庁内周知しました。 さらに、不妊治療のための家庭支援休暇を4月から導入しました。												
		R2	仕事と子育ての両立を支える取り組みの推進のため、配偶者出産補助休暇及び男性職員の育児参加のための休暇の手続き簡素化を図るとともに、男性職員の育児参加の促進に向けたメール配信やイベントを行いました。 また、5日以上の方の年次有給休暇取得義務化の対象ではない職員に対しても、年5日以上の方の休暇取得の推進のため、庁内周知を一定期間ごとに実施したほか、ワークライフバランスの実現等を目的に、夏期錬成休暇と年次休暇、週休日及び祝日を含めた長期休暇の取得を推奨することを庁内周知しました。											
		R3	仕事と子育ての両立を支える取り組みの推進のため、男性職員が利用できる休暇制度等に特化した男性職員向け子育て制度ハンドブックを策定し、庁内に周知しました。また、男性職員の育児参加の促進に向けたメール配信やイベントも引き続き実施しました。 さらに、5日以上の方の年次有給休暇取得義務化の対象ではない職員に対しても、年5日以上の方の休暇取得の推進のため、庁内周知を一定期間ごとに実施したほか、不妊治療のための短期家庭支援休暇を令和4年4月から導入するため、規則改正を実施しました。											
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	男性職員の育児休業取得率の令和3年度実績は、前年度と比較して大幅に上昇し、過去最高の39.3%と目標値を達成しました。 全体的として上昇傾向にありますが、市長部局における個別の取得勧奨の効果が大きいと推測されます。										
今後の進め方 (課題への対応)	個々の制度の効果等を検証し、今後も目標値を維持できるよう、継続して実施していきます。													
備 考														

項目番号	3(2)	No.	87	枝番	-	所管局	総務局	担当課	人事課・ 労務課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続	
実施項目	超過勤務縮減の取組みの徹底							取組み名	-					
取組内容	<p>超過勤務時間数を縮減するため、庁内を挙げて以下のような様々な取組みを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働を良しとしない組織風土を醸成します。 ・超過勤務時間数の見える化、適切な人員配置を進めます。 ・業務量を縮減する取組みの推奨・推進と、組織目標・管理職評価との連動を進めます。 ・超過勤務の抑制について、上限時間の設定も含め、あり方を検討します。 													
目標	労基法改正に対応し、令和元年度実績で年間720時間超の超過勤務従事者をゼロにします。													
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施し、令和元年度実績で年間720時間超の超過勤務従事者をゼロにします。												
	実績・見込 (括弧は見込)	<p>令和元年度 「個人別超過勤務状況リスト」を所属長から職員本人に配布 条例・規程による超過勤務命令の上限時間を導入 管理職評価において全てのポスト課長職において超過勤務縮減に係る目標を設定</p> <p>令和2年度 「個人別超過勤務状況リスト」を所属長から職員本人に配布 条例・規程による超過勤務命令の上限時間に基づく勤務管理について所属長へ周知 各所属において超過勤務の上限時間に基づく管理を行いやすくするための庶務事務システム改修を実施 管理職評価において全てのポスト課長職において超過勤務縮減に係る目標を設定</p> <p>令和3年度 条例・規程による超過勤務命令の上限時間に基づく勤務管理について所属長へ周知 「超過勤務縮減の指針」を庁内に周知 管理職評価において全てのポスト課長職において超過勤務縮減に係る目標を設定</p>												
数値目標		説明					H28	H29	H30	R1	R2	R3		
	見込	超過勤務従事者(720時間)※								0	0	0		
	実績	超過勤務従事者(720時間)※								116	136	192		
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28												
		H29												
		H30												
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	<ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務命令の上限時間の導入を見据え、上限時間の超過状況を判別できる個人ごとの「個人別超過勤務状況リスト」を所属長から職員本人に配布 ・超過勤務の抑制のため、令和2年1月から条例・規程による超過勤務命令の上限時間を導入 											
	R2	<ul style="list-style-type: none"> ・条例・規程による超過勤務命令の上限時間に基づく勤務管理について所属長へ通知 ・上限時間の超過状況を各所属で随時確認できるように庶務事務システムを改修 ・超過勤務の縮減に資する取組を庁内周知するなどの意識啓発を実施 												
	R3	<ul style="list-style-type: none"> ・条例・規程による超過勤務命令の上限時間に基づく勤務管理について所属長へ通知 ・上記通知とともに、令和3年3月に策定した「超過勤務縮減の指針」を庁内周知 												
目標達成状況	△		目標達成状況の説明 (根拠等)		令和3年度においても、条例・規程による超過勤務命令の上限時間に基づく超過勤務管理について所属長へ通知するとともに、「超過勤務縮減の指針」(令和3年3月策定)を庁内に周知し、超過勤務縮減に向けた基本的な考え方や各局区が取り組むべき事項等の浸透を図りました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対応や選挙対応、3月の地震対応といった要因により、年間720時間超の超過勤務従事者をゼロとする目標は達成できていません。									
今後の進め方 (課題への対応)	令和3年度において、条例・規程で定める上限時間を超過した場合の超過勤務に係る分析検証を各所属で行い、超過勤務縮減のための方策の検討を進めます。													
備考	※超過勤務従事者は「30分未満切り捨て、30分以上切り上げ」とする給与支払い算定上の数字に基づき算出したものです。													

項目番号	3(2)	No.	88	枝番	-	所管局	総務局	担当課	人事課・厚生課	プラン掲載年度	H31(R1)	進行状況	継続
実施項目	子育て支援の取組み促進							取組み名	-				
取組内容	個々の職員がそれぞれの家庭の事情に合わせ、仕事と子育てを両立しながらキャリア形成できるよう子育て推進プログラムに記載した取組みを促進させます。												
目標	<p>配偶者出産補助休暇又は男性職員の育児参加のための休暇の取得率100%、男性の育児休業取得率15%以上を目指した取組みを進め、男性職員の育児参加を促進します。</p> <p>育児休業代替の職員配置の充実を図ります。</p> <p>ロールモデル等の情報発信や、女性職員活躍応援セミナー、育児休業復帰応援座談会等の交流の場の提供を進めます。</p> <p>多様な働き方を支援する勤務時間・休暇制度の運用を進めます。</p> <p>超過勤務縮減の取組みを徹底します。</p>												
進捗状況	スケジュール	次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画等に沿った取組みを、計画期間内に着実に実施していきます。											
	(括弧は見込実績・見込)	令和元年度	職員への情報提供や意識啓発、アンケート、研修等を実施										
		令和2年度	職員への情報提供や意識啓発、アンケート、研修等を実施										
		令和3年度	職員への情報提供や意識啓発、研修等を実施										
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	<p>仕事と子育ての両立を支える取組みの推進のため、平成30年度に調査した仕事と子育ての両立支援に関するアンケート結果を庁内に周知しました。また引き続き、男性職員の育児参加の促進に向けたメール配信やイベントも行いました。</p> <p>また、5日以上有給休暇取得義務化の対象ではない職員に対しても、年5日以上有給休暇取得の推進のため、庁内周知を一定期間ごとに実施したほか、ワークライフバランスの実現等を目的に、週休日及び休日を含めた9連休の長期休暇の取得を推奨することを庁内周知しました。</p>										
		R2	<p>仕事と子育ての両立を支える取組みの推進のため、配偶者出産補助休暇及び男性職員の育児参加のための休暇の手続き簡素化を図るとともに、男性職員の育児参加の促進に向けたメール配信やイベントを行いました。</p> <p>また、5日以上有給休暇取得義務化の対象ではない職員に対しても、年5日以上有給休暇取得の推進のため、庁内周知を一定期間ごとに実施したほか、ワークライフバランスの実現等を目的に、夏期錬成休暇と年次休暇、週休日及び祝日を含めた長期休暇の取得を推奨することを庁内周知しました。</p>										
		R3	<p>仕事と子育ての両立を支える取組みの推進のため、男性職員が利用できる休暇制度等に特化した男性職員向け子育て制度ハンドブックを策定し、庁内に周知しました。また、男性職員の育児参加の促進に向けたメール配信やイベントも引き続き実施しました。</p>										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	令和3年度実績は、配偶者出産補助休暇又は男性職員の育児参加のための休暇の取得率は80.8%と目標に届きませんでした。男性職員の育児休業取得率は過去最高の39.3%と目標値を達成しました。									
今後の進め方(課題への対応)	目標に掲げる取組みを継続するほか、数値目標に到達しなかった項目については引き続き目標達成に向けた周知・制度改正を進めます。												
備考													

項目番号	3(2)	No.	89	枝番	-	所管局	総務局	担当課	人事課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	女性職員の活躍推進							取組み名	-				
取組内容	女性職員が個性と能力を十分に発揮できる職場環境づくりを進め、さらなる活躍を推進し、組織の活力向上を図ります。												
目 標	令和2年度に実施する係長職昇任試験までに、女性職員の受験率を30%以上とし、令和3年度以降も継続して女性職員の受験率向上を図ります。 令和3年度当初までに、女性管理職の割合を20%以上とします。 多様な働き方を支援する勤務時間・休暇制度の運用を進めます。 超過勤務縮減の取り組みを徹底します。												
進捗状況	スケジュール	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画等に沿った取り組みを、計画期間内に着実に実施していきます。											
	(括弧は見込) 実績・見込	平成28年度	関係課長会議や各種研修等を実施										
単年度ごとの 主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	関係課長会議や各種研修等を実施										
		H29	関係課長会議や各種研修等を実施										
		H30	関係課長会議や各種研修等を実施										
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	女性職員チャレンジセミナーを係長昇任試験の受験資格を得た女性職員を対象に実施するとともに、ロールモデルの紹介も継続的に実施しました。										
		R2	仙台女性リーダー・トレーニング・プログラムへの職員の派遣や、女性職員活躍応援セミナーを実施するとともに、育児と仕事の両立に係るロールモデルの紹介も実施しました。										
		R3	引続き、仙台女性リーダー・トレーニング・プログラムへの職員の派遣を実施しました。また、女性職員活躍応援セミナーについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合研修の開催を見送り、e-ラーニング形式で実施しました。										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	令和3年度実績は、係長職昇任試験における女性職員の受験率は25.0%と目標値に届きませんでした。市長部局の管理職に占める女性職員割合は過去最高の20.1%と目標値を達成しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	数値目標全体の達成に向け、実施項目の内容を検討し、より効果的に実施します。												
備 考													

項目番号	3(2)	No.	90	枝番	-	所管局	総務局・財政局	担当課	本庁舎整備室・ 財政企画課・行 政経営課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	新たなワークプレースの試行							取組み名	-				
取組内容	市役所本庁舎の建替えに合わせて、新たなワークプレース（フリーアドレス制の導入等）の構築に向けた検討を進めます。												
目 標	職員の意見の聴取、ワークプレース改革の試行等必要な施策を通じて、令和8年度の市役所新本庁舎移行に合わせて、生産性の向上等に資するワークプレースのあり方の検討を行います。												
進捗状況	スケジュール	平成30年度 財政局におけるフリーアドレスの試行 令和元年度 庁内複数課におけるワークプレース改革の試行 令和元年度～令和8年度 新本庁舎移行まで生産性の向上等に資するワークプレース検討 ※上記のスケジュールは想定される最短の新本庁舎整備スケジュールに基づくものであり、新本庁舎整備検討内容によって変更となる場合があります。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成30年度 財政局におけるフリーアドレスの試行 令和元年度 現庁舎におけるワークプレース調査 令和2年度（～令和7年度） 都市整備局3課におけるワークプレース改革の試行 令和5年度 生産性の向上等に資するワークプレース検討 新本庁舎ワークプレースを想定した試行											
単年度ごとの 主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	現庁舎におけるワークプレース調査 都市整備局3課におけるワークプレース改革の試行										
		R2	R2.6 執務環境計画検討等業務公募型プロポーザル開始 R2.12 執務環境計画検討等業務委託 契約締結 R3.3 執務環境コンセプト策定に向けて職員アンケートの実施										
		R3	R3.6～庁内向け広報紙「本庁舎建替通信」発行 R3.9 執務環境コンセプト策定										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	令和3年度は、執務環境コンセプトの策定や庁内広報紙の発行を行ったほか、諸室配置やレイアウトに必要な関係課協議も随時行っており、新たな執務環境の構築に向けて計画通りに業務が進捗しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	新たな執務環境構築に向け、諸室配置やレイアウト作成等を行うほか、令和5年度実施予定の執務環境試行に向けたテーマ設定や執務環境の検討を行います。併せて、新庁舎での執務環境運用及び維持管理の方法についても、ワーキンググループ等を活用し、関係課と検討を進めていきます。また、令和3年度に策定した執務環境コンセプトを基に、引き続き生産性向上に資する執務環境の整備と職員意識の醸成を推進していきます。												
備 考													

項目番号	3(2)	No.	91	枝番	1	所管局	まちづくり 政策局	担当課	行政デジタル 推進課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	多様な働き方を支援する執務環境の整備								取組み名	Web会議システムの運用			
取組内容	情報共有や意思決定の迅速化や効率化、庁内外とのコミュニケーションの活性化を目的として、Web会議システムの運用を行い、移動時間等の削減をはじめとした業務効率化を図ります。												
目標	令和3年度において、Web会議で実施した会議・研修等の数を100以上とします。												
進捗状況	スケジュール	令和3年度 Web会議システム及びWeb会議用端末の運用管理 Web会議への理解と利用促進のための周知・啓発											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度	WEB会議システムを導入(1拠点)										
		令和2年度	WEB会議用端末の導入(計224台を局区等主管課及び公所(計111拠点)に配置)										
		令和3年度	Web会議システム及びWeb会議用端末の運用管理 Web会議への理解と利用促進のための周知・啓発										
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政改革 推進プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所 経営プラン	H31 (R1)	令和2年3月に、プロジェクト推進課にWeb会議に係る機器一式を導入し、年度末には有償サービス契約を整え、Web会議のシステム(1拠点)を導入しました。 新型コロナウイルス感染症への対応のため、WEB会議開催のニーズが大変多かったことから(区役所、企業局も含む)、使用を希望する課に貸し出しを行うとともに、会議開催の支援を行いました。										
	R2	新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年10月には局区等主管課や公所に計182台のWeb会議用端末を配置し、令和3年3月には局区等主管課に計42台のWeb会議用端末を追加配置しました。さらに、各課公所でWeb会議を主催するためのWeb会議システムライセンスを360ライセンス調達しました。											
	R3	前年度までに配置したWeb会議用端末及びWEB会議システムライセンスの運用管理をとして、各局区主管課等へのニーズ調査を実施しました。この結果を踏まえ、更なる効果的な運用のため、令和4年3月には一部の端末にオフィスソフトのインストールを行いました。											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	これまでに全庁的に導入・配置した「Web会議」端末の各課公所での利活用を推進し、令和3年度中には目標を上回る1,045件の会議・研修がオンラインで実施されました。									
今後の進め方 (課題への対応)	今後は、Web会議用端末について、現状分析や庁内へ活用事例の紹介を継続し、さらに効果的な運用方法を検討していきます。												
備考													

項目番号	3(2)	No.	91	枝番	2	所管局	総務局	担当課	人事課	プラン 掲載年度	R2	進行状況	継続
実施項目	多様な働き方を支援する執務環境の整備							取組み名	サテライトオフィスの運用				
取組内容	新型コロナウイルス感染症の再拡大など次なる危機に備え、市役所の業務継続と、職員の働きやすい職場環境を整えるため、サテライトオフィスの運用に取組みます。												
目 標	サテライトオフィスを令和2年度に試行し、令和3年度からの運用を目指します。												
進捗状況	スケジュール	令和2年度 サテライトオフィスの試行実施 令和3年度 サテライトオフィスの運用											
	(括弧は見込) 実績・見込	令和2年度 サテライトオフィスの試行実施、運用開始 令和3年度 サテライトオフィスの運用継続、バックアップオフィスの運用開始											
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)											
		R2	サテライトオフィスに係る実施要領の整備、試行実験及び利用者等へのアンケート調査を行いました。また、試行実験結果やアンケート調査内容に基づき年度内に運用を開始しました。										
R3	サテライトオフィスの運用を継続するとともに、執務室での業務継続が困難な事態への対応を目的に各区役所会議室に庁内LAN端末及び庁内LANへの接続環境を整備し、バックアップオフィスとして運用を開始しました。												
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、研修所におけるサテライトオフィスの運用を開始するとともに、各区役所におけるバックアップオフィスの運用を開始することができました。									
今後の進め方 (課題への対応)	在宅勤務の活用も踏まえた、より効果的な実施手法を検討しつつ、適切に運用していきます。												
備 考													

項目番号	3(2)	No.	92	枝番	-	所管局	総務局	担当課	職員研修所 ・人事課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	将来のまちづくりに資する人材育成							取組み名	-				
取組内容	<p>一般職員の研修の充実を図ります。 市民の信頼に応えるため、的確かつ効率的な事務処理に加え、業務改善につながる仕事基礎力強化に資する研修を実施します。 多様な主体とのコミュニケーションを活性化するため、対人力向上に資する研修を実施します。 広い視野からの政策企画力と政策実行力の育成に向け、企画型派遣研修などを実施します。 多様化した市民ニーズへの対応や窓口対応力の向上を図るため、現場に即した職場単位での研修支援を行います。 市の業務に資する業務知識を取得するための民間企業等への職員派遣や人事交流を促す取り組みを検討します。</p>												
目標	一般職員が現場・市民等の課題にしっかりと向き合いながら、長期的な視点で業務を遂行するための意識づけや、チームで仕事を進めるための対人力・コミュニケーション能力向上に資する研修を実施します。												
進捗状況 (括弧は見込 実績・見込)	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	令和元年度	【職員研修等】 仕事基礎力や対人力等の向上に資する研修や、派遣研修、研修支援などを実施 【人事交流等】 日本ERI(株) 派遣 1名 (H30.4.1~R2.3.31) (株)七十七銀行 受入 1名 (R1.7.1~R3.8.31)											
	令和2年度	【職員研修等】 仕事基礎力や対人力等の向上に資する研修や、職場への研修支援などを実施 【人事交流等】 東京海上日動火災保険(株) 受入 1名 (R2.4.1~R3.3.31) 仙台商工会議所 受入 1名 (R2.4.1~R4.3.31) (株)みずほ銀行 受入 1名 (R2.8.3~R4.3.31)											
	令和3年度	【職員研修等】 仕事基礎力や対人力等の向上に資する研修や、職場への研修支援などを実施 【人事交流等】 東京海上日動火災保険(株) 受入 1名 (R3.4.1~R4.3.31) (株)NTT東日本一東北 受入 1名 (R3.4.1~R5.3.31)											
単年度ごとの 主な実績	H28	-											
	H29	-											
	H30	-											
	H31 (R1)	【職員研修等】 仕事基礎力や対人力等の向上に資する研修や、派遣研修、研修支援などを実施 【人事交流等】 日本ERI(株) 派遣 1名 (H30.4.1~R2.3.31) (株)七十七銀行 受入 1名 (R1.7.1~R3.8.31)											
仙台市役所 経営プラン	R2	【職員研修等】 仕事基礎力や対人力等の向上に資する研修や、職場への研修支援などを実施 【人事交流等】 東京海上日動火災保険(株) 受入 1名 (R2.4.1~R3.3.31) 仙台商工会議所 受入 1名 (R2.4.1~R4.3.31) (株)みずほ銀行 受入 1名 (R2.8.3~R4.3.31)											
	R3	【職員研修等】 仕事基礎力や対人力等の向上に資する研修や、職場への研修支援などを実施 【人事交流等】 東京海上日動火災保険(株) 受入 1名 (R3.4.1~R4.3.31) (株)NTT東日本一東北 受入 1名 (R3.4.1~R5.3.31)											
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、仕事基礎力や対人力等の向上に資する研修や職場への研修支援などを実施しました。 民間企業等への人事交流については、上記実績の通り順調に取り組んでいます。									
今後の進め方 (課題への対応)	個々の研修をより効果的に実施する工夫を行いながら、今後も継続して実施していきます。今後も民間企業等への職員派遣や人事交流を検討します。												
備考													

項目番号	3(2)	No.	93	枝番	-	所管局	危機管理局	担当課	危機対策課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	危機管理・防災に関する 知識・技能の向上							取組み名	-				
取組内容	東日本大震災を経験したことによる職員の高い危機管理・防災意識を組織として継承・定着させ、職員の危機・災害対応能力の向上を図るため、研修・訓練を実施します。												
目標	「仙台市危機管理・防災研修訓練プログラム」に基づき、各局区が計画的に各種研修・訓練を実施します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度	プログラムの実効性確保や確実な定着を図るため、各局区の研修支援及び評価、助言や、PDCAサイクルによる見直しを継続して実施										
	令和2年度	プログラムの実効性確保や確実な定着を図るため、各局区の研修支援及び評価、助言や、PDCAサイクルによる見直しを継続して行うとともに、令和3年度以降の新たな計画実施期間（3年間）に向けて、各局区におけるプログラム活用状況の調査や実施計画の更新、研修訓練マニュアルの改正などを実施											
令和3年度	プログラムの実効性確保や確実な定着を図るため、各局区の研修支援及び評価、助言や、PDCAサイクルによる見直しを継続して実施												
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	プログラムに基づく訓練実施計画は3年を一期間としており、その2年目である令和元年度についても、各局区への研修支援や評価、助言等を行いました。										
	R2	令和2年度についても、継続的に各局区への研修支援や評価、助言等を行いました。また、令和3年度以降の新たな計画実施期間（3年間）に向けて、各局区におけるプログラム活用状況の調査を行い、その結果に基づき、研修訓練マニュアルの改正や各局区実施計画の更新等の見直しを図りました。											
	R3	プログラムに基づく訓練実施計画は3年を一期間としており、計画実施期間2期目の1年目である令和3年度についても、各局区への研修支援や評価、助言等を行いました。											
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	3年一期間の1年目であり、各局区において設定した計画に沿って研修・訓練を実施することができました。									
今後の進め方 (課題への対応)	計画実施期間2期目の2年目となる令和4年度は、各局区において令和3年度の計画実施状況の振り返りを十分に行い、その結果も踏まえながら計画を適切に履行することができるよう、研修訓練の実施に関する助言・啓発等を継続的に行っていきます。												
備考													

項目番号	3(2)	No.	94	枝番	-	所管局	総務局	担当課	職員研修所	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	リーダーシップや部下指導力の向上							取組み名	-				
取組内容	<p>管理監督者を対象に、働き方改革に関する研修のほか、リーダーシップ及び部下指導力向上に向け、経験に基づく事例等も含めたより現場に即した研修を実施します。また、主任等の中堅職員を対象に、その知識や経験を活かし、チームリーダーとしての役割を担う力の向上を図る研修を実施します。</p> <p>昇任した職員を中心に、職位に応じた役割について意識付けが図れるような取組みを検討します。</p>												
目標	管理監督者及び中堅職員が各職場内でより中心的役割を担えるようにするための意識向上や、係長・課長のマネジメント能力育成・向上のための研修内容を充実します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	(括弧は実績・見込)	平成28年度	主任、係長、課長を対象とした研修を実施										
		平成29年度	主任、係長、課長を対象とした研修を実施										
		平成30年度	主任、係長、課長を対象とした研修を実施										
		令和元年度	リーダーシップや部下指導力の向上を目的とした階層別（主任・係長・課長）及び公募制の研修を実施										
		令和2年度	リーダーシップや指導力の向上を目的とした階層別（主任・総括主任・係長・課長）及び公募制の研修を実施										
		令和3年度	リーダーシップや指導力の向上を目的とした階層別（主任・総括主任・係長・課長）及び公募制の研修を実施										
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	「主任の職場活性化研修」（229名受講）、 「係長のマネジメント講座」（137名受講）、 「係長のOJT講座」（125名受講）、 「課長のマネジメント講座」（95名受講）、 「課長のOJT講座」（70名受講）										
		H29	「主任の職場活性化研修」（231名受講）、 「係長のマネジメント講座」（140名受講）、 「係長のOJT講座」（153名受講）、 「課長のマネジメント講座」（90名受講）、 「課長のマネジメント講座（実践編）」（84名受講）										
		H30	「主任の職場活性化研修」（272名受講）、 「働き方改革時代のマネジメント講座」（137名受講）、 「係長のOJT講座」（133名受講）、 「課長のマネジメント講座」（93名受講）、 「働き方改革時代のマネジメント講座（課長編）」（72名受講）										
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	「主任の職場活性化研修」（270名受講）、 「働き方改革時代のマネジメント講座（係長編）」（129名受講）、 「係長のコーチング研修」（149名受講）、 「働き方改革時代のマネジメント講座（課長編）」（149名受講）、 「指導担当者のための研修」（113名受講）										
		R2	「主任の職場活性化研修」（262名受講）、 「係長のマネジメント講座」（98名受講）、 「コーチング研修（係長）」（118名受講）、 「コーチング研修（総括主任）」（174名受講）、 「課長のマネジメント講座」（90名受講）、 「指導担当者のための研修」（177名受講）										
		R3	「主任の職場活性化研修」（270名受講）、 「係長のマネジメント講座」（144名受講）、 「コーチング研修（係長）」（127名受講）、 「コーチング研修（総括主任）」（119名受講）、 「課長のマネジメント講座」（前編112名・後編106名受講）、 「指導担当者のための研修」（187名受講）										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明（根拠等）	中堅職員のリーダーシップや、職場の指導担当者・係長・課長の指導力の向上に資する研修を実施し、目標を達成しました。									
今後の進め方（課題への対応）	研修がより効果的な内容となるよう、今後も継続して実施していきます。												
備考													

項目番号	3(2)	No.	95	枝番	-	所管局	総務局	担当課	人事課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	昇任管理のあり方見直し							取組み名	-				
取組内容	職種や年代、性別のほか、各職員が抱える様々な制約にかかわらず、職員がその能力にあった職責で活躍するために、係長職昇任試験制度や係長職への選考昇任をはじめとする昇任管理のあり方の見直しを行います。												
目標	組織の活性化につながる昇任管理を実施します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	令和元年度 係長職への選考昇任制度の見直しを実施 令和2年度 係長職選考昇任の見直し後の運用を適切に実施 令和3年度 係長職選考昇任の見直し後の運用を適切に実施											
単年度ごとの 主な実績	仙台市 行財政 改革 推進 プラン 2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市 役所 経営 プラン	H31 (R1)	主任級の新たな職名として総括主任を導入し、係長職昇任試験対象職種における係長職選考昇任について、現に総括主任である者から選考を実施することとして、昇任ルートの複線化を強化しました。										
		R2	昨年度の見直し内容を踏まえ、係長職選考昇任の運用を適切に実施しました。										
		R3	見直し内容を踏まえ、引き続き係長職選考昇任の運用を適切に実施しました。										
目標達成 状況	○		目標達成状況 の説明 (根拠等)	係長職への選考昇任制度の見直しを実施しました。									
今後の進め方 (課題への対応)	係長職選考昇任の見直し後の運用を適切に実施していきます。												
備考													

項目番号	3(2)	No.	96	枝番	-	所管局	総務局・人事委員会事務局	担当課	人事課・任用課	プラン掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	有為な人材の確保						取組み名	-					
取組内容	<p>社会人経験者採用試験の実施手法の見直し等、多様な採用手法の検討を進めます。 また、本市の仕事の魅力ややりがい、求める人材像などの広報の強化に取り組むとともに、合格後の辞退や早期の退職を防止するための取組みに関する検討を行います。</p>												
目標	時代の要請に応え、今後の市政を担える高い資質と使命感を有する有為な人材を確保します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	実績・見込 (括弧は見込)	平成28年度	社会人経験者採用及び福祉職採用の実施、採用試験の受験要件の緩和の検討										
		平成29年度	社会人経験者採用及び福祉職採用の実施、採用試験の受験要件の緩和・効果検証										
		平成30年度	社会人経験者採用及び福祉職採用の実施、採用試験の受験要件の緩和の効果検証										
		令和元年度	社会人経験者採用及び福祉職採用の実施、採用試験の受験要件の緩和の効果検証										
		令和2年度	社会人経験者採用及び福祉職採用の実施										
		令和3年度	社会人経験者採用及び福祉職採用の実施										
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28	<p>社会人経験者採用及び福祉職採用を実施しました。 (H28.10.1付)福祉職1人、(H28.11.1付)社会人事務1人、福祉職1人(H29.1.1付)社会人事務3人・土木2人、(H29.4.1付)社会人事務23人・土木5人・建築1人・機械2人・電気1人、福祉職15人 平成29年度実施の採用試験から受験要件を緩和するため、人事委員会事務局と連携し、見直しを進めました。</p>										
		H29	<p>社会人経験者採用及び福祉職採用を実施しました。 (H29.10.1付)社会人事務2人、(H29.12.1付)社会人事務1人、福祉職1人、(H30.4.1付)社会人事務32人・土木7人・建築2人・機械3人・電気4人、福祉職13人 平成29年度実施の採用試験から受験要件を緩和しました。</p>										
		H30	<p>社会人経験者採用及び福祉職採用を実施しました。 (H30.10.1付)社会人事務1人、福祉職2人、(H30.11.1付)社会人建築1人、(H30.12.1付)社会人事務1人、(H31.1.1付)社会人事務3人、(H31.4.1付)社会人事務38人・土木4人・機械2人・電気3人、福祉職8人 受験要件の緩和による効果について、引続き検証を実施していきます。</p>										
		H31(R1)	<p>社会人経験者採用及び福祉職採用を実施しました。 (R1.10.1付)社会人事務2人・電気1人、福祉職1人、(R1.12.1付)社会人事務1人、(R1.12.1付)社会人機械1人、(R2.1.1付)社会人事務2人・建築1人・電気1人、(R2.4.1付)社会人事務29人・土木5人・機械2人・電気1人、福祉職5人 受験要件の緩和による効果について、3年間検証を行い、人材確保策として有効に機能しているとの結論に至ったところですが、今後ともより効果的な人材確保の手法を引き続き検討していきます。</p>										
		R2	<p>社会人経験者採用及び福祉職採用を実施しました。 (R2.10.1付)社会人事務2人、福祉職1人、(R2.11.1付)福祉職1人、(R2.12.1付)社会人事務1人・電気1人、(R3.1.1付)社会人事務10人・土木2人・建築1人・電気1人、福祉職1人、(R3.4.1付)社会人事務28人・土木8人・建築3人・機械3人・電気4人、福祉職7人 受験要件の緩和による効果について、3年間検証を行い、人材確保策として有効に機能しているとの結論に至ったところですが、今後ともより効果的な人材確保の手法を引き続き検討していきます。</p>										
		R3	<p>社会人経験者採用及び福祉職採用を実施しました。 (R3.10.1付)社会人事務3人・土木1人、(R3.11.1付)社会人事務1人、福祉職2人、(R4.1.1付)社会人事務4人・土木2人・電気1人、(R4.4.1付)社会人事務35人・土木6人・建築5人・機械3人・電気8人、福祉職11人 受験要件の緩和による効果について、平成29年度から令和元年度まで3年間検証を行い、人材確保策として有効に機能しているとの結論に至ったところですが、今後ともより効果的な人材確保の手法を引き続き検討していきます。</p>										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	社会人経験者や福祉職の採用、及び平成29年度より採用試験の受験要件の緩和を実施しました。採用試験の受験要件の緩和については、3年間検証を行い、人材確保策として有効に機能しているとの結論に至ったところです。									
今後の進め方 (課題への対応)	時代の要請に応え、今後の市政を担える高い資質と使命感を有する有為な人材を確保するため、社会人経験者採用試験の実施手法の見直しなど多様な採用手法の検討、求める人材像の広報の強化、合格後の辞退や早期の退職を防止するための取組みに関する検討を行っていきます。												
備考													

項目番号	3(2)	No.	97	枝番	-	所管局	総務局	担当課	人事課	プラン 掲載年度	H28	進行状況	継続
実施項目	人事評価制度の活用							取組み名	-				
取組内容	<p>これまで以上に職員的能力・実績を適正に評価し、人材育成に活用していくために、人事評価制度の見直しを行います。</p> <p>また、人事評価結果のさらなる活用を進め、職員の意欲・資質向上に繋がります。</p>												
目標	<p>人事評価制度の見直しを行うとともに、人事評価結果の給与等への活用について検討を進め、職員の意欲・資質向上に繋がります。</p>												
進捗状況	スケジュール	<p>令和元年度に勤勉手当への反映を、課長級以上から全職員に拡大するとともに、下位評価が継続する者の資質向上策について検討を進めます。また、人事評価結果の活用について、毎年度検討を行い、計画期間中に更なる活用を進めます。</p>											
	実績・見込 (括弧は見込)	<p>平成28年度 人事評価制度の見直しを行い、実施 平成29年度 業績評価結果の勤勉手当への反映を部長級以上から課長級以上に拡大 平成29年度 能力評価結果の昇給への反映を管理職で実施 平成30年度 能力評価結果の昇給への反映を係長職以下に拡大 令和元年度 業績評価結果の勤勉手当への反映を係長職以下に拡大 令和2年度 人事評価制度の見直しを行い、評価区分を6区分から7区分に分割 令和3年度 昨年度の見直し後の運用を適切に実施</p>											
単年度ごとの主な実績	仙台市行政改革推進プラン2016	H28	<p>管理職以上で実施していた業績評価を、係長職以下でも実施しました。</p> <p>また、人事評価結果の昇給及び勤勉手当の反映時期について、一定の整理を行いました。</p>										
		H29	<p>業績評価結果の勤勉手当反映を部長級以上から課長級以上に拡大して実施しました。</p> <p>能力評価結果の昇給への反映を管理職（課長級以上）で実施しました。</p> <p>業績評価結果と能力評価結果の係長職以下の給与反映の時期について整理しました。</p>										
		H30	<p>能力評価結果の昇給への反映を全職員に実施しました。</p> <p>係長職以下についても、勤勉手当に反映する業績評価を実施しました。</p>										
	仙台市役所経営プラン	H31(R1)	<p>前年度から引き続き、全職員に対し、能力評価結果の昇給への反映及び業績評価結果の勤勉手当への反映を実施しました。</p>										
		R2	<p>職務や職位に応じて求められる能力をより明確に評価するため、評価区分の分割を行いました。</p> <p>また、平成30年度に引き続き、全職員に対し、能力評価結果の昇給への反映及び業績評価結果の勤勉手当への反映を実施しました。</p>										
		R3	<p>国の人事評価制度見直しの検討を踏まえ、人事評価を人材育成のツールとして一層活用するための運用の見直しを検討しました。また、引き続き、全職員に対し、能力評価結果の昇給への反映及び業績評価結果の勤勉手当への反映を実施しました。</p>										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明 (根拠等)	<p>能力評価・業績評価ともに、全職員について、評価結果を給与へ反映しました。</p>									
今後の進め方 (課題への対応)	<p>適正な評価実施により着実な制度運用を行うとともに、評価結果のさらなる活用を進めるための検討を行います。</p>												
備考													

項目番号	3(2)	No.	98	枝番	-	所管局	総務局	担当課	人事課	プラン 掲載年度	H31 (R1)	進行状況	継続
実施項目	組織活性化につながる人員配置							取組み名	-				
取組内容	組織力の向上に向け、専門的な知識や技術を要する部署での異動サイクルの長期化やキャリア選択制度の実施を推進するほか、職員の意欲をより引き出すための取組みについて検討します。												
目 標	組織の活性化や職員のキャリアの育成に資する適材適所の人員配置を進めるとともに、職員がより意欲的に働くことにつながる取組みを検討・実施します。												
進捗状況	スケジュール	毎年度、取組内容や目標に記載した事項について着実に実施していきます。											
	(括弧は見込実績・見込)	令和元年度	庁内公募制度の見直し・実施 キャリア選択制度の見直し・実施 自己申告制度の見直し・実施										
		令和2年度	庁内公募制度の見直し・実施 キャリア選択制度の見直し・実施										
		令和3年度	庁内公募制度の見直し・実施 キャリア選択制度の実施										
単年度ごとの主な実績	仙台市行財政改革推進プラン2016	H28											
		H29											
		H30											
	仙台市役所経営プラン	H31 (R1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内公募を実施しました。(交流促進、東京事務所、情報政策、産業政策、防災(危機管理)、職員チャレンジ型) ・ キャリア選択制度を実施しました(税務・福祉)。応募者数確保のため、対象年齢要件の緩和措置を1年延長しました。 ・ 職員が特定の業務分野で専門性を高め能力を発揮するための取組みとして、新たに自己申告書内に自身のキャリア形成に係る意向を記入する欄(キャリア形成希望欄)を設けました。これに伴い、特定の業務分野における職務従事を希望する者を公募し人事異動に反映させるプレキャリア制度を廃止しました。 										
		R2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内公募を実施しました。(交流促進、情報政策、産業政策、児童相談所における業務、職員チャレンジ型) ・ キャリア選択制度を実施しました(税務・福祉)。専門性を有する職員の能力発揮の観点から、対象年齢要件を緩和しました。本人の意向に基づく解除ができる職位要件を撤廃しました。 										
		R3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内公募を実施しました。(交流人口拡大、東京事務所、DX推進・情報システム、産業政策、児童相談所、職員チャレンジ型) ・ キャリア選択制度を実施しました(税務・福祉)。 										
目標達成状況	○		目標達成状況の説明(根拠等)	各制度について見直しを行い、実施しました。									
今後の進め方(課題への対応)	個々の制度の効果等を検証しながら、今後も継続して実施していきます。												
備 考													